

平成 2 8 年度使用中学校用
教科用図書調査報告書

平成 2 7 年 7 月

津市教科用図書調査研究委員会

1 調査の基本的態度

平成28年度から4年間使用する中学校用教科書の調査研究に当たっては、教科書編集趣意書及び三重県教育委員会が作成した「平成28年度使用中学校用教科書選定に関する参考資料」以外の資料等を排除し、事実に基づいて公正かつ客観的な資料となるよう調査研究に努めた。

また、平成27年度津市教科用図書調査研究委員会において確認された「中学校用教科用図書調査員の調査実施項目」に基づいて分析を進めた。

2 調査結果のまとめ

調査結果のまとめに当たっては、各種目の教科書1点ごとに特色等を記述した。記述の順序は、種目については、文部科学省発行の「中学校用教科書目録」に記されている順に、また、発行者については、発行者番号の順とした。

3 平成28年度使用中学校用教科書の発行者別一覧

発行者番号	発行者名	略称	国語	書写	社会(地理的分野)	社会(歴史的分野)	社会(公民的分野)	地図	数学	理科	音楽(一般)	音楽(器楽合奏)	美術	保健体育	技術・家庭(技術分野)	技術・家庭(家庭分野)	英語	種目合計
2	東京書籍	東書	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	12
4	大日本図書	大日本							○	○				○				3
6	教育図書	教図													○	○		2
9	開隆堂出版	開隆堂											○		○	○	○	4
11	学校図書	学図	○	○					○	○							○	5
15	三省堂	三省堂	○	○													○	3
17	教育出版	教出	○	○	○	○	○		○	○	○	○					○	10
27	教育芸術社	教芸									○	○						2
35	清水書院	清水				○	○											2
38	光村図書出版	光村	○	○									○				○	4
46	帝国書院	帝国			○	○	○	○										4
50	大修館書店	大修館												○				1
61	新興出版社啓林館	啓林館							○	○								2
104	数研出版	数研							○									1
116	日本文教出版	日文			○	○	○		○				○					5
224	学研教育	学研												○				1
225	自由社	自由社				○	○											2
227	育麟社	育麟社				○	○											2
229	学び舎	学び舎			○													1
各種目の発行者数			5	5	4	8	7	2	7	5	2	2	3	4	3	3	6	66

中学校用教科用図書調査員の調査実施項目

1 取扱内容

教育基本法に定める教育の目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習指導要領に定める教科の目標を達成する上において、より適切かつ効果的であるか。

2 内容の選択及び扱い

- (1) 選択と扱いは、学習指導を進める上でより適切であるか。
- (2) 生徒の日常生活・経験及び興味・関心に対する配慮がなされており、自主的・自発的な学習を指導する上でより適切であるか。
- (3) 他の教科との関連が必要に応じ配慮されているか。
- (4) 発展的な学習内容が主たる内容の学習に資するものであるか。
- (5) 地域の実態等に照らしてより適切であるか。

3 内容の程度

内容の程度は、生徒の心身の発達段階と特性に適応しているか。

4 内容の構成及び配列

- (1) 構成及び配列は、学習指導上、より適切かつ効果的であるか。
- (2) 文章、さし絵、図表、写真、用語などの表記は適切であり、これらに不統一や無用の重複はないか。

5 創意工夫

- (1) 教科の目標とする能力や態度を育成する上に、適切な創意工夫が認められるか。
- (2) 教科の内容の精選が十分なされており、基礎的・基本的事項の理解や修得の徹底を図る上に、適切な創意工夫が認められるか。
- (3) 選択、扱い、構成、配列、表現などに適切な創意工夫が認められるか。

6 使用上の便宜

- (1) 判型、分冊、印刷、製本が、学習指導上、より適切であるか。
- (2) 文字の大きさ、字間・行間及び書体は、学習指導上、より適切であるか。

7 その他

各種目における調査を必要とする事項

目次

国語	1
書写	10
社会（地理的分野）	20
社会（歴史的分野）	28
社会（公民的分野）	43
社会（地図）	55
数学	59
理科	73
音楽（一般）	83
音楽（器楽）	87
美術	91
保健体育	94
技術・家庭（技術分野）	100
技術・家庭（家庭分野）	105
英語	111

国語

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 国語	種目名 国語	教科書名 新編 新しい国語	発行所 東京書籍
取扱内容	○学習指導要領に準拠して、国語科の目標を達成するため、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」および「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が、バランスのよい内容で系統的に配列されている。教科の目標を達成する上において、非常に適切かつ効果的である。		
内容の選択 及び扱い	○発達段階や学校等での生活に応じた、該当学年にふさわしい教材が吟味されている。また、他教科や総合的な学習との関連も考慮されている。 ○現代社会を反映した新しい教材も積極的に取り入れられている。 ○「話すこと・聞くこと」「書くこと」については、①「読むこと」と関連した指導、②「学びの扉」での興味付けと基礎の確認、③ 生徒にとって魅力があると同時に取り組みやすい題材の提示、④ 具体的なポイントを豊富な実例の中で提示、⑤ 生徒同士で高め合えると同時に、苦手な生徒も取り組みやすくなるグループ活動を導入するなどの工夫がされ、生徒が見通しを持って、自主的・自発的に取り組めるものとなっている。 ○「読むこと」については、文学的文章では、感性を磨く上で適した現代的な作品や、以前から取り上げられてきた名作がバランスよく取り上げられている。説明的文章では、自然、メディアリテラシー、伝統、哲学、科学、文化、勤労観など、幅広い分野から題材が選ばれている。 ○「伝統的な言語文化と言葉の特徴やきまりに関する事項」については、古典の学習において、① 生徒の興味・関心が高まる導入の文章や豊富な資料の提示、② わかりやすく興味深い教材の選定、③ 「古典コラム」に各古文の特徴をわかりやすく整理するなど、生徒の興味・関心とわかりやすさに対する配慮がなされている。特に文法の学習において、① 生徒が興味・関心を持てる導入教材、② わかりやすくて射的を射た例文、③ わかりやすい言葉で学んだ後、(巻末の基礎編で) 正式な用語で復習する展開、④ 実生活で生かす場面を想定した教材など、生徒の日常生活・経験及び興味・関心に対する配慮がなされている。		
内容の程度	○生徒の発達段階に即し、適切な内容が取り上げられている。「内容の選択及び扱い」の項に記したように、理解することが難しい内容を、理解しやすくするさまざまな配慮がなされている。		
内容の構成 及び配列	○「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」をそれぞれ単独に学ぶのではなく、常に相互の関連を意識して学ぶことで相乗効果が生まれるように、教材のねらいが設定されたり、配置が考えられたりしている。		

創意工夫	○巻頭の「領域別学習材一覧」に、教材の特徴を生かしたねらいが明確に示されている。また、教材ごとの「言葉の力」の部分には、その教材だけの学びで終わることなく、その後の様々な言語活動の場面でも生かせるような普遍的なねらい（内容）が示されている。さらに、関連する巻末の「基礎編」や「資料編」のページを示し、学びを整理したり深めたりできるようになっている。 ○生徒が陥りやすい「誤り」や「望ましくない傾向」を十分に想定して、教材の工夫がされている。 ○読む教材の後に「読書案内」を配して、関連した本を表紙のカラー写真付きで紹介している。また、節目ごとに「読書への招待」の教材を配置し、その後に多くの本をポップ付きでまとめて紹介している。これらにより、生徒の読書活動を推進することができる。
使用上の便宜	○「基礎編」や「資料編」が、巻末にまとめて配置されているので、国語科で学んだことを振り返りたいときに有効であると同時に、他教科や総合的な学習の時間にも活用することができる。 ○教科書全体で、書き文字に近づけた特別な明朝体を用いているので、生徒が漢字の書き方や画数を間違えることがない。 ○B5サイズで、教材によって2段組みまたは3段組みとなっており、字の大きさも適切である。 ○表紙も含めてイラストに工夫があり、色づかいも適切で読みやすい。
その他	○新しい「常用漢字表」で、二通りの字形がある漢字については、（ ）を用いて両方の字形を提示している。

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 国語	種目名 国語	教科書名 中学校国語	発行所 学校図書
取扱内容	○学習指導要領に準拠し、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」および「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」のあらゆる分野で、質の高い教材が精選されており、組織的・系統的に配列されている。		
内容の選択 及び扱い	○総合的な学習や他教科での学習、実生活（学校生活・家庭生活・これからの社会生活）に役立つ内容がある。 ○「話すこと・聞くこと」については、さまざまな形式の表現活動を通して、時や場や目的にあわせて話したり、聞いたりする力を養成できるような内容が用意されている。 ○「書くこと」については、学年が上がるにつれて高度な内容が扱われているが、学習の手順が丁寧に示されていることで、質の高い学びを実現している。 ○「読むこと」については、小説など文学的文章教材で、生徒が感性を豊かにし、自分の生き方を問い直すきっかけとなるような作品が多く取り上げられている。読書単元は近代の文豪の作品や世界に目を向けたもの、平和についてなど現代的な問題を取り扱った内容もあり、幅広い読書活動ができるようになっている。 ○「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、代表的な古文が取り上げられており古典の世界を楽しむことができる作品が選ばれている。また、明治時代の文語文を取り上げている点が特徴的である。さらに、漢字に関する知識、日本語の特徴について高度な内容を丁寧に扱っている。		
内容の程度	○基礎的・基本的な知識および技能だけでなく、質の高い発展的な学びができるようになっている。		
内容の構成 及び配列	○全領域バランスよく系統的に配列されている。 ○「読むこと」については、第一教材、第二教材、選択と発展のサイクルで構成されている。		
創意工夫	○脚注の欄に、脚問として、読解を助ける課題がしめされており、内容を確認しながら、読めるようにすることで、内容が理解しやすいようになっている。 ○各単元末の「学びの窓」では、「読む前に」「読み深める」「まとめ」というふうに系統立てて、学びの手がかりが丁寧に示されている。 ○古典の教材では、二色刷になっており、現代語訳が見やすくなっている。 ○散文詩の掲載が興味深い。 ○3年の「活用コラム」は、文法を考える際、現代において問題となっているもの（ら抜き言葉・新しい助動詞）を扱っていて、生徒が日常生活での使用を意識して考えられる材料となっている。		

使用上の便宜	○B5サイズで、教材によっては2段組になっており、見やすい。 ○文法に関する事項が巻末にまとめられており、復習しながら学びやすいようになっている。 ○巻末には付録として、月の異名、古典文法、古語辞典が用意されており発展的な学習ができるようになっている。
その他	○三学年とも文学史年表が収められている。 ○注意すべき筆順のページがあり、筆順を確かめておくといよいものが一目でわかるようになっている。

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 国語	種目名 国語	教科書名 現代の国語	発行所 三省堂
取扱内容	○学習指導要領に準拠して、国語科の目標を達成するため、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」および「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の内容で関連が図られ、教科の目標を達成する上において、効果的である。		
内容の選択 及び扱い	○発達段階や学校等での生活に応じた、該当学年にふさわしい教材が吟味されている。また、他教科や総合的な学習との関連も考慮されている。 ○「話すこと・聞くこと」については、生徒にとって魅力があると同時に取り組みやすい題材が提示されている。また、豊富な実例で具体的にポイントを示している。さらに、生徒同士で高め合えるグループ活動が取り入れられている。 ○「書くこと」については、「読むこと」と関連した指導ができるよう、配慮されている。また、「活動の流れ」が提示されており、思考の深まりが実感できるように配慮されている。 ○「読むこと」については、文学に関する教材では、人の生き方や人とのつながりについて考えることができる作品が掲載されている。説明文では、現代の課題や身近な生活に目を向けた作品が取り上げられている。 ○「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、古典に関する教材では、音読や朗読などを通して親しみを持たせる配慮がなされている。文法では、わかりやすく射た例文で学習の導入とし、身近な例で学んだ後、巻末で詳しく学習するといった学習の展開になっている。また、伝統文化への興味・関心を喚起するため、豊富な資料が提示されている。		
内容の程度	○基礎的・基本的な知識及び技能を重視しており、各学年とも生徒の発達段階に適應している。また、生徒が興味・関心に応じて主体的に学習を進められるような内容になっている。		
内容の構成 及び配列	○「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」をそれぞれ単独に学ぶのではなく、常に相互の関連を意識して学ぶことで相乗効果が生まれるように、教材のねらいを設定したり、配置を考えたりしている。 ○表紙も含めてイラストにも工夫があり、色使いも適切で読みやすい。		
創意工夫	○巻頭の「領域別学習材一覧」に、教材の特徴を生かしたねらいが明確に示されている。 ○「資料編」が巻末にまとめて配置されており、国語科で学んだことを振り返りたいときに有効であると同時に、他教科や総合的な学習の時間にも活用することができる。 ○読む教材の後に「私の本棚」を配して、関連した本を表紙のカラー写真付きで紹介している。巻末に「小さな図書館」を配置し、まとめて紹介している。これらにより、生徒の読書活動を推進することができる。		
使用上の便宜	○B5サイズで、配色や色の濃淡などに工夫が凝らされており、使いやすいよう配慮されている。		

その他	○「常用漢字表音訓一覧」で、二通りの字形がある漢字については、（ ）を用いて両方の字形を提示している。
-----	---

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 国語	種目名 国語	教科書名 伝え合う言葉 中学国語	発行所 教育出版
取扱内容	○学習指導要領に準拠して、国語科の目標を達成するため、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」がバランスよく配列されており、教材の特徴をよく捉え、それを生かしたねらいが示されている。 ○他の様々な言語活動の場面でも生かされるような、普遍的な国語力を身に付けるねらいが示されている。		
内容の選択 及び扱い	○領域別に、精選された教材が取り上げられており、各課題を系統的に扱うことができる。 ○「話すこと・聞くこと」では対話を重視し、他教科や、日常生活の様々な場面で生かされる能力や態度が養われる内容が取り上げられている。 ○「書くこと」では身近な話題も取り上げ、様々な種類の文章を取り上げている。 ○「読むこと」において、文学的文章では伝統的な作品から、現代で活躍している作家の作品まで幅広く扱われており、生徒の興味を引き出すものとなっている。説明的文章では、様々な構成の文章や、図表などとの関係から読み取る文章が扱われており、論理的思考の高まりや、資料を分析・解釈する力の高まりが望めるものとなっている。 ○「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、古典において、代表的な作品が取り上げられ、古典に親しむ態度や関心を高められるものとなっている。また、豊富な写真、充実した資料を掲載し、伝統文化に対する興味・関心を喚起することに重点を置いて、教材が選択されている。		
内容の程度	○基礎・基本が重視され、生徒の発達段階に応じたものとなっている。		
内容の構成 及び配列	○各領域の教材がバランス良く、配列されている。 ○「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」ともに、相互の関連、次の学年への関連、他教科との関連を考え構成されている。 ○「みちしるべ」を設定し、学習過程と重点をおさえ、読む力を高めようとしている。		
創意工夫	○「みちしるべ」「ここが大事」は教材の特徴を捉えたねらいや、他の言語活動でも生かせるような普遍的な国語力を身につけるねらいなどが示されている。 ○「言葉の自習室」は総合的な学習や他教科、実生活に生かして活用できる。		
使用上の便 宜	○B5サイズで明るく見やすく、適当な余白があり全体に圧迫感がないようにされている。 ○表やグラフ、地図などは、読解に有効な配置がされている。		
その他	○常用漢字一覧、学習に必要な用語（索引）がまとめられている。		

平成28年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 国語	種目名 国語	教科書名 国語	発行所 光村図書出版
取扱内容	○学習指導要領に準拠して、国語科の目標を達成できるよう、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」および「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が一体となって、豊かな言語生活につなげていけるように配慮されている。		
内容の選択 及び扱い	○各学年の目標を達成させるため、各領域とも精選された題材が取り上げられている。また、言語力向上につながるよう三年間の学習内容が構成されている。 ○「話すこと・聞くこと」の教材については、課題解決に向けて、協働的な学習が出来るように工夫されている。また、活動の形態がイメージできるように写真や図を使い工夫されている。 ○「書くこと」については、発表することにつながるよう、他の領域と関連づけながら、身近な題材をもとに自分の思いが表現できるよう工夫されている。また、実際に使われた広告や芸術作品などを使うことにより、意欲が高まるよう工夫されている。 ○「読むこと」の教材については、定評のある名作から、現代作品まで幅広く取り上げられており、作品を通して生徒の言語感覚や表現意欲が高まるものまでである。また、一つ一つの作品から読む観点を身につけられるよう工夫もされている。 ○「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は、古典の学習だけにとどまらず、書くことや書写への関連づけもされており、生徒の学習意欲を高めるものである。		
内容の程度	○生徒の発達段階に応じて領域のバランスを考慮し、精選された内容が系統的に取り上げられている。		
内容の構成 及び配列	○教科書全体を、「本編」と「資料」・「付録」・「索引」編で構成させており、より深く学習できるようにになっている。 ○三学年にわたり、バランスよく言葉の力がつく教材配列となっている。 ○豊富な練習問題が用意されており、繰り返し学習出来るようになっている。		
創意工夫	○主体的な学習が出来るように、巻頭に学習のポイントがまとめられているなどの工夫があり焦点化して学習したい項目がわかる。そのことで、自己評価等も容易に出来る。 ○発達段階に配慮した文字の大きさやマークを使い、項目や指示をわかりやすく示している。		
使用上の便宜	○常用漢字表では、何年生で学習したものなのかがすぐにわかるように記載されており良い。また、6年生で習った漢字を活字ではなく、直筆の字体で示して、わかりやすく表示されている。 ○B5サイズで見やすく、適度な余白があり、字の大きさも適切である。 ○ポスターセッション等、総合的な学習の時間などでも参考に出来る内容が丁寧に記載されており良い。 ○人権教育の観点からの選定も見られる。		

その他	○挿絵の中に筆者のこだわりのあるものが、引き続き掲載されているものがある。 ○扉に日本各地の風景を切り取った写真があり、日本文化を再確認できる。
-----	--

書 写

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 国語	種目名 書写	教科書名 新編 新しい書写	発行所 東京書籍
取扱内容	○学習指導要領に定める国語科の目標を達成するため、小学校の学習内容を踏まえ、基礎・基本となる知識や技能を身につけさせるとともに、1年生から書写の学習を学校生活や社会生活で活用できるように配慮されており、文字文化や歴史も取り上げ、適切な内容となっている。		
内容の選択 及び扱い	○学習の進め方が示され、目標に向かって、「調べよう」「確かめよう」「広げよう」「振り返ろう」と学習を進めることによって書写の理解と技能の向上を図っている。 ○「学習のポイント」「書くときのポイント」「しょしゃのつぼ」「しょしゃのたね」、他のページにある関連内容の提示によって学習の深まりが図られている。 ○「姿勢・筆記用具の持ち方」を確認し、「点画の書き方と字形」で小学校での学習内容を確認できるなど、小学校書写との関連が図られている。硬筆の持ち方が詳しく示されている。 ○硬筆教材は、縦書き教材だけでなく、横書きの教材も取り上げられており、他の教科の学習活動にも活用できるようになっている。 ○「生活に広げよう」という教材を中心に、目標や好きな言葉の書き方など実生活に文字を美しく生かせるように配慮されている。 ○1年では職場訪問、2年では防災訓練、3年では志願理由書や入学願書を題材にするなど生徒の学校生活と繋がった教材を使って書写を生活へ生かしていく工夫がなされている。また、「ノートに書くときに」の教材では、ノートの書き方が具体的に示され、他の教科等の学習活動に生かせるようになっている。 ○間違えやすい漢字、平仮名、片仮名には筆順がついている。		
内容の程度	○教材となっている語句や文章は生徒の興味や関心に応じたもので、書体も整い、生徒の発達段階に即したものとなっている。 ○簡明な筆使いによる、標準的な字形が用いられ、当該学年の指導事項が網羅されている。		
内容の構成 及び配列	○学習を始めるにあたり、これから学ぶことについて3年間を通した書写の学習のねらいが明確に示されている。そして、「姿勢・筆記用具の持ち方」について姿勢から後かたづけまで示され、小学校書写との関連が図られている。また、硬筆と毛筆の持ち方は詳しくわかりやすい。 ○1年生では、小学校の復習となる楷書の学習を導入とし、楷書と仮名の配列の仕方を身につけた後、行書の基本を学び、身の回りの文字に生かせるように、配列されている。 ○2年生では、行書の特徴を十分学んだ後、行書の調和する仮名を習得し、楷書と行書を使い分けるなど生活に生かせるように、配列されている。 ○3年生では、既習内容が生活に生かせるよう、多様な文字などの学習が配列されている。 ○各学年とも毛筆教材の学習後に硬筆教材が配置され、毛筆と硬筆の関連が図られている。		

	○巻末の資料には、「漢字の成り立ちと移り変わり」がまとめられ、また、唐の四大家の書が紹介され、生徒の興味・関心を高めるとともに発展的な学習へと繋がるように配慮されている。
創意工夫	○毛筆の学習は、注意点が具体的に理解できるように詳しく説明するとともに、筆圧・筆使いがよくわかるように写真を使ったり朱墨と薄墨の2色を使ったりしている。 ○硬筆の学習では、教科書に書き込んで練習することができるようになっている。 ○キャラクターを使って学習の注意点を語りかけるようになっており、生徒が親しみやすいものとなっている。 ○硬筆の課題として「横書き」が取り上げられ、数字やアルファベットが含まれ学習活動に役立てることができる。 ○单元ごとに学習を振り返る「振り返ろう」の欄があり、自己評価の観点が設けられ、○△印を記入することができ、自ら学習を振り返ることができるよう配慮されている。 ○「学習をいかそう」に行書のまとめとして、行書の「点画の基本的な形」「漢字の部分の形」が示され、行書への理解を深める工夫がなされている。 ○書き初めの原寸大手本が、巻末に3学年分が掲載されている。
使用上の便宜	○紙面は学習に興味を持って取り組めるように色使いを工夫し、印刷も鮮明である。製本は針金を3カ所に施した堅牢な中とじ製本となっており、3年間活用できる適切なものとなっている。 ○横幅の広いAB判型を採用し、書き込み欄が充実している。 ○巻末の資料が充実している。封筒やはがきの宛名の書き方、原稿用紙の書き方などは生活に役立てることができるものである。そして、「漢字の成り立ちと移り変わり」と「古典から学ぼう」は書の歴史と芸術性が理解できる。さらに、常用漢字と人名漢字の一覧表が、楷書と行書を併記して掲載されており、生徒の学習に活用できるものである。
その他	

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 国語	種目名 書写	教科書名 中学校 書写	発行所 学校図書
取扱内容	○学習指導要領に定める国語科の目標を達成するため、小学校の学習内容を踏まえ、基礎・基本となる知識や技能を身につけさせるとともに、書写の学習を学校生活や社会生活で活用できるように配慮されており、文字文化や歴史も取り上げ、適切な内容となっている。		
内容の選択及び扱い	○目次の次に学習の進め方が示され、「試し書き」「練習」「まとめ書き」と学習を進めることによって書写の理解と技能の向上を図っている。 ○單元ごとに「振り返って」の欄があり、自己評価の観点が設けられ、自ら学習を振り返ることができるように配慮されている。 ○1年生で行書と楷書の違いを学習した後、2・3年生の毛筆の行書の手本には特徴がやや顕著に表れたものが選択されている。 ○行書の学習の前に「時代と文字」を取り上げ、文字の歴史とともに、文字への理解を深める工夫がなされている。 ○平仮名教材は、1年生で楷書、2年生から行書を掲示している。 ○「書写を生活に生かそう」では、修学旅行と職場体験学習の新聞と依頼文の作成など生徒の学習活動に即したものを題材として取り上げるとともに、筆記具の活用についても学習できるように配慮されている。 ○かご書きの間違えやすい漢字、平仮名、片仮名に筆順がついている。 ○発展的な学習内容として、臨書・篆刻が取り上げられ、次の段階の学習へ繋げる配慮がなされている。		
内容の程度	○中学校書写の学習に適切な、端正な書体が用いられている。 ○毛筆・硬筆ともに基礎・基本から習熟・発展へと、生徒の発達段階にあわせた系統的・効率的な学習を進めやすいものとなっている。		
内容の構成及び配列	○小学校の学習を踏まえて学習ができるように「学習の前に確認しよう」が設けられており、書く姿勢や腕の構え方・筆の持ち方などを確認できるようになっている。 ○毛筆の学習の直後に「硬筆で書いてみよう」が設定され、毛筆で学習したことが硬筆の基礎を養うものとなるよう配慮されている。 ○1年生の配列は、楷書、楷書と仮名の調和、行書、1年間の復習となっている。 ○2年生の配列は、楷書、行書、行書と仮名の調和、1年間の復習となっている。 ○3年生の配列は、楷書・行書の復習、生活のさまざまな場面での書写の活用となっている。		
創意工夫	○各単元がほぼ見開き2ページにまとめられている。そして、毛筆の学習では、中心線と横線が引かれ、筆使いなどの注意点と書き順が朱書で添えられ、わかりやすい。また、手本のかご書きの中に筆の穂先が通る線が示されており、筆使いがわかりやすい。 ○硬筆の学習では、教科書に書き込んで練習することができるようになっている。		

	○基本的な点画と行書の基本的な点画がそれぞれ1ページにまとめられており生徒が確認しやすいように工夫されている。 ○原寸大の手本が多数掲載されている。また、書き初めの原寸大手本は、各学年の終わりにあり、3学年とも楷書と行書の手本が掲載されており、楷書と行書への理解を深めることができるように工夫されている。
使用上の便宜	○紙面は学習に興味を持って取り組めるように色使いを工夫し、印刷も鮮明である。製本は針金を3カ所に施した堅牢な中とじ製本となっており、3年間活用できる適切なものとなっている。 ○巻末の資料編に、行書の常用漢字の一覧表が掲載されている。
その他	

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 国語	種目名 書写	教科書名 現代の書写	発行所 三省堂
取扱内容	○学習指導要領に定める国語科の目標を達成するため、小学校の学習内容を踏まえ、基礎・基本となる知識や技能を身につけさせるとともに、1年生から書写の学習を学校生活や社会生活で活用できるように配慮されており、文字文化や歴史も取り上げ、適切な内容となっている。		
内容の選択 及び扱い	○学習の目次の下に学習の流れが示され、学習の見通し（目標）を示し、「考えよう・話し合おう」「書いて確かめよう」「振り返ろう」と学習を進めることによって書写への理解と技能の向上を図っている。 ○間違えやすい漢字、平仮名、片仮名に筆順がついている。 ○発展的な学習として空海と小野道風、そして、「楷書のスタンダード」が取り上げられ、書かれた文字の美しさと書の文化への理解が深められるように配慮されている。		
内容の程度	○教材となっている語句や文章は、生徒の興味や関心に応じたもので、書体も整い、生徒の発達段階に即したものとなっている。 ○中学校書写に適した明瞭な筆使いで、学習のポイントが把握しやすい。		
内容の構成 及び配列	○3年間の書写学習を10の単元に分け、習得する知識や技能を順に配列している。 ○学習を始めるにあたり、書写の学習のねらいが明確に示されている。そして、「望ましい姿勢と筆記用具の持ち方」について「姿勢と構え方」から「用具の片づけ方」まで示し、小学校書写との関連が図られている。また、筆、小筆の持ち方に加え、「鉛筆の持ち方」が詳しく示されている。 ○キャラクターが学習のヒントを語りかけるようになっており、生徒が親しみやすいものとなっている。 ○1年生では、楷書の基礎・基本の確実な習得から、楷書を生活の中に生かす学習を行った後、行書の基本を学び、書写を生活に生かせるように配列されている。 ○2年生では、行書の基礎・基本の習得から活用をめざし、行書に調和する仮名を習得し、手紙や書体の使い分けを学習するなど書写を生活に生かせるように配列している。 ○3年生では、既習内容をさらに効果的に生活に生かせるように多様な文字の学習が配列されている。 ○毛筆の学習後に硬筆の学習が配置され、毛筆と硬筆の関連が図られている。		
創意工夫	○毛筆の手本は、注意点が詳しく書かれ、青書・青線は効果的である。さらに、朱墨と薄墨が使われ、筆使いが写真で示されてわかりやすい。 ○硬筆の課題の一つに「横書き」が取り上げられ、数字や単位なども含まれ学習活動に役立てることができる。 ○年賀状や書き初め、教室の掲示物、本の紹介、手紙の書き方、メモの取り方などが取り上げ		

	られ、生徒の学習活動や学校生活に生かせるように配慮されている。 ○毛筆課題は、手本と注意点が見開き 2 ページにまとめられており見やすい。 ○硬筆の学習では、教科書に書き込んで練習することができるようになっている。 ○单元ごとに学習を振り返る「振り返ろう」の欄があり、自己評価の観点が設けられ、自ら学習を振り返ることができるよう配慮されている。 ○初めて出会う行書の例に、新しい歌手の歌を取り入れており、生徒にとって身近なものとなっている。 ○書き初めの原寸大手本が、資料に 3 学年分掲載されている。
使用上の便宜	○紙面は学習に興味を持って取り組めるように色使いを工夫し、印刷も鮮明である。製本は針金を 3 カ所に施した堅牢な中とじ製本となっており、3 年間活用できる適切なものとなっている。 ○巻末の資料が充実している。「日常の書式」として便箋と封筒の書き方、手紙の構成、時候の挨拶、願書の書き方、ノート・原稿用紙の書き方などが掲載され生活や学習活動において活用できるものである。また、「文字の変遷」によって書の歴史への理解が深められる。さらに、小学校で学習した漢字・中学校で学習する漢字が、楷書と行書が並列で一覧表となつて掲載されている。
その他	

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 国語	種目名 書写	教科書名 中学書写	発行所 教育出版
取扱内容	○学習指導要領に定める国語科の目標を達成するため、小学校の学習内容を踏まえ、基礎・基本となる知識や技能を身につけさせるとともに、1年生から書写の学習を学校生活や社会生活で活用できるように配慮されており、文字文化や歴史も取り上げ、適切な内容となっている。		
内容の選択 及び扱い	○3学年の目次の次に学習の進め方が示され、「目標」に向かって、試し書きがあり、「考えよう」、「生かそう」で、まとめ書きをして学習を確認している。そして、「振り返ろう」と学習を進めることによって理解と技能の向上を図っている。 ○硬筆の課題は国語科との関連が図られている。（「竹取物語」「走れメロス」「枕草子」「平家物語」「奥の細道」） ○毛筆と同じ文字を硬筆で試し書きをさせるなど硬筆の学習が連動しており、毛筆による書写が硬筆の能力の基礎を養うものとなるよう配慮されている。 ○行書の前に「文字の変遷」や三筆の一人空海の書を取り上げており学習を始める手がかりとなっている。さらに、歴史上の人物や著名な作家が書いた文字を多く取り上げて学習の深まりを図るとともに、興味や関心を高めるように配慮されている。 ○1年生最初の課題「天地」は、基本点画を意識して書くのに適している。また、手本の次ページに基本点画の名称が書き込めるようにしてあり、確認もできる。 ○間違えやすい漢字、平仮名、片仮名に筆順がついている。		
内容の程度	○毛筆・硬筆ともに基礎・基本から習熟・発展へと、生徒の発達段階にあわせた系統的・効率的な学習を進めやすいものとなっている。 ○手本は中学生が学びやすい自然な筆使いの書体である。		
内容の構成 及び配列	○学習を始めるにあたり、「姿勢と用具の使い方」が示されて、小学校書写との関連が図られている。また、毛筆と硬筆の持ち方が詳しく取り上げられている。 ○1年生では、楷書の基礎・基本を確実に習得し、楷書と仮名の調和を学んだ後、行書の基本を学び、日常の硬筆に技能を活用できるように配列されている。 ○2年生では、行書の基礎・基本を確認した後、行書と仮名の調和を学び、色紙や短冊など伝統的な「書」も学びながら、調和と配列を意識した硬筆が書けるように配列されている。 ○3年生では、行書と仮名の調和まで毛筆で確認した後、身の回りの多様な文字を学ぶことで効果的に文字を書く意欲を高めるよう配列されている。		
創意工夫	○各単元が見開き2ページにまとめられ、毛筆の手本は、中心線が引かれ、筆の動きが詳しく示されている。また、朱墨と薄墨が使われ、筆使いが写真で示されてわかりやすい。 ○各学年とも毛筆教材の学習後に硬筆教材が配置され、毛筆と硬筆の関連が図られている。楷書と行書の字体を比べさせることで、行書の注意点を自然に意識できようになっている。		

	○硬筆の学習では、教科書に書き込んで練習することができるようになっている。 ○単元ごとに学習を振り返る「学習を振り返る」の欄があり、自己評価の観点が設けられ、○△印を記入することができ、自ら学習を振り返ることができるよう配慮されている。 ○原稿用紙、レポート用紙で書く場合に位置がこまかく指定してあり、バランスを考えやすい。 ○2年生の行書手本「開花」では、「門がまえ」にチャレンジさせようとしている。 ○書き初めの原寸大手本は、1年生は学年の終わりにあり、2年生と3年生は巻末にまとめられている。
使用上の便宜	○紙面は学習に興味を持って取り組めるように色使いを工夫し、印刷も鮮明である。製本は針金を3カ所に施した堅牢な中とじ製本となっており、3年間活用できる適切なものとなっている。 ○巻末に「書式の教室」として、手紙の書き方、封筒の書き方、はがきの書き方、原稿用紙の書き方、ノート・メモの書き方、志願理由書の書き方などが掲載され、生活や学習に役立てることができるようになっている。さらに、小学校で学習した漢字と中学校で学習する漢字の一覧表が掲載され、部首別にまとめられているので同じ部首の漢字を確認できるとともに、学習で取り上げやすい。
その他	

平成 28 年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 国語	種目名 書写	教科書名 中学書写	発行所 光村図書出版
取扱内容	○学習指導要領に定める国語科の目標を達成するため、小学校の学習内容を踏まえ、基礎・基本となる知識や技能を身につけさせるとともに、書写の学習を学校生活や社会生活で活用できるように配慮されており、文字文化や歴史も取り上げ、適切な内容となっている。		
内容の選択 及び扱い	○目次の上に中学校 3 年間の学習の見通しと目標が示され、横に学習の流れが示され、目標を示し、「学習の窓」を活用して学習活動に取り組み、「学習を振り返ろう」によって振り返ることを通して書写への理解と技能の向上を図っている。 ○行書教材は、1 年生で行書と楷書の違いを学習した後に「点画の方向や形の変化」「点画の連続」を学び、2 年生で「点画の省略」「筆順の変化」を学び、3 年生では、習得した技能を日常生活に生かせるよう配慮されている。 ○硬筆教材には、毛筆の学習が硬筆に生きるように、毛筆と同じ学習要素をもつ硬筆課題が設定されている。 ○行書の学習の前に「文字の歴史を探究」を設定し、文字の歴史とともに、文字への理解を深める工夫がなされている。 ○発展的な学習内容として「先人の文字に学ぶ」を取り上げ、書き手によって個性があり書の芸術性にふれることができようように配慮している。		
内容の程度	○教材となっている語句や文章は生徒の興味や関心に応じたもので、書体も整い、生徒の発達段階に即したものとなっている。 ○教材の文字は、生徒の混乱を招かないよう、書き方が一貫され、行書のへんやつくりも統一されている。		
内容の構成 及び配列	○小学校書写からのスムーズな接続ができるように、冒頭に「基礎編」を設け、書くときの姿勢や筆記具の持ち方など、さらに、「点画の種類と筆使い」や「字形の整え方」など小学校の学習内容が詳しく示されている。さらに、書くときの姿勢が真横と正面から示されている。 ○本編にあたる「学習編」の単元・教材が精選され、発達段階に即して系統的・段階的に学習を進められ、学習内容を効率的に身につけられるよう配慮されている。 ○学習内容が見開き 2 ページにまとめられ、「目標の把握」、「基礎・基本の理解」、「確認・活用」、「振り返り」といった学習の流れがわかりやすく、生徒自らが見通しを持って自主的に学習を進めやすいように工夫されている。 ○1 年生の配列は、楷書、楷書と仮名の調和、行書、硬筆の行書となっている。 ○2 年生の配列は、行書、硬筆の行書、行書と仮名の調和、行書と仮名のまとめとなっている。 ○3 年生の配列は、目的に応じた文字、三年間のまとめ、学習内容の活用となっている。 ○各学年とも毛筆の直後に硬筆が配置され、毛筆と硬筆の関連が図られている。また、楷書と行書の字体を比べさせることで、行書の注意点を自然に意識できようになっている。		

創意工夫	○毛筆の学習に、筆使いなどの注意点が大きく朱書で添えられ、始筆と終筆、筆の運び方が図や写真などではっきり示され、わかりやすい。また、筆使いがよくわかるように朱墨と薄墨の2色刷りとなっている。 ○毛筆の手本は、行書と楷書が並べられており、行書と楷書の違いが理解しやすいように工夫されている。 ○硬筆の課題として「横書きの書き方」があり、他の学習活動でも活用できるようになっている。 ○硬筆の学習では、教科書に書き込んで練習することができるようになっている。 ○单元ごとに学習を振り返る「学習を振り返る」の欄があり、自己評価の観点が設けられ、○△印を記入することができ、自ら学習を振り返ることができるよう配慮されている。 ○原寸大の書き初め用手本が巻末の資料に3学年分掲載されている。
使用上の便宜	○紙面は学習に興味を持って取り組めるように色使いを工夫し、印刷も鮮明である。製本は針金を3カ所に施した堅牢な中とじ製本となっており、3年間活用できる適切なものとなっている。 ○1年生、2年生、3年生、資料のページが色分けされており、識別しやすい。 ○巻末の資料が充実している。手紙やはがきなどの「日常の書式」、学校での学習活動において具体的に活用できる「活用のヒント」、また、常用漢字一覧表が楷書と行書を併記して掲載されている。さらに、漢字の「部分別行書一覧表」が掲載され、さまざまな書き方についての理解が深められるように配慮されている。
その他	

社 会

(地理的分野)

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 社会	種目名 社会（地理的分野）	教科書名 新編 新しい社会 地理	発行所 東京書籍
取扱内容	○学習指導要領に準拠し、教科、分野の目標を達成するための基本的事項が、まんべんなく取り上げられている。 ○随所に資料・グラフの読みとり方の説明が掲載され、自主的な学習を進めることができるよう考えられている。		
内容の選択及び扱い	○学習の導入部分などに、小学校で学習した内容を振り返る段階が設けられており、小学校の学習との接続・連携を図られている。 ○「世界のおもな国々と国名」（P15～19）で世界を大観した後、次章で世界各地を具体的に学習できるようになっている。 ○「世界各地の人々の生活と環境」では、気候、宗教、文化と人々のかかわりが記述されている。気候については、寒帯、冷帯、温帯、乾燥帯、熱帯、高地の気候などの特色が、カナダ北部、シベリア、イタリア、サヘル地域、フィジー、アンデスを例に挙げて記述されている。それぞれの地域では自然や衣食住、特徴的な農業の様子が写真で紹介されていて、雨温図とともに特徴を学ぶことができる。すべての地域を学習した後、6つの気候区分として整理されている。 ○「人々の生活に根ざす宗教」では、世界三大宗教に加えて、民族宗教であるヒンドゥー教の写真が掲載され、世界の宗教を大観できるようになっている。 ○「世界のさまざまな地域の調査」では、韓国が、例として取り上げられ、食文化を中心に、気候、産業などについての調べ学習の例が詳しく示されている。 ○P136の「いろいろな見方で都道府県を見よう」では、各都道府県に番号のみが記載され、ノートに記入することで繰り返し学習ができるようになっている。 ○「日本の領域の特色」では領域をめぐる問題として北方領土、竹島、尖閣諸島が取り上げられ、詳しい地形図も使ってわかりやすく解説されている。 ○「自然災害と防災への取り組み」では東日本大震災が取り上げられ、被害状況や救出活動、地震や津波のしくみ、震災後の取り組みなどが詳しく解説されている。 ○「日本の諸地域」では各地域の地形、気候、交通、農業、工業の様子を概説した後、地域のテーマに沿った内容が取り上げられている。		
内容の程度	○地理的分野の基本的な技能を身につけさせるため、その単元の学習内容に即して地理スキルアップのコーナーが設けられている。また、目次にもその一覧がまとめられ、生徒の自主的な振り返り学習を支援している。 ○巻末に学習の確認のコーナーが設定され、自主学習を行う場面で有効活用することができる。		
内容の構成及び配列	○学習指導要領の配列に合わせながら各編、章がまとめられ、基礎的事項から内容を深めていけるように配慮されている。 ○世界の気候区分は、世界各地の人々の生活と環境を特徴のある地域ごとに学んだ後に、気候区分として整理する配列となっている。 ○日本の諸地域は、九州、中国・四国、近畿、中部、関東、東北、北海道という順に、		

	それぞれの地方にあったテーマを設定して学習する配列となっている。
創意工夫	○「世界各地の人々の生活と環境」では主に衣食住に関する資料が多く使われ、生徒が興味を持って学習できるよう工夫されている。 ○「世界の諸地域」では、各州の冒頭ページに世界の中での面積・人口・GDPのグラフや、雨温図、人口分布図が掲載され、各州の自然、生活、文化を大まかに把握したうえで比較できるようになっている。 ○「日本の諸地域」では、各地域の冒頭ページに基本データとして、位置・面積・人口・農業産出額・工業生産額など掲載され、各地域を大まかに把握するとともに比較できるようになっている。また、自然環境、人口、産業に関する地図が同縮尺で掲載されている。 ○「世界のさまざまな地域の調査」では、調査手順が、ページ上部に掲載され、流れを常に考えながら、調べ学習が進められるように配慮されている。 ○各ページの下部に学習内容の要約や説明する課題などが記載されており、日常的に思考力・表現力を高められるように配慮されている。 ○随所に「地理にアクセス」のコーナーが設けられ、本文内容をより深める内容が取り上げられ、生徒の興味関心が深まるように工夫されている。 ○「深めよう」のコーナーでは、今日的課題とされているテーマを取り上げより深く学習できるよう工夫されている。 ○写真や地図資料などが多く使われていて、大きさや色合いも工夫され、資料どうしを比較して見られるなど工夫されている。
使用上の便宜	○A4判サイズを採用し、大きな写真や詳しい資料が多数掲載され、見やすい。 ○グラフに使用されている色彩が、判別しやすい配色になっている。 ○再生紙・植物油インキを使用し、環境への配慮がなされている。
その他	

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 社会	種目名 社会（地理的分野）	教科書名 中学社会 地理 地域にまなぶ	発行所 教育出版
取扱内容	○学習指導要領に準拠し、教科・分野の目標を達成するための基本的事項が、まんべんなく取り上げられている。 ○災害を防ぐための対策、領土問題、多文化共生など、世界、日本の今日的課題に迫る記述が多く、公民的資質の基礎を養う学習に適している。		
内容の選択 及び扱い	○「人々の生活と環境」では、気候、言語、宗教と人々のかかわりが記述されている。気候については、熱帯、乾燥帯、温帯、冷帯・寒帯、高地の気候の特色が、マレーシア、モンゴル、ヨーロッパ、カナダ北部、アンデス高地を例に挙げて記述されている。それぞれの地域では、自然や生活、産業の様子が写真で取り上げられ、雨温図とともに世界地図を使って分布が表されている。 ○「世界の諸地域」では、多様な地図資料を比較的多く活用しながら、産業の特色や各地域の課題などを多角的に学習できるように記述されている。また、各地域の学習後に、「学習のまとめと表現」のコーナーが設けられていて、地図を使った書き込み式のまとめと文章表記することで表現力を高める学習ができるようになっている。 ○「世界のさまざまな地域の調査」では、インドを中心とした南アジア地域が、例として取り上げられ、宗教、文化、産業、経済、環境などについて学習例が示され、調査のまとめ方が示されている。 ○「日本の諸地域」では、比較的大きな精細な地勢図で概観を学習した後、それぞれのテーマに従って各地方の特色を詳しく学べるように記述されている。また各地方の「現代日本の課題を考えよう」では東日本大震災後の復興や水俣病を通じた公害から環境改善への歴史、アイヌ民族と文化、多文化共生といった歴史的・今日的課題を学べるコーナーが設けられている。 ○「身近な地域の調査」では、主に2万5千分の1地形図を活用した学習や調査の方法が、具体例とともに記述されている。		
内容の程度	○本文ページのタイトルに「学習の課題」が併記されており、生徒が課題意識を持って学習に取り組めるようになっている。		
内容の構成 及び配列	○学習指導要領の配列に合わせながら各編、章がまとめられ、基礎的事項から内容を深めていけるように配慮されている。 ○世界の気候区分は、世界の人々の生活と環境を学ぶ際に学習するが、さらに、学習指導要領に合わせて、世界と比べた日本の地域的特色の学習で取り上げられている。 ○日本の諸地域は、①西南部（九州、中国・四国）、②中央部（近畿、中部、関東）、③東北部（東北、北海道）という順で学習する配列となっている。		
創意工夫	○巻頭口絵ページ「世界のさまざまな風景」では、世界遺産を取り上げ、世界のさまざまな地域のイメージを作られている。 ○「世界の生活と環境」のところでは、住生活と自然との関連をポイントに写真資料などによって捉えられるようにしている。		

	○宇宙からとらえた日本列島の大きな衛星写真とともに、さまざまな地形が写真で紹介されている。 ○「日本諸地域」では自然環境を概観した後、テーマに沿って地域の産業や生活の特徴が歴史的变化を踏まえながら紹介されている。 ○原則として、1単位時間を想定した本文の見開き2ページは、上半分、左右側面が写真、資料、図版、下半分が本文の記述でほぼ統一され、学習内容が把握しやすくなるよう工夫されている。 ○本文中に、語句の参照ページおよび同ページ中の参照資料番号が付され、本文と資料との関連性がわかりやすい。 ○「ふりかえる」では学習後単元のポイントを復習することができ、身近な話題を紹介するコラム「地理の窓」が設けられるなど工夫がなされている。 ○統計や主題図などの資料を読み取る課題「読み解こう」のコーナーが設けられ、資料を見るポイントが示され、読解力、表現力、考察力の向上を促している。 ○基本的事項の習得や学習のまとめのコーナーに、書き込み式の問題が用意されており、学習内容の定着を促している。
使用上の便宜	○A B判サイズを使用し、ユニバーサルデザインに配慮したカラーデザインが採用され見やすく、文字の大きさやフォントも適切である。 ○裏表紙に、大豆油インキと再生紙の使用、バイオマスで発電されたグリーン電力による印刷、教科書無償制度についての説明が記述されている。
その他	

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 社会	種目名 社会（地理的分野）	教科書名 社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	発行所 帝国書院
取扱内容	○学習指導要領に準拠し、教科、分野の目標を達成するための基本的事項がまんべんなく取り上げられている。 ○本文以外に、技能をみがくコーナーが掲載され、地理的な技能を身につける学習ができるようになっている。		
内容の選択 及び扱い	○「世界のさまざまな地域」では、国境の成り立ちが図を用いて解説されておりイメージしやすい。人々の生活に着目した写真が多く掲載されており、視覚的に理解することができる。 ○「世界各地の人々の生活と環境」では、世界各地の市場の写真を導入に、その後、気候、文化、生活、宗教と人々のかかわりが記述されている。気候では、各気候帯と気候区分が本文に取り上げられ、まとめて学習しやすく構成されている。それぞれの地域は気候の特徴ごとに項が起こしてあり、その地域に特徴的な暮らしの写真を適宜掲載されている。 ○「世界の諸地域」では、それぞれの州では何を注目すべきポイントとして学習するのが最初に明記されており、各州の学習のめあてがはっきりしてわかりやすい。各州の項目の最初に写真資料や雨温図が記載されており、気候の特徴と農業、産業、人々の暮らしを連動させて捉えやすい。また、各州の最後にはワークがつくっており、振り返りやすい。 ○「日本の領域と領土問題」では、現在日本政府が抱えている課題についての記述が豊富である。北方領土、尖閣諸島、竹島に関する課題がそれぞれ項目を起こしてある。 ○「日本のさまざまな地域区分」では、三重県を取り上げ、2つの地域にまたがった特徴ある事柄について記載されている。 ○「世界の地形」「日本のさまざまな自然災害」では、阪神淡路大震災、雲仙普賢岳の火砕流、東日本大震災の津波の様子が写真資料を添えて詳しく記述されている。地震と津波のメカニズムについても解説がある。また、次の項で、自然災害に対する具体的な備えを行政の仕組みまで詳しく記載されている。 ○「世界の資源・エネルギー」では、北アメリカが開発しているシェールガス、メタンハイドレートといった新しい資源について記述されている。 ○「日本の農業・林業・漁業とその変化」では、貿易の自由化が日本の農業に及ぼす影響について詳しく記載されている。 ○「日本の諸地域」では、各地方の地形・気候・風土・産業のイメージしやすい写真や地図・グラフが豊富である。各地域の特徴ある取り組みをこうした資料を基に端的にまとめている。 ○「世界のさまざまな地域の調査」では、韓国が例として取り上げられ、産業、気候、文化などについての調べ学習の例が詳しく示されている。		
内容の程度	○写真・資料が多数掲載され、本文の内容を十分に補足している。 ○本文の語句に関する注釈が、本文脇に記述されており、より理解が深められるように工夫されている。 ○本文脇に、解説のコーナーがつくられ、より理解を深められるように工夫されている。		

	○全体を通して環境問題・環境保全・自然災害・防災に関する記述が多く、解決にむけての取り組みまでが掲載されている。
内容の構成及び配列	○学習指導要領の配列に合わせながら各部、章がまとめられ、基礎的事項から内容を深めていくように配慮されている。 ○各単元末に、記入形式の学習のまとめページがつけられている。 ○「日本の諸地域」では、導入ページに地域の概観を把握する写真や地図、統計資料が掲載され、大まかなイメージがつかめるように工夫されている。 ○「世界のさまざまな地域」では、2章で、世界の人々の生活と環境を比較しながら学習した後、3章で、各州別に取り扱うことで、内容の定着が進むように構成されている。 ○「日本のさまざまな地域」では、2章で、自然・諸産業・交通・通信を系統的に学習した後、3章で各地域別を具体的に取り扱うことで、内容の定着が進むよう構成されている。
創意工夫	○地図帳の使い方が丁寧にまとめられている。統計資料や雨温図、等高線などの読み取りが適宜で説明されており、その後の読み取りにつながっている。学習がスムーズに進むように工夫されている。 ○原則として見開き2ページで1時間の授業が想定されており、タイトル横に学習内容が明記されるとともに、右ページには、「チェック＆トライ」の項目により、学習内容の確認ができるように工夫されている。 ○各ページ「確認しよう」「説明しよう」で、生徒個々がそれぞれ意見をもてるようなテーマが設定されている。
使用上の便宜	○色覚に配慮した配色がなされるとともに、模様等も使用し、視覚的に見やすい写真や統計資料が掲載されている。 ○写真資料が大きく、最新のものが採用されている。また、写真資料の場所が時間とともに変化する様子が分かるよう比較資料も載っている。 ○各解説が丁寧である。本文中に、記述内容に対応した資料の場所が指示されており、資料を参考にしやすい。 ○また、再生紙・植物油インキを使用し、環境への配慮がなされている。
その他	

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 社会	種目名 社会（地理的分野）	教科書名 中学社会 地理的分野	発行所 日本文教出版
取扱内容	○学習指導要領に準拠し、教科・分野の目標を達成するための基本的事項が、まんべんなく取り上げられている。 ○環境・多文化共生などの諸課題に目を向けられるような内容が多く取り上げられ、興味・関心を持って学習できるようになっている。		
内容の選択 及び扱い	○「世界各地の人々の生活と環境」では、各地域の項目の最初に気候区分が掲載されている。本文記述は最小限で写真や分布図、グラフ等資料が多数掲載されており、地域の特徴が捉えやすい。 ○「世界の諸地域」では、おおまかなイメージを学習した後、各州の産業や課題などの特色を学べるように記述されている。また、州ごとに、日本とのつながりを学習するコラムが挿入されている。各州学習テーマが設定されており、細かい項目ごとの学習課題も設定されている。『まとめよう』『学習の確認と活用』で学びが深まる工夫がされている。 ○「日本のすがた」では、領土問題について詳しく記載されている。この課題に対する日本政府の姿勢や領土問題がなぜ今起こっているのかについても言及されている。「時差を使って日本の位置をとらえる」での時差の計算説明が詳しい。演習できるよう工夫されている。「地域区分」では、三重県がどの地域に含まれるか経済や文化の面から記載されている。 ○「世界と日本の地震・火山災害」「災害に備えるために」では、震災・津波・火山活動のメカニズムが詳しく記載されている。また、防災の工夫が詳しく記載されており、「釜石の奇跡」を取り扱うことで、日常的に防災訓練に対する意識を高く持つことの大切さが述べられている。 ○『地域からのメッセージ』と題して、原発事故と再生可能エネルギーについて詳しく記述されており、私たちが今後どのようにこの課題と向き合うべきか問いかけている。 ○「資源エネルギーと産業から見た日本」では、産業別に項目を起こし、世界と日本を比較して進めている。最新の国際課題にも言及されている。 ○「日本の諸地域」では、九州・中国四国・近畿・中部・関東・東北・北海道という順で学習する配列となっている。各地方の大まかな地形が確認しやすい写真や地図を最初に載せてある。各地方の特色ある取り組みを豊富な資料を元に構成されている。 ○「東北地方」では、災害防災のコラムに平安時代の資料などから大津波の状況を明らかにして、防災対策に役立てる試みが記載されている。生活・文化他地域の結びつきで、世界と東北地方との連携について、また、原発の事故による被害について今後社会全体でどのように向き合うのか言及されている。 ○「世界の国を調べてみよう」では、ロシアと周辺の国々が、例として取り上げられ、産業、経済、環境などについて学習例が示されるとともに、レポートの書き方や発表会の持ち方が具体的に詳しく示されている。 ○施設見学の例として、関西地方のものが多く紹介されており、近畿地方の三重県の生徒にと		

	って身近なものとなっている。 ○原子力発電に関する記述が多く見られ、我が国の今日的課題との関連づけが図られている。
内容の程度	○本文が精選されており、基礎的・基本的事項の学習に適している。 ○單元ごとの「学習のまとめ」がシンプルかつ多面的に示されており、学習内容の振り返りが容易である。 ○都道府県名、都道府県庁所在地についての記述が詳細で、基本的事項の定着に適している。
内容の構成及び配列	○学習指導要領の配列に合わせながら各編、章がまとめられ、基礎的事項から内容を深めていくように配慮されている。 ○適宜地図帳の使い方が掲載されており、『トライ』のコーナーで演習ができるようになっている。 ○世界各地の人々の生活と環境を学ぶ章は、自然、社会という2つの編で構成され、主題を絞って理解できるように配慮されている。
創意工夫	○地球儀を使った方位と距離の調べ方が、写真を用いて詳しく紹介されている。 ○写真資料として、諸地域の人物や生活のようすが多く用いられ、気候や風土を感覚的に理解しやすい。 ○随所に「環境+α」というコラムが設けられ、今日的な環境問題について、体系的に学べるようになっている。 ○図版を読み取って解答する「？」のコーナーや、書き込み式の問題、そして脚注に「学習課題を確かめよう」が挿入されており、生徒の自主的な学習活動を促している。 ○日本の各地方の学習では、「+（プラス）自由研究」のコーナーで生徒の自主的な学習を促し、「学習のまとめ」で内容の定着を図る工夫がなされている。 ○本文中に、「(→図①・②, P. 272)」のように、語句だけでなく図版を参照する工夫がなされている。
使用上の便宜	○A B判で扱いやすく、比較的大きなポイントの明朝体文字が見やすい。また、写真・図版も明瞭である。 ○裏表紙に、大豆油インキと再生紙の使用、教科書無償制度についての説明が記述されている。
その他	

社 会

(歷史的分野)

平成 28 年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 社会	種目名 社会 (歴史的分野)	教科書名 新編 新しい社会 歴史	発行所 東京書籍
取扱内容	○学習指導要領に基づき、社会科歴史的分野の目標を達成するための基本的な事項が、もれなく取り上げられていて、「確かな学力」と「生きる力」を育むことができる。 ○重要事項・重要人物とともに関連事項が紹介されている。大きな写真・図表・地図などと相まって、見やすい。また、事象の因果関係がくわしく記述されているため、この教科書を読んで、歴史の流れが詳しくよくわかる内容となっている。 ○言語活動の充実を目的に、歴史探検隊のコーナーが設けられており、生徒が自ら考え表現するように考えられている。		
内容の選択 及び扱い	○基本的事項に加えて、最新の動きや正確な用語を関連させて取り上げているため、前後の因果関係をよりわかりやすく理解することができる。 P 2 2 最古の人類として、猿人のサヘラントロプス・チャデンシス (トゥーマイ猿人) の頭がい骨を写真入りで紹介している。 P 7 2 鎌倉時代の下地中分について、地頭になった武士が、荘園領主との間で土地や農民をめぐる争うことを本文で記述するとともに、絵図入りで示している。 ○「歴史にアクセス」「深めよう」などの資料や特集記事が各単元に豊富に配置され、多面的・多角的に理解を深めることができる。 P 5 8～5 9 現代に受けつがれる神話について詳しく書かれており、古事記・日本書紀の学習とともに、国学の学習内容にも活用することができる。 P 1 9 0～1 9 1 「解放令」から水平社へでは、皮革産業・部落改善運動・島崎藤村の「破戒」などに焦点を当てて、表面的な動きだけではなく、差別の実態や影響について考えさせる教材を提供している。 P 2 5 2 日本の領土問題とその歴史を2ページにわたって詳細に解説している。また、それぞれの問題を写真とともに伝えることで、混同することがないように考えられている。 ○日本の領土問題について、それぞれ注釈で取り扱っている。 P 1 6 8 日本の近代化の過程において、領土が確定したことがわかる。 P 2 5 2 北方領土・竹島・尖閣諸島に関する内容が、見開き 2 ページにわたって掲載されている。 ○防災について、詳しく取り扱われている。 P 2 6 2 阪神淡路大震災、東日本大震災についてまとめられている。 P 2 7 0 歴史の中の大震災として、古代からの地震の被害がまとめられている。		
内容の程度	○歴史学習に必要な事項・人物についての記述を本文や注釈で積極的に増やしている。 P 2 2 0 の注釈、P 2 2 4 本文の援蔭ルートは、日中戦争の本質的な構図を、P 2 2 5 の ABCD 包囲陣の図表と記述は、当時の国際情勢を理解するのに役立つもの		

	なっている。
内容の構成及び配列	○歴史の導入部分について、世界の中の日本を意識づけるような配列になっている。 P 2 2～2 7 人類の出現・古代文明のおこり・中国文明・ギリシャローマ文明・世界の宗教日本列島の誕生の順で教科書が始まっている。世界の流れをつかんだ上で、日本の歴史につながっており、概観をつかみやすくなっている。 ○江戸時代の説明では、社会全般を取り扱った上で、政治の変遷を学習するように配列されている。 P 1 1 2～ 江戸幕府の成立・様々な身分・鎖国・農業・交通都市・各時代の政治となっている。
創意工夫	○ワイド判（ＡＢ判）のため、地図・絵画・写真等の資料が大きくて見やすくなっており、本文の記述量や内容も充実しているので理解しやすい。 P 7 4 東大寺南大門の両側に阿形・吽形の金剛力士像を２体とも配置（写真）している。 P 2 0 0 演説するレーニン（写真）などは、各時代に活躍した人物や時代を特徴づけたできごと・文化を大きな絵・写真入りで取り上げているため、わかりやすく、興味・関心を引く。 ○各章の扉ページ他、「歴史の流れ」で歴史上の人物を約二頭身のイラストで描き、小学校で学習した人物や文化財を中心に、親しみやすくふり返って学習できるように位置づけている。
使用上の便宜	○文字の大きさ・行数・字間・行間・書体などが適切に設定されている。 ○中国・朝鮮について、人名や国名などは、外国語読みと日本語読みの両方でふりがなを併記しているため、読みやすく、理解しやすい。 ○再生紙と植物油インキを使用し、環境と健康に配慮している。 ○カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮している。
その他	

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 社会	種目名 社会（歴史的分野）	教科書名 中学社会 歴史 未来 をひらく	発行所 教育出版
取扱内容	○学習指導要領の目標に準拠しており、社会科歴史的分野の目標を達成するための基本的な事項は、もれなく取り上げられている。		
内容の選択 及び扱い	○歴史の基礎的内容として、干支や昔の単位の説明が、巻頭のページで説明されている。 ○歴史的な用語を正しく取り上げることによって、関連した歴史の動きを正確に取り上げようとしている。 P56 注釈の中ではあるが、不輸の権・不入の権を扱っている。 P224 日ソ中立条約を用語として正確に取り上げている。 P241 イスラエルの建国～第1次中東戦争～スエズ運河の国有化～第2次中東戦争、P247 第4次中東戦争～石油危機～暫定自治まで、パレスチナ問題・中東戦争について、くわしく取り上げて説明している。第2次世界大戦後から現在に至る現代社会の国際問題を理解する基礎知識を養うことができる。 ○日本の領土問題について、コラムで取り扱っている。 P165 明治に入ってから日本の領土確定の変遷が記されている。 P257 隣国との歴史とともに、日本の領土問題が取り扱われている。 ○防災について、詳しく取り扱われている。 P259 阪神淡路大震災が本文中に、その下にはコラムで東日本大震災についてまとめられている。		
内容の程度	○「〇〇から歴史を探ろう」を設け、郷土・資料・人物・地域・世界のテーマから歴史を掘り下げる特設ページを設けて、個に応じた学習に取り組ませることができる。 ○世界史は、宗教の流れをベースにヨーロッパ、中東の歴史の流れが簡潔にまとめられている。		
内容の構成 及び配列	○世界の中の日本を意識し、多くの単元で、世界的な内容で始まり、後に日本の具体的な内容を学習する形がとられている。 ○元禄文化（P118）と化政文化（P125）が離れたページに載っており、歴史の間隔や流れを理解しやすくなっている。		
創意工夫	○小単元の見出しを時代の様子をよく象徴していることばで取り上げ、サブタイトルをつけて、生徒が特徴を理解しやすくしている。（例）小単元～サブタイトル P62 祇園精舎の鐘の声 ～新しい仏教と鎌倉幕府 P220 「ぜいたくは敵だ」 ～戦時体制と国民生活の統制 ○小単元名の上に、「時代スケール」を表示し、「これから学習する時代」として、世紀と扱う範囲が常に色づけされて示されている。どの時代を学習するのか視覚的にわかりやすく工		

	夫している。 ○様々なマーク（小学校で学んだ人物、中学校で新たに学ぶ人物、国宝、世界遺産）で、常に意識を持ちながら資料に接することができるように工夫されている。
使用上の便宜	○中国・朝鮮について、人名や国名などは、外国語読みと日本語読みの両方で併記しているため、読みやすく理解しやすい。 ○ワイド版のサイズになり、挿絵、写真、資料などが余裕を持った配置となっている。 ○再生紙と植物油インキを使用し、環境に配慮している。 ○カラーユニバーサルデザインを採用している。 ○ユニバーサルデザインフォントを採用し、多くの人に読み取りやすくしている。また、ルビはゴシック体で記載されている。 ○巻頭の扉ページだけではあるが、触って実感できる点字が加工されている。
その他	

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 社会	種目名 社会（歴史的分野）	教科書名 中学 歴史 日本の歴史と世界	発行所 清水書院
取扱内容	○学習指導要領の目標に準拠しており、社会科歴史的分野の目標を達成するための基礎的・基本的な事項は、もれなく取り上げられている。		
内容の選択 及び扱い	○説明が不十分だと思われる箇所がいくつもあるが、取り扱う事象はもれなく取り上げられていると思われる。 ○パレスチナ問題について、P17 ユダヤ教とキリスト教の誕生に関連して古代パレスチナの動き、P259 第1次～第2次世界大戦～イスラエルの建国～中東戦争～石油危機の流れ、P269 自治政府の発足などまでがくわしく説明されている。国際ニュースを聞いて、基礎的内容がわかる解説をしている。 ○防災について、P131 天明の大ききん、P270 東日本大震災、P273 原子力発電所を取り上げ、記述されている。 ○領土問題について、P178 領土の画定では欄外に尖閣諸島や竹島がそれぞれの県に編入される経緯が分かりやすく説明されている。		
内容の程度	○日本の歴史を中心としながら、諸外国の歴史について学習できる。P157 清朝の危機を学習した後、P158～159 世界情勢への注目・幕府の天保の改革へと続けて学習するのは、欧米諸国のアジア進出と江戸時代の日本の動きの関連がよくわかる。		
内容の構成 及び配列	○人類の誕生～旧石器時代～日本列島のようなす～新石器時代～縄文時代～世界の古代文明という配列で、わが国の歴史を中心として理解を図る流れとしている。 ○ヨーロッパ世界の形成・航路開拓とヨーロッパの拡大について、P90～93 中世ヨーロッパ世界の成立～十字軍の遠征と失敗～ルネサンス～宗教改革～大航海時代までの長い時代をわかりやすくまとめて記述している。		
創意工夫	○見開き単位ごとに「まとめてみよう」の項目があり、生徒の理解や表現力の向上に役立つ。 ○P8・9ページに「世界の地図」があり、できごとが起こった場所などの確認が容易である。 ○「地図でみる世界史」のコーナーで地図を通して確認ができるようになっている。 ○「もっと知りたい歴史」「歴史のとびら」のコーナーでは、詳しく学習を深めることができる。 ○章末の「まとめてみよう」は取り組みやすく、復習に活用できる。		
使用上の便宜	○文字の大きさ・行数・字間・行間・書体などは、適切に設定されている。また、本文の文体は、「だ・である」調で統一されている。 ○再生紙と植物油インキを使用し、環境と健康に配慮している。		
その他			

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 社会	種目名 社会（歴史的分野）	教科書名 社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	発行所 帝国書院
取扱内容	○学習指導要領の目標に準拠しており、社会科歴史的分野の目標を達成するための基礎的・基本的な事項は、もれなく取り上げられている。		
内容の選択 及び扱い	○世界や東アジアと日本との歴史の関わりについて丁寧に記述されており、広い視野で日本の歴史を見ていけるようになっている。 ○中央だけではなく、地方の歴史についても丁寧に記述されており、歴史を身近に感じることができる内容になっている。 ・ P70～71 琉球とアイヌの人々がつなぐ交易 ・ P90 地域史 鉄砲づくりを支えた堺と国友 ○防災に関する記述が見られる。 ・ P79 信玄堤について説明されている。 ・ P211 関東大震災について本文と「地域史」のコーナーで記述がある。「地域史」では復興計画として道路が広がったことや避難用公園が設置されたことについて説明がある。 ・ P260 東日本大震災について説明されている。 ○領土問題に関する記述が見られる。 ・ P167～168 国境画定について、竹島・尖閣諸島がそれぞれの県に編入される経緯について説明されている。 ・ P246 「歴史を探ろう」のコーナーで、日本の領土と近隣諸国について、具体的に詳しく説明されている。		
内容の程度	○イラストでその当時の生活を想像させる内容を取り入れ、生徒の興味、関心を引き出すとともに思考力や判断力を育成することを重視し、生徒自らが学ぶ意欲を高めるものとなっている。 ・ P16～17 紀元前35～前20世紀のようす ○人物索引が巻頭にあり、小学校での学習から中学校の歴史学習にスムーズに入れるような内容となっている。		
内容の構成 及び配列	○古代までの日本の学習では、「人類がたどった進化」「世界各地で生まれる文明」「東アジアに生まれた文明」「縄文時代」という配列になっており、年代的な推移を理解しやすくしている。		
創意工夫	○「確認しよう」「説明しよう」「学習をふりかえろう」で詳しく復習したり、表現する力を伸ばしたりすることができる。		

	○ところどころに「資料活用」のコーナーが設けられており、資料の注目点に焦点をあてたり思考の深めたりする手助けとなっている。 ・P91 日本にやってきた南蛮人 ○「歴史に挑戦」では、さらに歴史の事実を豊かにし、生徒の思考力や判断力を養うための工夫がなされている。 ○「人物コラム」では、歴史上の人物についてわかりやすく解説がなされている。 ○「技能をみがく」のコーナーは資料の見方を学ぶ手助けとなっている。 ・P41 絵巻物の見方 ○「チェック&トライ」を設け、基礎知識の習得と活用を意識した学習内容の再確認をしているようになっている。
使用上の便宜	○文字の大きさ・行数・字間・行間・書体などが適切に設定されている。 ○年表がわかりやすく整理され、最近のできごとまで掲載している。
その他	

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 社会	種目名 社会（歴史的分野）	教科書名 中学社会 歴史的分野	発行所 日本文教出版
取扱内容	○学習指導要領の目標に準拠しており、社会科歴史的分野の目標を達成するための基礎的・基本的な事項は取り上げられている。		
内容の選択 及び扱い	○図版などを用いながら、民衆の姿を詳しく、具体的な事例を取り上げながら多面的に取り扱っている。 ・ P 43～44 奈良時代の暮らし ・ P 87～88 室町時代の暮らし ○各時代の文化については、広い視野からその特色を深めている。従来の教科書では同じ項目で扱われていた飛鳥・天平文化、元禄・化政文化が別のページで扱われており、生徒の確実な理解を図ろうとしている。 ○防災に関する記述がみられる。 ・ P 91 「先人に学ぶ」のコーナーで、信玄堤について詳しく説明されている。 ・ P 219 関東大震災について震災復興事業について記述されている。 ・ P 269 阪神淡路大震災、東日本大震災について、生活再建の7要素、復興について説明されている。 ・ P 274 「先人に学ぶ」のコーナーで、「災害の歴史に学び、私たちの未来に活かす」に詳しい記述がなされている。 ○領土問題に関する記述がみられる。 ・ P 176 「竹島・尖閣諸島」のそれぞれの県への編入について欄外で詳しく説明されている。 ・ P 265 「現代史+α」のコーナーで「尖閣諸島・竹島」のそれぞれの県への編入の経緯や現在について詳しく説明されている。		
内容の程度	○項目ごとに「学習課題」と「学習課題を確かめよう」を配置し、学習のポイントを明らかにし、生徒の確実な理解を図ろうとしている。 ○世界や東アジアと日本との歴史の関わりについて丁寧に記述されており、広い視野で多面的に日本の歴史を見ていけるようになっている。また、大きな地図を用いて、世界と日本とのつながりをわかりやすくまとめている。 ・ P 98～P 99 「大航海時代と日本」 ・ P 148～P 149 「欧米諸国のアジア進出」		
内容の構成 及び配列	○第2編古代までの日本の学習では、「人類の誕生」「世界の古代文明」「東アジアに広がる中国の文明」「日本の原始時代」という配列になっており、年代的な推移を理解しやすくしている。		

	○「歴史を掘り下げる」では、発展的な学習にあたる内容の位置づけや内容も妥当である。 ・P64～65「古代から中世への土地制度の移り変わり」 ・P130～131「幕府のはげ山対策と都市に住む人々のリサイクル」
創意工夫	○「でかけよう地域調べ」では、地域で学ぶための方法などについて学習できる。 ○「プラスα」「豆知識」など、生徒の興味・関心を喚起するコラムが多く掲載され、生徒の理解をより進めるための工夫がなされている。 ○「図版特集」などを設け、生徒の資料活用能力をより高めるための工夫がなされている。 ・P58～59「鎌倉時代の武士の館」「平安時代の上皇の御所」 ・P124～125「江戸の町のようす」 ○「学習の確認と活用」「とらえよう！時代の転換」では、大きな時代の転換点を年表と地図でまとめ、考察することで理解を深める工夫がなされている。
使用上の便宜	○文字の大きさ・行数・字間・行間・書体などが適切に設定されている。 ○大豆油インキと再生紙を使用している。 ○年表がわかりやすく整理され、最近のできごとまで掲載している。
その他	

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 社会	種目名 社会（歴史的分野）	教科書名 新版 新しい歴史教科書	発行所 自由社
取扱内容	○学習指導要領に基づき、教科・分野の目標を達成するために基本的な事項が取り上げられている。 ○さまざまな写真・図版・地図を随所に使い、関心意欲を高め、歴史的事項を多面的・多角的にとらえられるように編集されている。		
内容の選択 及び扱い	○全体的に日本と日本人の良さに重点が置かれ、日本や日本の歴史に対する愛情を育む内容となっている。 ○世界から見た歴史事象や多面的な視点を重視し、広い視野から考える内容になっている。 ・ P 2 4 6～2 4 7 大東亜戦争とアジアの独立 ・ P 2 4 0 世界から見た大東亜戦争 ・ P 2 5 4～2 5 5 占領下の検閲と東京裁判 ○日本の文化については、各時代の特色だけではなく、日本の文化の高さや世界に及ぼした影響などにも言及している。 ・ P 1 5 0 浮世絵とジャポニズム 世界で花開いた江戸の文化 ○説明が詳しく丁寧である。また、分かりやすい文章である。 ○防災意識を高められるように内容に工夫がみられる。 ・ P 1 1 1 信玄堤について記述、図示がある。 ・ P 1 4 3 松平定信による備蓄米制度について記述がある。 ・ P 2 2 1 関東大震災後に耐震設計の基準がつけられたことや、都市防災の研究が始まったことについて記述されている。 ・ P 2 7 3 東日本大震災時のふるまいについて記述がある。 ○領土問題について分かりやすく説明されている。 ・ P 1 7 2～1 7 3 領土の画定では、北方領土が我が国固有の領土となったことが経緯も含めて分かりやすく記述されている。 ・ P 2 5 8 北方領土について記述がある。 ・ P 2 7 2 尖閣諸島・竹島についてそれぞれの県への編入の経緯が説明されている。		
内容の程度	○項目ごとに短い設問が設定され、学習のポイントを明確にしている。 ○世界史については、日本の歴史との関連を重視して、簡潔に記述されている。		
内容の構成 及び配列	○世界史と日本史の配列が工夫されており、世界と日本の動向や関わりがとても理解しやすい。		
創意工夫	○各章のまとめでは、キャラクターの会話を参考にしながら、まとめができるよう工夫されている。 ○「もっと知りたいコラム」では、さまざまな事柄について興味深く分かりやすい形でまとめ		

	られており、生徒の理解を助けるものとなっている。 ○「歴史豆辞典」では、重要な用語をわかりやすく解説しており、基礎・基本の定着に役立つよう工夫されている。 ○「まとめにチャレンジ」では、各単元における重要な概念などについて、理解を深めて表現する力をつけるのに役立つと思われる。
使用上の便宜	○文字の大きさ・行数・字間・行間・書体などが適切に設定されている。また、本文の文体は「だ・である」調で統一されている。 ○写真や資料などが大きく生徒にとって見やすく、わかりやすいものになっている。
その他	

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 社会	種目名 社会（歴史的分野）	教科書名 [新編]新しい日本の歴史	発行所 育鵬社
取扱内容	○学習指導要領の目標に準拠しており、社会科歴史的分野の目標を達成するための基礎的事項が取り上げられている。		
内容の選択 及び扱い	○基本的な学習事項に加えて、必要に応じて、多くの注釈を加えて理解しやすくしている。また、簡潔に表現している。 P70 ①～⑤ P108 ①～⑧ ○各章の初めに「鳥の目」「虫の目」として、基本的事項をとらえやすくしている。「鳥の目」は、歴史の大まかな流れを把握しやすく、「虫の目」は、その時代の特徴をつかみやすくなっている。 ○各章の最後には、「なでしこ日本史」と名付けられたコラムがあり、その時代に活躍した女性に焦点を当てている。 ○日本の領土問題について、詳しく取り扱っている。 P173 明治初期の日本の領土確定の歴史について、歴史ビューで詳しく取り扱っている。 P241 北方領土占領の流れが、注釈に記載されている。 P273 本文中に領土問題の現状が記されている。 ○防災について、詳しく取り扱われている。 P272 日本の課題として、阪神淡路大震災、東日本大震災についてまとめられている。		
内容の程度	○各時代の巻頭にある「歴史絵巻」は、カラーのイラスト入りできれいで見やすく、各時代の歴史の大きな流れを印象的に理解することができる。 ○各文化の単元は簡潔にまとめられ、基本的事項中心に記載されている。 ○世界史については、中学生の発達段階を考慮して、深入りを避けて内容を精選して記述されている。 P27 世界の古代文明（エジプト・メソポタミア・インダス）を文明ごとに区別せずに、解説を1ページにまとめて記述されている。		
内容の構成 及び配列	○第1章第2節「日本」の国の成り立ちの前に、仏教だけでなく、世界に広がる宗教についてまとめて記述されている。 ○人類の誕生～旧石器時代～日本人の祖先～縄文時代～世界の古代文明という配列として、わが国の歴史を中心として理解を図る流れとしている。 ○西洋史については、大航海時代からの流れを精選・記述されている。また、コラムのコーナーを活用し、補足している。		

創意工夫	○挿絵に番号がふられ、注釈がついていることで、生徒が自分の力で読み取ることができるようになっている。 ○学習のまとめのページでは、重要語句が記載されているページも併記しており、生徒が自習できるように工夫されている。 ○OP290には、自分で調べ学習ができるように、参考となるHPアドレスが表記されている。
使用上の便宜	○カラーバリアフリーへの配慮がなされている。 ○フリガナなどの小さな文字はゴシック体で書かれ、読み取りやすく工夫されている。 ○中国・朝鮮について、人名や国名などは、外国語読みと日本語読みの両方でふりがなを併記しているため、読みやすく便利である。 ○判型がワイド版（AB版）のため、挿絵、写真が大きく記載されている。 ○大豆インキで印刷し、本文用紙の一部に再生紙を使用して、環境に配慮している。
その他	

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 社会	種目名 社会（歴史的分野）	教科書名 ともに学ぶ人間の歴史	発行所 学び舎
取扱内容	○学習指導要領の目標に準拠しており、社会科歴史的分野の目標を達成するための基本的な事項は、もれなく取り上げられている。 ○基本的な事項だけでなく、部分部分では掘り下げた内容が記載されている。		
内容の選択 及び扱い	○「章をふりかえる」では、単に問題を解くのではなく、生徒が問題を作成したり、ゲーム感覚で取り組むことができるよう工夫されている。 ○見開き2ページで1時間の授業構成であるが、ページ左上には大きな写真や絵があり、興味関心を抱くようになっている。 ○歴史的事項の説明では、生徒が興味を抱くような、具体的な表現がなされている。 P35 11行 紫色のひもで持ち手を結んで・・・ P39 4行 607年、小野妹子は高い地位の冠をつけて・・・ P106 1行 江戸館は、遠浅の日比谷入江を見下ろす高台にありました。石垣もなく荒れ果てていて・・・ など ○フォーカスのコーナーでは、歴史的史実を場所、人名、内容が理解しやすいよう物語風に仕上げられている。 ○日本の領土問題について、それぞれ注釈で取り扱っている。 P195 尖閣諸島について P199 竹島の領有について P267 北方領土について ○防災について、詳しく取り扱われている。 P286 東日本大震災について、見開き2ページにわたって掲載されている。		
内容の程度	○歴史を体験するでは、生徒が興味を持ち、実際体験できそうな事柄が取り扱われている。（火おこし体験、インターネットの利用など） ○世界史では、民族の観点からドイツの歴史が取り扱われている。		
内容の構成 及び配列	○「章をふりかえる」では、重要語句の確認に重点を置いている。 ○人類の誕生から始まり、農耕の始まり、エジプト文明、インダス文明、中国文明、日本の旧石器時代、縄文時代、弥生時代の順で学ぶよう考えられている。		
創意工夫	○重要語句を、太文字等で特別に表記していない。 ○本文脇に、重要事項、重要語句が丁寧に説明されている。 ○章ごとに見出しの語句の文字色が変わっており、学習している時代の節目節目を感じることができる。 ○各見開き左ページ上には、生徒の興味関心を引く見出しとともに、サブタイトルでは、焦点		

	を絞った表記がなされている。
使用上の便宜	○中国・朝鮮について、人名や国名などは、外国語読みと日本語読みの両方で併記しているため、読みやすく理解しやすい。 ○A4版のサイズを採用したことで、挿絵、写真、資料などが大きく表示できるようになっている。 ○再生紙と植物油インキを使用し、環境に配慮している。 ○製本は、PUR製版で綴られている。 ○ユニバーサルデザインフォントを採用し、多くの人に読み取りやすくしている。また、ルビはゴシック体で記載されている。
その他	

社 会

(公民的分野)

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 社会	種目名 社会（公民的分野）	教科書名 新編 新しい社会 公民	発行所 東京書籍
取扱内容	○学習指導要領に準拠し、社会科および公民的分野の目標を達成するための基本的事項は漏れなく取り上げられている。 ○全編を通して資料が豊富で、写真・グラフ・図表・コラムなど内容も多彩である。特に新聞記事が多く、様々な方面から、現実的な視点で内容を深めることができる。 ○表紙見開きに「持続可能な社会を目指して」をテーマに「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統文化・宗教」「防災・安全」と項目を挙げ、裏表紙見開きに同じ項目で「私たちにできる社会参画」と視点をより自分自身の身近な生活に繋げており、「公民」的分野の教科書として、どういうことを、どういう観点で学び、どこへ向かうのかが明確に提示されている。 ○「公民学習の初めに」で「公民」について、さらに地理的分野や歴史的分野との関わりを挙げながら、より具体的に学習の視点を分かりやすく説明している。		
内容の選択 及び扱い	○生徒の興味や関心を喚起するような身近な内容を取り扱っている。 P25 「社会集団の中で生きる私たち」で、「マンションの駐輪場問題」を取り上げ、その中で娘が「え！？それじゃあ、高校に進学しても自転車で通学できないってこと？私の志望校、自転車じゃないと通えないよ！」と中学校3年生らしい意見を述べ、その下に国会審議の写真が掲載されているなど社会とのつながりが意識されている。 P56 「人権保障を確かなものに」で、「静岡市の路上喫煙被害等防止条例」が中学校1年生の請願によるものであるという話題を取り上げ、参政権の内容に繋げている。 P74 「民主主義と政治」で、「生徒総会」「生徒会役員選挙の様子」を写真掲載し、「民主主義と政治」を扱い、次ページに「政治参加と選挙」を「帝国議会開設当初の投票風景」「戦後初の衆議院選挙」「現在の投票所の様子」と歴史的な経過も踏まえて、その仕組みを理解させている。 ○公民的分野における今日的な話題を的確に取り上げている。特に新聞記事が豊富に使われており、身近で分かりやすい工夫が為されている。また、「公民にアクセス」というコーナーを設け、より深く興味・感心を持ち、考えさせる話題を数多く提供している。 P8・9 「グローバル化」で、「海外で活躍する日本人」と「日本で暮らす外国人」を見開きの両サイドに「建設・製造」「医療・福祉」「教育」という同じ観点から比較できるような写真構成が工夫されている。 P14 「持続可能な社会に向けて」で、改めて公民的分野を学ぶ視点を明示している。また、東日本大震災にもここだけでなくできるだけ多くの機会に触れ、「社会参画」についてより考えさせている。 P45 「基本的人権と個人の尊重」で、「子どもの権利」を紹介しているイラストに、女子がサッカーをし、男子が読書をしているシーンが使われるなど、社会的な一般概念を一度見つめ直し、考えさせるような扱いがされている。他に男性が赤ちゃんを抱っこして投票するイラスト、写真なども使われている。 ○多面的・多角的な考察に適切な資料が選択され、思考力、判断力、表現力を高める上で適切		

	な内容となっている。
内容の程度	○豊富な写真と近年の話題を取り扱った資料が多いなど、タイムリーで具体的な事例をたくさん取り上げ、分かりやすいように工夫されている。 ○資料で事例を紹介するときに写真やイラストを大きく分かりやすく示し、特に図表が見やすく描かれていて分かりやすい。
内容の構成及び配列	○「現代社会とわたしたちの生活」(27ページ)「個人の尊重と日本国憲法」(37ページ)「現代の民主政治と社会」(45ページ)「私たちのくらしと経済」(49ページ)「地球社会と私たち」(37ページ)の5章と終章「より良い社会を目指して」(7ページ)及び「統計・資料」(32ページ)で構成されており、昨今の社会情勢を鑑みて特に経済分野が増量されている。統計・資料も豊富で、全体的なバランスも適切である。
創意工夫	○各章の導入部に「小学校での学習内容」を振り返り、大きな図版で興味・関心を引き出し、章及び単元の「学習のめあて」をイラストの吹き出しを使って明示している。また、「第○章を学ぶにあたって」でさらに詳しく学習の内容及び視点を提示している。地理的分野や歴史的分野との関連にも触れられている。 ○各章の導入部分に見開き2ページを使って大きなイラストなどを提示しながら身近で具体的なテーマ、観点から「やってみよう」という課題で単元内容を示し、視点を明示しつつ、生徒の興味・関心を引き出そうとしている。 ○見開き上部に大きな資料、中央に本分、左右に本分を補完する資料を配置している。バランスも構成も統一されており、写真・グラフ・図表・コラム・イラストなども見やすい大きさで分かりやすく効果的である。 ○「公民にチャレンジ」「公民にアクセス」だけでなく「深めよう」などさらに考えを深めるコーナーが設けられている。グループで議論させるなど、言語活動表現活動にも発展させている。 ○「調査の達人」など、具体的な表現活動についてもコーナーが設けられている。 ○「えんぴつマーク」「分野関連マーク」「世界遺産マーク」など、広範囲で多岐にわたる視点や指摘を、細かく丁寧に展開している。
使用上の便宜	○AB版を使用し、見やすい。 ○文字の書体、大きさ、行間、字間も適切である。 ○カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮したつくりとなっている。 ○再生紙・植物性インキを使用している。
その他	

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 社会	種目名 社会（公民的分野）	教科書名 中学社会 公民 ともに生きる	発行所 教育出版
取扱内容	○学習指導要領の教科・分野の目標及び内容に準拠して適切な配慮が為されている。 ○市民的教養としての基礎・基本を身につけ、自分の言葉で表現する力の育成を図ろうとしている。		
内容の選択 及び扱い	○基礎・基本の習得と共に読解力・表現力を養えるように、特設ページとして、「言葉で伝え合おう」という項目で「情報リテラシー」ってなんだろう～情報の入手と活用」「もしも私が裁判員裁判に参加したら～シミュレーション」「まちづくりのアイデアを提言しよう～プレゼンテーション」「犯罪の防止か、プライバシーの保護か～ディベート」「こんな企業に CRS を行ってほしい～ポスターセッション」「福祉の課題を追求しよう～レポートの作成」の6テーマで、現代的な話題を具体的な活動で理解させると共に、「読んで深く考えよう」という項目で「繫げたい、日本の伝統や文化」「国際社会の厳しい現実と平和主義」「需要曲線と供給曲線ってなんだろう」「貿易とはなんだろう」「日本の外交のいま」「ともに生きる社会を目ざす人たち」の6テーマで、より考察を深めようとする言語活動が取り入れられている。 ○P46でハンセン病、P47で育児休暇の取得率の男女比、拡大版教科書、P48で「国会でアイヌ語で質問する萱野さん」など、平等権について多岐にわたる視点が扱われている。 ○P50「ともに生きる社会を目指す人たち」でも、「識字学級」「ハンセン病」が扱われている。 ○「公民の窓」や「クリップ」といったコーナーで、さらに興味や関心を広げていく、深めていく発展性が取り入れられている。		
内容の程度	○本文による情報の提示だけでなく、資料も豊富で、特設コーナーやコラムなどでは、かなり専門的な内容も扱っている。		
内容の構成 及び配列	○「私たちの暮らしと現代社会」（20ページ）「人間を尊重する日本国憲法」（36ページ）「私たちの暮らしと民主政治」（42ページ）「私たちの暮らしと経済」（34ページ）「安心して暮らせる社会」（22ページ）「国際社会に生きる私たち」（38ページ）の6章及び終章として「私たちにできること」（6ページ）と「学習資料編」（22ページ）で構成されている。		
創意工夫	○「本文ページの見方・使い方」が工夫されている。章・ページ毎の「はじめに」「学習課題」と「ふりかえる」が設置されており、明確である。「学習のまとめと表現」も、よく整理されている。 ○本文記述と資料の関連性が分かるように、資料番号がつけられている。		

使用上の便宜	○図版も豊富で、カラーユニバーサルに配慮した配色や表示が為されている。 ○印刷にバイオマスで発電されたクリーン電力を、再生紙と植物油インキを使用するなど環境にも配慮している。
その他	

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 社会	種目名 社会（公民的分野）	教科書名 中学 公民 日本の社会と世界	発行所 清水書院
取扱内容	○学習指導要領に準拠し、社会科及び公民的分野の目標を達成するための基本的な事項は漏れなく取り上げられている。 ○表紙見開きに世界地図、裏表紙見開きに年表と、地理や歴史の関連を意識づけている。 ○「世界の中学生」など、本文中の写真においても、子どもの姿が強調して取り上げられている。 ○「学習のはじめに」で、「公民」について「個人と社会」「現実を学ぶことと理想を求めること」という観点で論じてあらかじめ明らかにし、序章において、扉にレイチェル＝カールソン、谷川俊太郎の詩から始まり、生活と文化～伝統、少子高齢化や情報化、グローバル化といった現代社会の特色を経て、「ともに生きる社会をめざして」「持続可能な社会へ」と展開している。		
内容の選択 及び扱い	○P25「第1編 わたしたちの生活と政治」の扉にネルソン＝マンデラ、P29に「連行されるユダヤ人」、P30に「初めて選挙権をえた選挙で投票する女性たち」、P34でワシントン大行進、P35で「解放されたアウンサンスーチーさん」、P56で「銃を手にする少年兵」、P57で「スラムの子どもたちに読み書きを教える日本の青年海外協力隊員」など、歴史的・国際的な視野で基本的人権などを理解できるように工夫されている。 ○P44「深める公民」コーナーで、「平等権について考える」として男女平等、ハンセン病、部落差別、外国人差別について扱っている。 ○「もっと知りたい公民」「深める公民」といった特設ページを設け、より広く多角的な視点や、さらに深く理解を進められる工夫が為されている。 ○本文中の語句説明が見開き両サイドに設けられており、かなり詳しく細かく説明されている。また、見開きページ毎に学習目標が立てられており、学習の目当てが分かるように工夫されている。		
内容の程度	○写真やグラフ・図表・イラストを使って、分かりやすいように工夫されている。 ○コラムなどでも、専門的な話題が触れられている。		
内容の構成 及び配列	○序章「私たちと現代社会」（16ページ）から始まり、「私たちの生活と政治」（64ページ）「私たちの生活と経済」（60ページ）「国際社会を生きる」（24ページ）及び「資料」（30ページ）で構成されている。		
創意工夫	○「もっと知りたい公民」では、マンガなどで分かりやすく興味を持ち理解が進むように工夫されている。 ○生徒のイラストで視点や理解すべきポイント、教師のイラストで課題やまとめを示している。		

使用上の便宜	○文字の書体、大きさはユニバーサルデザインの文字を使用している。行間、字間も適切である。 ○文体が「だ、である」調で統一されている。 ○再生紙及び一部に環境に配慮したインキを使用している。
その他	

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 社会	種目名 社会（公民的分野）	教科書名 社会科 中学生の公民 より良い社会をめざして	発行所 帝国書院
取扱内容	○学習指導要領に準拠し、社会科及び公民的分野の目標を達成するための基本的な事項は漏れなく取り上げられている。 ○全編を通して資料が豊富で、写真・グラフ・図表・コラムなど内容も多彩である。学習の導入、発展、確かめなど、様々な方面から内容を深めることができる。		
内容の選択 及び扱い	○表紙見開きでは、最新の話題を世界的に活躍している日本人という観点で示している。 ○裏表紙見開きでは、「未来に向けて より良い未来をめざして～さまざまな分野に挑戦する中学生～」という視点で、各単元の内容に即して身近な話題から公民的分野の学習目標を示している。 ○公民的分野の学習について、「年齢に応じてできること」から始まり「学習のはじめに」で「夢に向かって」とタイトルを付けている。 ○「第1章 私たちの生きる現代社会について考えよう」では、少子高齢化、情報化、グローバル化について、過去と現在の写真を掲載し、比較することで理解をやすくしている。他にもP36「教科書を受け取る中学生」、P40「原爆投下直後の原爆ドーム」「広島平和式典」、P42「1999年3月までの求人広告」「1999年4月以降の求人広告」などでも同様な工夫がなされている。 ○P44で部落差別、P45で国会で質問する萱野茂議員、P46でハンセン病が扱われている。 ○見開きページの最初に、「クローズアップ」として写真や新聞記事を大きく取り上げ、学習の内容や課題について分かりやすく示している。また、授業や章の後に「確認しよう」「説明しよう」「学習をふりかえろう」で整理されている。 ○「トライアル公民」（7テーマ）や「未来に向けて」（5テーマ）で、表現活動や、より深める、広げる視点を設けている。また、「羅針盤」というコラムで、さまざまな取り組みを紹介しているが、テーマ・内容・表現とも現代的であり適切である。		
内容の程度	○資料の内容が近年の話題を取り扱ったものなど、タイムリーで具体的な事例をたくさん取り上げ、分かりやすく示している。 ○写真やグラフ・図版が大きく見やすい。		
内容の構成 及び配列	○「私たちと現代社会」（26ページ）「私たちと民主政治」（72ページ）「私たちと経済活動」（58ページ）「私たちと国際社会」（32ページ）「より良い社会をめざして」（16ページ）及び「資料」（22ページ）で構成されている。		
創意工夫	○見開きページ上部40%程度を「クローズアップ」及びコラムや図版などで構成し、本文を中心に両サイドに、さらに詳しい資料や語句の解説を配置が統一されており、たいへん分かりやすい。		

	○「羅針盤」には、「YES NO」といった、テーマに対して生徒が自分の考えを持つような工夫がされている。 ○「学習をふりかえろう」が2ページにわたって丁寧に設けられている。
使用上の便宜	○カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮している。 ○環境にやさしい再生紙、ライスインクを使用している
その他	

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 社会	種目名 社会（公民的分野）	教科書名 中学社会 公民的分野	発行所 日本文教出版
取扱内容	○学習指導要領の教科・分野の目標および内容に準拠して適切な配慮がなされている。 ○全編を通じて資料が豊富で、写真・グラフ・図表など内容も多彩である。 ○社会的事象に関心を持ちながら主体的に学び、社会を構成する一員としての自覚や能力を高めようとする内容となっている。		
内容の選択 及び扱い	○基礎・基本の定着のため、学習課題の明確化や自学自習を促すような配慮がなされている。 ・各編とも導入ページの「ナビ」で大きく学習を捉えさせ、編終わりの「学習の整理と活用」の「学習内容と語句の整理」「関連ページのふり返し」「合意を考えるための問題」で、自ら取り組めるように課題を設定している。また、重要なところについては、空欄に書き込めるようになっている。 ・一単位時間の見開き1ページごとに、単元の隣に「学習課題」が明示され、最後に「学習の確認と活用」で自らまとめられるようになっている。 ・言語活動コーナーの「読み取ろう」「考えよう」「伝えよう」で、図版の内容を読み取るなど自ら取り組めるように課題を設定している。 ○学習内容を活用しながら自ら考え、判断し、表現していけるような問題解決型の学習活動が組み込まれている。 ・「チャレンジ公民」では、学習内容を生かして、ものごとの考え方や話し合いの技能などが学習できるようになっている。 ・「情報スキルアップ」では、情報の読み取りや活用するときに必要な知識・技能や注意する点が学習できるようになっている。 ○学習の最終段階での「持続可能な社会を目指して」で、「これからの社会をどんな社会にしたい？」という問いかけをもとに、レポート作成を通して社会の課題に向き合い、社会参画する態度を養う工夫がされている。 ・P207～216 レポートの課題例を挙げ、作成の手引きに沿って取り組めるようになっている。		
内容の程度	○本文による情報の提示だけでなく、体験的な活動が多く取り入れられており、資料も豊富で多岐にわたっている。 ○資料で事例を紹介するときに、写真やイラストを大きくわかりやすく示している。 ○本文の文章は読みやすく、簡潔である。		
内容の構成 及び配列	○「私たちと現代社会」（30ページ）「私たちの生活と政治」（88ページ）「私たちの生活と経済」（56ページ）「私たちと国際社会」（30ページ）「私たちの課題」（11ページ）の5つの編で構成されている。		

創意工夫	○「アクティビティ」で、学習への理解が深まる具体的な作業学習が提示されている。 ○「公民プラスα」で、学習内容に関する事項を掘り下げ、理解を深めることができる。 ○「明日に向かって」で、社会に参画するための手掛かりが提示されている。 ○「キーワード」で重要な用語を簡潔に確認できるようにしたり、「豆知識」で最新の時事問題をとり上げて、関心を高めるように工夫がされている。 ○巻末に「用語解説と類似用語集」の項が設けられている。 ○情報量が多く、紙面構成や配色などで分かりやすく配置されている。
使用上の便宜	○文字の書体、大きさ、行間、字間も適切である。図版も豊富である。 ○各ページにインデックスがつけられており、今、学習しているところが全体の流れの中で把握できるように工夫されている。 ○カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮した作りとなっている。 ○植物油インキと再生紙を使用して環境にも配慮している。
その他	

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 社会	種目名 社会（公民的分野）	教科書名 新しい公民教科書	発行所 自由社
取扱内容	○学習指導要領に準拠し、社会科及び公民分野の学習の目標を達成するための基本的な事項は漏れなく取り上げられている。		
内容の選択 及び扱い	○生徒の興味や関心を喚起するような内容を取り扱っている。 P11 日本の文化について、江戸時代のリサイクルの例をあげ、昔の知恵を紹介している。 P49 日本歴史の政治上、「合議」が伝統とされてきた歴史を取り上げている。 P61 生徒になじみの薄い、天皇の国事行為についてくわしく載せている。 P172 エネルギーと資源の未来の学習で、「レアメタル」「資源外交」「原子力発電」「新エネルギー」といった資源に関わる近年の問題が取り上げられている。 ○多面的・多角的な考察に適切な資料が選択され、思考力、判断力、表現力を高める上で適切な内容になっている。 P75 「わが国の安全保障の課題」について、阪神淡路大震災・東日本大震災における救助活動の様子を伝える写真がくわしく載せられていて、災害時の派遣についてわかりやすく、タイムリーな話題である。 P165 自衛隊と安全保障の学習で、在日アメリカ軍基地が沖縄を中心に、日本各地に存在していることを地図を入れて説明されている。		
内容の程度	○本文の内容が整理されていて、学習ポイントを押さえている。		
内容の構成 及び配列	○「現代日本の自画像」（18ページ）「個人と社会生活」（18ページ）「立憲国家と国民」（20ページ）「日本国憲法と立憲的民主政治」（50ページ）「国民生活と経済」（36ページ）「国際社会に生きる日本」（34ページ）「持続可能な社会をめざして」（18ページ）の7つの章で構成されている。		
創意工夫	○グラフのカラーがはっきりしていて見やすい。 ○用語解説のコーナーや、関連内容等を扱った「ミニ知識」、要点を示した「ここがポイント！」等のコラムを設けており、生徒の関心・興味を深める工夫がされている。 ○「もっと知りたい」というコーナーが設けられ、発展的に学習できる。		
使用上の便宜	○文字の書体、大きさ、行間、字間も適切である。		
その他			

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 社会	種目名 社会（公民的分野）	教科書名 [新編]新しいみんなの公民	発行所 育鵬社
取扱内容	○学習指導要領の教科・分野の目標および内容に準拠して適切な配慮が為されている。 ○現代社会を多面的多角的に捉えながら、我が国独自の文明と文化への興味関心を培い、地域の文化や産業の題材を豊富に扱っている。		
内容の選択 及び扱い	○章末の「学習のまとめ」で、重要語句の確認や、（ ）に語句を入れる、クラスで意見交換をするなど、学習内容の整理や作業的、活動的な取り組みを設け、より深い理解や、判断力・表現力を育てられるように工夫されている。 ○領土問題、拉致問題、国家観について、政府の公式見解、学習指導要領に基づき明示し、記述が多い。 P176「2 国家とは何か」、P180「3 国家と私たち」、P178「領土を取り戻す、守るということ」（「理解を深めよう」）、P181『国家「君が代」の意味』（「理解を深めよう」）、P182「北朝鮮による日本人拉致事件」（「理解を深めよう」）		
内容の程度	○本文による情報の提示だけでなく、資料も豊富である。		
内容の構成 及び配列	○「私たちの生活と現代社会」（34ページ）「私たちの生活と政治—日本国憲法の基本原則—」（40ページ）「私たちの生活と政治—民主政治と政治参加—」（38ページ）「私たちの生活と経済」（50ページ）「私たちと国際社会の課題」（38ページ）の5つの章で構成されている。		
創意工夫	○P4～5「人生モノサシ 15歳からの自分の過去・現在・未来」では、自分の人生と公民の授業で学習する内容との関わりについて知る工夫がされている。 ○各章の導入に、「発見！現代社会の特色」「法の入り口」「政治の入り口」「経済の入り口」「国際社会の入り口」が設けられ、興味・関心を持たせる工夫がされている。 ○「やってみよう」というタイトルでコーナーを設け、ディベート等も取り上げ、体験学習的な調べ学習や表現方法などが身につけられるような工夫がされている。 ○多様な観点で学習が深められるように「理解を深めよう」「考えよう」というタイトルでコーナーを設け、個々の関心・意欲に応じて自学自習できるような工夫がされている。		
使用上の便宜	○文字の書体、大きさ、行間、字間も適切で、図版も豊富である。 ○A B判を使用し、見やすい。 ○植物油インキや再生紙を使用して、環境にも配慮している。		
その他			

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 社会	種目名 地図	教科書名 新編 新しい社会 地図	発行所 東京書籍
取扱内容	○学習指導要領の目標に準拠している。世界および日本の地図の他にも、人々の生活と密着した写真資料や統計資料などが、多彩かつ豊富に取り入れられている。		
内容の選択 及び扱い	OP7～72 では、世界全体の概観、世界の各地域について、地形図、主題図、統計資料を取り上げ、学習内容を深めていけるように記述されている。 OP13, 14 では世界の環境について3つのテーマ地図を中心に、様々な環境についての写真が配置され、世界全体の問題としてとらえることができる。 OP15～18 の「世界の生活・文化」では、食・住・宗教・祭りをテーマに多くの写真やイラストが掲載され、興味関心を持って比較しながら学習できる。 ○各州の最初のページに海底地形を含めた地形図が載せられている。 OP73～130 では、日本全体の概観、日本の各地方について、教科書の各地方のテーマにもとづいた地形図、主題図、統計資料を取り上げ、学習内容を深めていけるように記述されている。 ○各地方の地形図には、農業や工業に関するイラストがのっけていて分かりやすい。 ○各地方がテーマにした内容については、様々なテーマ資料の地図が載せられている OP131～155 では、世界や日本の自然、人口、資源、産業、貿易など基本的な地図資料が載せられている。 OP156～165 では、世界全体、世界の各地域、日本全体、日本の各地方について、「統計資料」を掲載し、数字であらわされるデータから理解を深められるように記述されている。 OP166～178 では、世界の地名、日本の地名、事項別の索引を、カラー刷りで掲載している。特に、事項別索引は、歴史的分野・公民的分野での活用も進めるものとなっている。 ○世界の各地域の地図には、掲載地域にある主な国の国旗が、併記されている。		
内容の程度	○索引は、例えば「津市〔三重〕……72F5」というように、都道府県名を併記したうえで、簡易に地図上の位置を見つけられるように記述されている。 ○日本の地名には、すべてにふりがなが付してあり、生徒が正確な地名を理解しやすい配慮がなされている。 ○世界の各地域の地図には、地球儀および半球図に掲載範囲が示され、地球上での位置を理解しやすくする配慮がなされている。		
内容の構成 及び配列	OP4～6 では、地図記号や本書の活用方法を紹介し、活用例を理解させるようになっている。 ○歴史的分野・公民的分野の学習にも十分活用できるような資料が、豊富に掲載されている。		
創意工夫	OP39 のヨーロッパでは「EU加盟国」、P99 の中部地方では「スキー場、水力発電所」のように、タイトル枠に、それぞれの地図で注目させたい事項を記号で示し、各地域の特色を理解しやすい工夫がなされている。		

	○世界各州のテーマ資料では農作物や鉱工業の分布などわかりやすく見やすい地図資料が使われている。異なったテーマの資料でも縮尺や表示範囲を統一するなどわかりやすい表記になっている。 ○日本各地方の地図では、地方全体図及び主要部分の土地利用の地図に、地方の特産物が記号および仮名で表記され、それぞれの地域の特色が、産業と関連づけて容易に理解できるよう工夫されている。 ○日本各地方のテーマ資料では、教科書で取り上げられたテーマに従って理解を深めるための地図資料がのせられている。 ○世界の国の統計では、国ごとの主な宗教が、記号を用いて記述され、各宗教の分布を理解しやすくする工夫がなされている。 ○ページの左にテーマ内容がインデックスのようにのせられていて使いやすい。
使用上の便宜	○A5判サイズを使用し、見開き2ページの紙面を有効に使ったレイアウトがなされている。 ○色文字を黒で縁取りするなどのカラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮されている。 ○再生紙・植物油インキを使用し、環境への配慮がなされている。
その他	

社会 (地图)

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 社会	種目名 地図	教科書名 中学校社会科地図	発行所 帝国書院
取扱内容	○学習指導要領の目標に準拠している。世界および日本の地図の他にも、人々の生活や自然風景などの写真資料が豊富に取り入れられている。また、統計資料も豊富である。 ○東日本大震災後の復興の様子や災害・防災に関する記述が豊富である。		
内容の選択 及び扱い	OP1「世界の国々」では、2015年1月現在の国家問題が載っている（イスラエルの国際社会からの扱いなど） OP8 地形図の読み取り方が詳しく解説してある。 OP13「世界の環境問題」では、世界地図を中心に据えて、その周辺に様々な環境問題の写真が配置され、地球全体の問題ととらえることができるようになっている。 OP15～18の「世界の生活・文化」では、衣・食・住、言語、宗教というテーマごとに多くの写真やイラストが掲載され、興味関心を抱かせながら、比較することができるようになっている。 OP31～32の「東アジアと日本」では、中国から日本列島を眺める図にすることで、日本と大陸との歴史的なつながりをイメージすることができるようになっている。イラストも豊富である。 OP33～34「東南アジア」では、第二次大戦中の日本とアジアの関係がつかみやすい情報が記載されている。 OP73～74の「太平洋・インド洋」では、インド洋と太平洋を大観するとともに、エルニーニョ現象について掲載することで、環境についても学習することができる。 OP75～80の「日本列島」では、領土問題がある地域の写真も大きく掲載されており具体的に課題が分かる。 OP91「広島市付近」では、原爆ドームを中心とした第二次大戦前と大戦中の比較ができるようになっている。 OP93「近畿地方」では、神戸の震災に備えた工夫の記述がある。 OP99～100には「明日香村」の鳥瞰写真が挿入されており、歴史的分野との関連を図りながら、興味を持って学習できるようになっている。 OP128 東北地方の復興の様子が調べられる情報が載っている。 OP143～144「日本の災害と防災」では、災害の発生メカニズムと防災に関する情報が詳しく記載されている。 OP148では、日本の電力生産について記述されており、中でも「クリーンエネルギー発電」について明記することで、我が国の今日的課題について考えることができる。		
内容の程度	○日本地図の地名にはすべてふりがながふられ、誤って読むことがないようになっている。 ○世界各州の基本図には、同縮尺・同図法のものが多く用いられ、大まかな比較ができるようになっている。		

	○世界各州の基本図のページには、国旗が掲示され、興味関心を持つ手がかりになっている。
内容の構成 及び配列	○巻頭の見開きページに、地図帳の記号凡例、使い方、特色をとらえるポイントが説明されている。 ○それぞれの州の記載がその州に特化しており、大きく見やすい。 ○それぞれの地域の基本図の後に、その地域の様々な資料図が掲載されている。イラストが豊富で特産品などイメージしやすい。 ○P103～104「本州中央部」には五街道が記載されており、歴史の授業にも対応できる。 ○P110「世界遺産富士」では、衛星画像を使い、立体的にその様子がみられるようになっている。
創意工夫	○随所に「やってみよう」「地図をみる目」という課題や着目点が示されており、生徒の自主的な取り組みを促すよう工夫されている。 ○鳥瞰図が豊富に掲載されており、地域の地形の特徴や土地利用について、視覚的にとらえやすい工夫がなされている。 ○日本の基本図中には、市町村合併以前の旧町村名等が掲載されており、津市についても、合併前の10市町村すべてが掲載されている。 ○P95の「大阪府とそのまわり」の地図には、三重県の一部が掲載されており、伊賀市や名張市と関西地方との関連が読み取りやすくなっている。 ○P156以降の統計ページではカラー文字や太文字を使うことで、特徴を読み取りやすくなるよう工夫されている。 ○日本の主な都市の地図が拡大されており、区分けも見やすい。 ○巻末の資料はグラフ、分布図、統計資料など指導要領の内容に沿ったものとなっている。
使用上の便宜	○横幅の広いA判を採用することで広範囲を地図で表現することができている。 ○インクが濃く、色表示がはっきりしており見やすくなっている。(各地図や分布図など) ○再生紙・植物油インキを使用し、環境への配慮がなされている。
その他	

数 学

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 数学	種目名 数学	教科書名 新編 新しい数学	発行所 東京書籍
取扱内容	○学習指導要領を踏まえて、基礎的基本的な知識・技能を習得し、数学的活動を通して数学的な思考力・判断力を身につけ、課題の探求を通して意欲的に取り組むことができるような内容になっている。		
内容の選択 及び扱い	○すべての章において、考え方・ノートの形式の具体的な解答・まちがしやすい内容のワンポイントアドバイスが示されており、生徒にとってわかりやすいと思われる。 ○生徒のキャラクターを使い、考えの一端を紹介したり、考える糸口になることをあげ、多様な考え方を示したり、友だちの考えを読み取ったりする活動が盛り込まれている。 ○授業の記録をまとめたノートを「数学マイノート」で取りあげ、表現力の育成を図る記述が見られる。 ○「学び合いのページ」では生徒が数学的活動に主体的に取り組むことを大切に、活動を通じて言語活動の充実を目指すものとなっている。 ○「活用の問題」「やってみよう」では、数学を学習することのよさや、数学の有用性を実感できるよう、身近な場面で数学が効果的に利用されている事例が紹介されている。 ○「レポートにまとめよう」で、調べたことや考えたことのレポートの例が挙げられている。		
内容の程度	○身近なものや関心のあるものを題材にして、イメージしやすいものを利用している。 ○生徒が一律に学習する内容、学習した内容をさらに深めるために、自ら取り組むための練習問題、個々の興味関心に応じて数学を活用する課題や、身につけた力をさらにのばす問題が用意されている。生徒の実態や授業時数に応じて使える内容に分け、学習形態の多様性に対応できる内容になっている。 ○数学への興味や関心を高めるために巻末課題編に社会や職業と数学をつなげる豊富な資料が用意されている。 ○コラム「数学のまど」では、数学をひろげたり、身近な課題を解決したりする「活用型問題」の例として取り組むことができるものが取り上げられ、生徒の数学に対する興味関心を高める効果が期待できる。 ○章の学習を融合し、生活や学習にいかすことができる活用の問題が巻末問題編で取り上げられている。 ○「やってみよう」の一部は、中学校第3学年の学習指導要領に示されていない発展的な内容も取り扱われ、生徒が主体的に取り組む意欲を高めるものとなっている。		
内容の構成 及び配列	○「章のとびら」「Q」によって、生徒が興味関心をもって主体的に学習に入っていける導入に始まり、「例」と「ちょっと確認」を活用し、「たしかめ」「問」によって学習内容の定着を図れるような構成になっている。また「もっと練習」「やってみよう」によって、生徒個々の多様な学習形態に対応できるようになっている。そして、「基本の問題」「章の問題A、B」		

	によって、学習の定着が図れるように取り組めるサイクルが確立しており、問題数も充実し、学習内容の定着を図るものになっている。 ○学習した内容を自ら進んで取り組めるよう「やってみよう」「数学のまど」において、生徒個々の意欲に応じた教材とリンクさせ、また、興味関心に応じて取り組むことができるものとなっている。
創意工夫	○「数学マイノート」でノートへの具体的で工夫された記述方法などが示されており、言語活動の充実が図られている。 ○章末問題も習熟度の段階が示され、生徒にとって取り組みやすいものとなっている。 ○課題学習も設定され、数学的活動を取り入れている。 ○「例」の模範解答はノート形式で示されている。 ○パラパラマンガで、視覚的に分かりやすいように工夫されている。 ○「ちょっと確認」や「まちがい例」でつまずきへの対応をしている。 ○「学び合い」では、数学的に説明し伝え合う活動がよりよくできるような配慮が見られる。 ○環境や福祉、国際理解、キャリア教育や他教科に関する課題も取り上げ、数学が科学技術を支え相互に関わって発展してきていることなどを認識できるものとなっている。 ○日本の伝統、文化の尊重の観点から「和算」や日本の数学者の記述が取り上げられている。 ○指導者がきめ細かい指導ができるよう、紙面右側を利用し、生徒に対する注意事項や指導のポイントを明記している。 ○「ちょっと確認」を設けることで、反復、理解の広がりや深まりを図っている。
使用上の便宜	○文字の大きさ、文字間などは適切で読みやすく配置されている。 ○ポイントになる内容は枠で囲むなど工夫されている。 ○配色だけでなく、図を拡大したり、実際の写真を適切に配置したりして、生徒にとってもとても見やすいと思われる。 ○すべてのページにおいて、文章が読みやすい位置で改行されている。 ○全体的に落ち着いた配色で、カラーユニバーサルデザインによって配慮され、多くの人に必要情報が伝わる工夫がなされている。 ○巻末の切り取り教具によって、図形の性質を発見し、証明しようとする意欲を喚起するような工夫が見られる。
その他	

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 数学	種目名 数学	教科書名 新版 数学の世界	発行所 大日本図書
取扱内容	○学習指導要領を踏まえて、基礎的・基本的な学習の定着が確実にでき、数学的活動を通して、数学的な思考力・判断力が身に付くような内容に構成されている。		
内容の選択 及び扱い	○教科書の使い方のページを設けたり、工夫したノートを取り方の説明を載せ、丁寧に学習を進めていこうと考えている生徒への手助けをしている。 ○「方程式」、「関数」、「図形の証明」など、理解が難しい単元にも穴埋め式が多く、すぐに理解できない生徒にも優しく理解できるように、ヒントを与え、記述できる配慮をしている。 ○「一次関数の動点の問題」では、単位時間あたりの図形の変化を細かく視覚的に、確認できる工夫がされている。 ○「図形の作図」では、教科書にそのまま記入できるように、大きく見やすくページ設定がなされている。 ○各章末に、「いろいろな問題」「研究しよう」「レポートを書こう」「社会にリンクしよう」「もっと数学」「挑戦しよう」などの名前で、数学的思考を高め、興味・関心を深める学習箇所がある。 ○裏表紙の最後に、理解度を向上させる手助けとなうように、模型の厚紙が入っている。 ○発展学習である「もっと数学」で、思考力の向上を目指した内容となっている。 ○巻末の「mathful」では、発展学習の内容のものがたくさん記載されている。新聞などから日常の情報を扱ったものや歴史についての記載もされていて、興味をひくことができる。		
内容の程度	○全体を通して、3学年とも基礎基本の定着が図れるように、丁寧に学習内容をまとめている。 ○「動かしてできる立体」など、映像を使ったページもあり生徒がイメージしやすいような配慮がなされている。 ○巻末の「学年のまとめ」「中学校数学のまとめ」では、区切りの再確認をする上で、非常にまとめられている。特に、後記のものは、最後の知識確認の箇所として使いやすさも感じられる。		
内容の構成 及び配列	○生徒が取り組みやすく感じられるように、穴埋め形式になっている単元があり、例題、課題問題にも取り入れられているので、理解度の向上と知識習得におおいに役立つ構成になっている。 ○発展学習の内容を、「数の世界のひろがり」の箇所で紹介している。難しいところは、優しい記述で説明している。		

創意工夫	○「根号を使った数」において、整数に変換できる数を、たくさん記載することで、買い換えがしやすい工夫をしている。 ○各章末に、「いろいろな問題」「研究しよう」「レポートを書こう」「社会にリンクしよう」「もっと数学」「挑戦しよう」では、興味・関心を深めるだけでなく、数学的思考を高め、問題解決能力をつけられるようにしている。 ○巻末の「mathful」で、発展した学習内容が多く記載されているのは、興味関心を持つ上で、非常に重要なものを担っていると思われる。また、日常の情報を扱ったりや全然知らなかった歴史についての記載もされていることで、家庭学習にも役立てていけるものになっていると思われる。
使用上の便宜	○大事な箇所は、太字にして見やすくしている。 ○計算問題の例は、黒板の板書のようにして、再度見直すときに、見やすく配慮している。
その他	

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 数学	種目名 数学	教科書名 中学校数学	発行所 学校図書
取扱内容	○学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎的・基本的な知識・技術を習得し、数学的活動の楽しさやよさを実感することができる内容である。同時に、興味関心をもって意欲的に課題に取り組み、課題解決能力を高めるために必要な思考力・判断力を身につけることのできる内容になっている。 ○生徒の理解力に応じ、丁寧に書かれているので、基礎から発展まで家庭学習・自己学習ができるようになっている。		
内容の選択 及び扱い	○各学年において、「ノートを使い方」「レポートにまとめて発表しよう」「単位の書き方」など丁寧に書かれていて、生徒が学習しようとする気持ちにさせる扱いになっている。 ○「数学で使われる考え方」では、類推・帰納的・演繹的な3つの方法を説明し、考え方を確かなものにしようとしている。 ○導入のページは、大きく写真・テーマがあり、興味が持てるしかけがなされている。 ○「比例と反比例の利用」では、ランドルト環の説明が3ページなされていて、身の回りのことを取り上げることで興味が持てるようになっている。 ○巻末の切り取り使える資料も大変よいと思われる。		
内容の程度	○中学校3年間で、生徒が学習する基本的な内容と標準的な学習、そして内容をさらに深める発展性の問題もあり、適切な内容である。さらに、数学的意欲を高める仕掛けが随所にあり、生徒の個々の力が、飛躍的に伸びるものと思われる。 ○生徒の実態や授業時数などに応じて、対応できる内容となっている。		
内容の構成 及び配列	○内容配列は、従来通りであり適切である。 ○まずは、各章の各項に目標を設定し、問題をQという形で進めている。大切な部分については太字・重要欄を設け、見やすくしている。方程式などには、手順が記載され、吹き出しも注意事項として確認することができる。 ○いろいろな関数の動点の問題では、解答欄の流れに沿って、解釈図入りで丁寧に記載されている。 ○素因数分解は因数分解の前にあり、自然の流れで数式分解の理解ができるようになっている。		
創意工夫	○巻末の「さらなる数学へ」では、表現する力を身につけること、課題学習・自由研究をすることを取り上げている。前者では、主にアクティブラーニング形式で自己の言語化能力を身につけさせ、後者では、探求心を持てせる内容になっている。 ○各項の末尾には、「確かめよう」があり、反復練習で知識の確認ができるようにな		

	っていて、基礎力を伸ばすことが出来るようになっている。また、「章のまとめの問題」は 問題数も適当であり、基礎と応用・活用があるのも探求心につなげることができる。 ○トライマークがあり、発展を明記している。
使用上の便宜	○教科書の端にカラーで章が色分けされていれ、調べたいことを確認するのにおいに役立つと思われる。 ○解答欄は、ゴシック体で書かれ、教科書の印字と区別し、生徒に見やすく配慮している。
その他	

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 数学	種目名 数学	教科書名 中学数学	発行所 教育出版
取扱内容	○学習指導要領を踏まえて、確かな学力の定着に加え、興味深い課題や思考、説明、操作などの活動場面を位置づけ、数学を学習する意義や楽しさが感じられるような工夫がなされている。		
内容の選択 及び扱い	○新しい言葉や定義は、太字であったり、色のついた四角で囲んであったりしてわかりやすい。 ○例題ごとに問題の意味やねらいが書いてあり、何を学習するのか生徒にとってわかりやすい。 ○式変形は過程に説明がついていて丁寧である。 ○「Let's Try」で、章の導入として興味をひく問題を取り上げている。 ○各章のはじめに、問題形式で既習事項を確認する「○○を学習する前に」、各章の終わりでは、その章で学習した内容の基礎的・基本的な事項を穴埋め方式で確認する「学習のまとめ」が設けられていて、作業をしながら基礎的・基本的事項が確かめられるようになっている。 ○定理のまとめでは、視覚的に理解できるように図を合わせて示している。また、図形の定理では、仮定と結論を色分けし、視覚的なとらえができるよう配慮されている。 ○基礎基本の定着を図るために、「たしかめ」「基本のたしかめ」「練習問題」「たしかめの補充」において、多数の問題が用意されている。また、「章の問題」「実力アップ問題」では、発展的な問題にも対応している。 ○「章のとびら」「チャレンジコーナー」「数学ミニ事典」「自由研究」「数学の広場」「ジャンプ」「みんなで数学」などでは、学習したことを活用したり深める問題を取り上げ、生徒が興味関心をもつような記述が見られたり、発展学習に対応している。 ○ポイントとなる問題に、「戻って確認」を配置し、問題を解くのに必要な基本的な既習事項を確認できるように工夫されている。 ○小学校での既習事項については、該当する学年が記載されている。 ○「数学メモ」が各所に配置され、生徒が興味関心をもてるように工夫されている。		
内容の程度	○基礎基本から丁寧に扱われ、生徒が一律に学習する内容、学習した内容をさらに深めるために自ら取り組むための練習問題、個々の興味関心に応じて数学を活用する課題や、身につけた力をさらに伸ばす問題が用意されているなど、内容・問題の難易度・練習問題の数等が生徒の習熟度に応じて対応できるように配置されていて、適切である。また、生徒の実態に応じて使える内容になっており、学習形態の多様性に対応できる内容となっている。 ○数学への興味や関心を高めるために、巻末の「自由研究」に豊富な資料が用意されている。 ○さらに発展的な学習のページ「ジャンプ」の記述が見られる。		
内容の構成 及び配列	○「章のとびら」「学習する前に」「Let's Try」によって、生徒が興味関心を持って主体的に学習に入っていけるよう、導入が工夫されている。その後、「Q」「例題」「たしかめ」「問」		

	によって、学習内容の定着を図れるようになっている。そして、「基本のたしかめ」「学習のまとめ」「章の問題」によって学習の定着を図れるように、取り組めるサイクルが確立しており、問題数も充実し、学習内容の定着を図るものになっている。さらに、学習した内容を自ら進んで取り組めるよう、「チャレンジコーナー」「たしかめの補充問題」「数学の広場」「実力アップ問題」において、生徒個々の意欲に応じた教材とリンクさせ、また、興味関心に応じて取り組むことができる内容が準備されている。
創意工夫	○導入では、生徒にとって身近にあり、しかもわかりやすく興味のある内容を取り扱っている。 ○既習内容の確認、解法のきっかけとなるようなヒント、見落としがちな事項の注意など、キャラクターの吹き出しを用いて、効果的に配置している。 ○数や式の計算の際に、誤りやすい解答の例から間違いを見つける問が配置されており、その誤りを説明させ、同様の誤りをしないような配慮がなされている。 ○「伝えよう」「話し合おう」「深めよう」等数学的な活動を意識した問題を取り上げ、数学的な見方考え方、多様な考え方にふれるように工夫されている。 ○学習内容を一覧できる「まとめ」では、内容どうしの関連が読み取れるようになっている。 ○章の問題には観点別評価が示されている。 ○問題解決の過程で、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりして学習を高めながら、自他の敬愛と協力を重んじる態度を育成する記述が見られる。 ○生命の尊さや自然の大切さが感じられる題材が取り上げられている。 ○数学に関する伝統文化、他国の数学の歴史などの紹介を通して、数学の普遍性が感じられるような記述が見られる。
使用上の便宜	○文字の大きさ、行間等適切である。 ○色やデザイン、形状を工夫し、カラーユニバーサルデザインに配慮し、見やすくわかりやすい紙面にしている。 ○すべてのページにおいて、文章が読みやすい位置で改行されている。 ○グラフなど、色やデザインの工夫だけでなく、形状を変えたりして、生徒にとって見やすい仕上がりになっている。 ○巻末の切り取り教具によって、図形の性質を発見し、照明しようとする意欲を喚起するような工夫が見られる。
その他	

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 数学	種目名 数学	教科書名 未来へひろがる数学 MathNavi ブック	発行所 新興出版社啓林館
取扱内容	○数学の基礎的・基本的な知識・技能が習得できる内容である。またそれらを活用して課題を解決する力や、主体的に学習に取り組む態度の育成など学習指導要領で求められている内容も充実している。 ○家庭でも主体的に学習できるように多種多様な教材や練習問題が用意されている。 ○生徒にとって興味深い課題を取り上げ、思考、説明、操作などの活動場面を適切に位置づけるなどの工夫がされている。 ○全国学力・学習状況調査から明らかになった、考え方や理由を説明したりする力、考えをまとめたりする力などを伸ばす学習内容を取り上げている。		
内容の選択 及び扱い	○定義や新しい用語は色のついた□で囲んである。 ○各項のタイトルの横にその項での目標（「めあて」）を示してあり、何を学習するのか生徒にとってわかりやすい。また授業者にとって常に「めあて」と「ふりかえり」を意識した授業をすることができる。 ○例、例題にはタイトルをつけ、学習の内容がわかるようにし復習するときに学習しやすい。 ○「ふりかえり」で既習内容の学習が進められ、学習した学年も示してあるため学習のつながりも意識できる。 ○「基本のたしかめ」で基本事項が確認でき、さらに各問題が関係する該当ページを示してあるため復習しやすい。 ○「力をつけよう くりかえし練習」では、生徒が自主的に学習内容の定着をはかれるようになっている。 ○各節の「とびら」では作業的・体験的な活動や、「切り取り教具」など具体物を用いた活動が行えるようにしてあり、生徒が興味関心をもって取り組める数学的活動を取り入れている。 ○・具体→抽象 ・易しい→難しい ・基礎→発展 の原則に従って学習内容が取り扱われている。また生徒の発達段階に応じた表現や方法がとられている。特に「数と式」の基礎的・基本的な内容については指導のステップを細かくして説明している。 ○各例に問題の意味、ねらいが書いてあって何を学習するのか生徒にとってわかりやすい。例や例題ではパターンの異なるものを多く取り上げている。 ○新コーナー「千思万考」を各章末に設けることで、思考力を高めるようになっている。 ○「数学広場」の「ひろがる数学」では、各章の内容と関連する深化・発展的な内容の学習題材を取り上げている。 ○「数学広場」の「数学を通して考えよう」では、各章の内容を総合的に活用して解決していく内容を取り上げ、身近な場面で数学を使って解決していく課題が用意されている。 ○MathNavi ブック（別冊）の「学びをつなげよう」では既習内容の復習ができ、「学びをいかそう」では生徒が主体的に復習できるようになっている。「自由研究に取り組もう」では		

	テーマ例やまとめ方などが示され、生徒の興味を喚起するものとなっている。
内容の程度	○生徒が身につけなければならない基礎的・基本的な内容、学習した内容を定着させるために自主的に取り組める練習問題、身につけた内容を発展させる問題等、適切である。生徒の習熟度に応じて対応できるように配慮されている。 ○生徒の実態等に応じて、種々の学習形態に対応できる内容となっている。「みんなで話しあってみよう」「自分の考えをまとめよう」などグループ学習、個別学習に対応できる内容構成である。
内容の構成及び配列	○生徒が興味関心をもって主体的に学習に取り組む導入「とびら」に始まり、「ひろげよう」→例・例題→問→練習問題→基本のたしかめ→章末問題というサイクルが確立していて、問題数も充実し、学習内容の定着を図るものになっている。 ○必修内容（本編）と選択内容（力をつけよう、数学広場）を明確に分け、学習形態の多様化、個に応じた学習に対応している。
創意工夫	○巻頭の「ノートにくふうして、学習に役立てよう」では、具体的なノートの書き方の工夫やまとめ方、注意事項を示している。生徒にも参考になるようにしてある。 ○「みんなで話し合ってみよう」、「自分のことばで伝えよう」、「自分の考えをまとめよう」のコーナーでは、自分の考えを他者に伝える場面、ノートに考えを整理する場面を設け、言語活動の充実、思考力・表現力を育成する工夫がされている。 ○巻頭の学習の進め方では「発見する力」、「利用する力」、「表現する力」の大切さをわかりやすく説明し、数学の学習を通して身につけたい数学的な見方・考え方の意義を示している。 ○「範囲をひろげる」、「逆向きにみる」等の『見方・考え方』の記述があり、生徒の意識付けに効果がある。 ○「とびら」を節ごとに設定し、生徒一人ひとりが興味・関心をもって、主体的に学習に取り組む、その内容を発展させていけるように工夫されている。 ○巻末の切り取り教具によって、図形の性質を発見し証明しようとする意欲を喚起する工夫がみられる。 ○MathNaviブック（別冊）を作成し、既習の内容や解答など、本編の内容と見比べながら使えるように生徒が学習しやすい工夫がされている。 ○MathNaviブック（別冊）により、必修（教科書本編）と選択（MathNaviブック）を分けることができ、多様な学習形態と生徒の個に応じた主体的な学習に応じることができる。
使用上の便宜	○全体的に落ち着いた色使いにし、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。 ○ページをいっぱい開くことができ、書き込み等の作業がしやすい製本になっている。 ○読みやすく見やすいように1行の文字数も配慮されており、各ページ余白部分も確保されている。 ○学習する内容の段階や目的等を示すために、わかりやすいマークを使った記述がなされていて、生徒への注意が喚起されている。
その他	

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 数学	種目名 数学	教科書名 中学校数学	発行所 数研出版
取扱内容	○数学の基礎的かつ基本的な知識や技能が習得できる内容になっている。また、それらを活用して課題を解決する力や主体的に学習に取り組む態度の育成など、学習指導要領の趣旨を踏まえた内容となっている。 ○理解に応じた学習や、家庭でも主体的に学習できるように、多種多様な教材や練習問題が十分である。		
内容の選択 及び扱い	○各単元の導入では、具体例による説明と、既習事項との関連をもたせた説明記述となっている。 ○例題ごとに問題の意味やねらいが書いてあり、何を学習するのか生徒にとってわかりやすい。また、例題には模範解答がつけてあり、自学自習しやすくなっている。 ○基礎的・基本的な知識や技能の習得では、巻頭の「出発前のクイックチャージ」という既習内容を確認する記述と、「ドリルでチャージ」という既習内容の復習問題があり、学び直しや振り返り学習が充実している。また、「Q」「問」「確かめよう」「基本問題」「確認しよう」という豊富な問題によって、学習内容の定着を図るように工夫されている。 ○式の変形や、計算方法の説明の記述では、計算の過程やポイントの詳しい説明があり、キャラクターが計算のヒントや要点をわかりやすくガイドしている。 ○各章の「章の問題A」「章の問題B」で、様々な問題に取り組み、数学的な知識や技能の定着を図ることができる。関数領域では、放物線と直線など、代表的な内容を本文に取り入れている。図形領域では、「二等辺三角形の性質の証明」で2通りの証明を示す等、多様な考え方や数学的な考え方を意識させる記述となっている。 ○「考えよう」「発展」「深めよう」では、学習内容と関連する発展的な問題などを取り上げ、知識や理解を深めるとともに、応用力を高めることができる内容となっている。 ○「やってみよう」では、既習事項を利用して物事を考えたり、身近な事象の中から数学を見いだしたりすることができるような話題が取り上げられている。		
内容の程度	○生徒が一律に学習する基礎基本的な内容、学習した内容をさらに深めるために自ら取り組むための練習問題、個々の興味関心に応じて数学を活用する課題や、身につけた力をさらに伸ばす問題が用意されているなど、適切である。 ○生徒の実態や授業時数に応じて、学習形態の多様性に対応できる内容となっている。 ○数学への興味や関心を高めるために、巻末の「数学探検」に豊富な資料が用意されている。		
内容の構成 及び配列	○内容の配列は、適切である。 ○内容の構成は、生徒が興味関心をもって主体的に学習に取り組む「章のとびら」に始まり、「例」・「例題」→「問」→「確かめよう」→「基本問題」という、学習の定着を図るサイクルが確立していて、問題数・問題の難易度ともに適切である。		

	○学習したことを利用して、さらに数学を深く学習したい生徒のために「章の問題 B」「発展」「深めよう」「知識を活用しよう」の記述があり、学習指導要領が求める内容で、生徒が興味関心に応じて主体的に取り組める課題となっている。
創意工夫	○問や項目の中で、数学的活動に関連するものには「見つけよう」「活用しよう」「伝え合おう」のマークがつけられており、数学的な考え方や多様な考え方に触れるような意識付けがされている。 ○各項目がページの最初から始まり、重要事項は枠で囲んだりアンダーラインが引かれていたりして、生徒が見やすい記述になっている。 ○キャラクターがふんだんに使われており、生徒が親しみやすいように仕上がっている。 ○学習する内容の段階や目的等を示すために、わかりやすいマークを使った記述がなされていて、気をつけなければならない部分については、生徒への注意喚起がしっかりとされている。 ○伝統文化や自然や社会的なテーマなど、他の領域につながる記述が設けられている。
使用上の便宜	○文字の大きさ、行間等適切である。 ○全体的に落ち着いた配色で、カラーユニバーサルデザインで色覚にも配慮がなされている。 ○図やグラフも大きく、書き込みがしやすくなっている。 ○各ページの余白も十分に確保されて、一行の文字数も見やすいように配慮されており、生徒が使用しやすいように工夫されている。
その他	

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 数学	種目名 数学	教科書名 中学数学	発行所 日本文教出版
取扱内容	○学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎的・基本的な学習内容を確実に習得し、意欲的に学習活動に取り組み、数学を活用するために必要となる思考力・表現力が身につくような内容になっている。		
内容の選択 及び扱い	○学習のまとまりが、見開き2ページ1時間に区切られ、例や問を中心に主体的な学習活動の場面や学び直しの機会を設け、確かな学力の定着が図られている。 ○数式領域では、数量やその関係を、式を使って表したり、読み取る活動や、生徒自身が既習の計算をもとにして、新しい計算の仕組みを見出す活動を重視している。 ○関数の領域では既習の関数を学び直し、それと対比しながら新しい関数の特徴をより深く理解できるような内容になっている。 ○図形領域では観察、操作、実験などを重視し、実感をともなう図形の性質を理解できるようになっている。 ○確率統計領域では資料に基づいて集団の傾向や特徴をとらえ、それをもとに判断し、説明することができるようになっている。 ○「数学のたんけん」では数学の歴史などに触れられていて、興味関心をひく内容となっている。 ○「深める数学」では、活用問題を扱い発展的な力をつけることができる。 ○小学校との連携や、学年間の連携を考慮し既習事項を生かした学習展開がなされている。		
内容の程度	○全体的に基礎基本から発展的な内容にスムーズに取り組める内容である。「ふりかえり」の基本的な内容から「とりくんでみよう」の発展的な内容まで生徒の習熟度に応じたものを使用することができる。 ○生徒の実態や授業時数に応じて、様々な学習形態に対応できるような内容となっている。		
内容の構成 及び配列	○内容の配列は、従来通り適切である。 ○「基本の問題」「章のたしかめ」には評価の観点が見られ分かりやすい。 ○本文では「ふりかえりQ」⇒「例」⇒「問」⇒「チャレンジ」という、基本的な学習の定着を図るサイクルが取られ問題数、難易度とも適切である。 ○さらに数学を深く学習したい生徒のために難易度の高い問題を「数学研究室」で取り上げ、生徒の発達段階に応じた構成となっている。		
創意工夫	○導入部分の章の扉が、学習のきっかけとなる課題や身近な話によって意欲を高められるように配慮されている。 ○解答例が丁寧に示され、途中計算や注意書きを重視している。 ○間違った例も示されており、つまづきを解消することができる。		

	○わが国の伝統と文化に親しみ、国を愛する心が育つ内容が取り上げられている。 ○図形の証明では穴埋め形式も取られ、数学を苦手とする生徒にも取り組みやすいよう工夫されている。
使用上の便宜	○カラーバリアフリーに配慮し、色だけで識別するような内容は避けられている。 ○各ページの余白も十分確保され一行の文字数も見やすくなるように配慮されている。 ○「確認」「トライ」「例」「問」など内容の分かりやすいマークを使った記述がされている。
その他	

理科

平成 28 年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 理科	種目名 理科	教科書名 新編 新しい科学	発行所 東京書籍
取扱内容	○基礎的・基本的な知識や技能の習得をめざし、丁寧に内容を展開している。また、自主学習がしやすい。 ○実験観察に関する写真やイラストが多く掲載されていて充実した学習につながる ○「予想しよう」「学びを活かして考えよう」「調べ方を考えよう」「学んだことをつなげよう」など随所に言語活動ができるよう配置されている。		
内容の選択 及び扱い	○工夫した実験方法が紹介されている。(3年P44「イオンの寒天実験」) ○生活の中にある身近な物を数多く取り上げ、生活や社会と学習が密接な関係にあることを理解させている。 ○学習内容に興味を示し理解しやすいように、写真を多く使用している。 ○原子の周期表では身近な生活で使われている物質の例がありわかりやすい。(2年P8・9) ○「計算の仕方」等で、算数科や数学科との関連を図っている。(1年P181) ○「学びを活かして考えよう」では学習した内容をもとに投げかけられる発問が興味を高める。(1年P112、2年P37、3年P201) ○「社会科で学んだこと」のなかで、社会科と関連させ、多方面から理解させている。(2年P186、237)		
内容の程度	○数学や保健体育など他教科との関連が掲載されている。(1年P180、2年P165、3年P85) ○小学校の既習事項との単元系統が示されていて、導入時の発問に活用されやすくなっている。 ○大気の動きをはじめ、写真が効果的に配置されている。(2年P184) ○つまづきやすい部分を「例題」「練習」「確認」を設け、自学自習できるように工夫している。		
内容の構成 及び配列	○章末にチェック問題と「学んだことをつなげよう(記述問題)」があり、単元末には学習の整理(2P)、確かめと応用問題(2P)、活用問題(1P)が配列してあり理解度に合わせた問題となっている。さらに単元末に自由研究(1P)も設け発展的な学習をすすめられるようになっている。 ○気象では、気象観測の仕方から導入されており、スムーズな展開で生徒に導入しやすい構成となっている。 ○観察の目的・方法のレイアウトの仕方が見やすくわかりやすい。 ○「ここがポイント」では、重要語句を抜き出して表記されており学習に役立つ。 ○各章には「before & after」を設け、学習前と学習後での理解の到達度を推し量れる構成になっている。		
創意工夫	○各単元の扉のページは興味のわく折込の写真と何を学習するか目的が示されている。 また、各章にも1ページ分の写真とこれから学ぶことが疑問形で表されていて、生徒の自然な興味や疑問から学習を深めていこうとする配慮が感じられる。		

	○生徒に理解しやすい工夫した実験方法が取り上げてある。(1年P225、3年P46) ○実験のイラストががんばるポーズになっていて、やる気を出させる効果がある。 ○実験・観察の前に課題を示し、仮説を立てることや調べ方を考えること、課題に対する結論を「まとめ」として表記しており、学習の生理がしやすくなっている。 ○「どこでも科学」「調べてみよう」では、身近な物を使っての物づくりを通して学習内容の深める工夫がある。(1年P152、225、2年P187、3年135) ○「科学でGO!」の読み物資料は、日常生活と科学技術との関連づけができていて生徒に関心を持たせることができる。 ○計算問題に対して、例題が設置されており、解説も詳しく、途中の計算式ややり方についても記載されていて、計算を習得させるための工夫が見られる。(1年P87、P181、2年P241、3年P153) ○単元末の「学習内容の整理」がコンパクトにまとめられていてわかりやすい。 ○「科学の本だな」コーナーで参考となる本を紹介しているのも斬新的である。(1年P67、3年P109) ○漫画で生徒の興味を引く内容を表示している。(2年P142、3年P237)
使用上の便宜	○1年生の教科書では、文字の大きさを小学校6年と同じにして2・3年生のものより大きくしてあり、学年に応じた配慮がなされている。 ○教科書の横の長さが、通常のB5版より少し大きめのサイズになっていて、紙面にゆとりが感じられる。 ○各学年にペーパークラフトがついており、物づくりを通して学習が深まる工夫をしている。 ○実験・観察の記述欄では、赤字の「注意」マークがよく目立ち、危険を防ぐ配慮がされている。
その他	

平成 28 年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 理科	種目名 理科	教科書名 新版 理科の世界	発行所 大日本図書
取扱内容	○基礎的・基本的な内容を中心にわかりやすく記述されている。 ○イラストや写真に、男女の生徒を程良く配置して、性差によって役割が偏らない男女平等の活動がされていくよう、意図的に配慮されている。 ○紙面の構成にゆとりがあり、学びやすい。		
内容の選択 及び扱い	○「くらしの中の理科」では、学習内容が日常生活や社会で活用されている話題を多く取り上げ、実社会との関連づけができる。(1年 P34) や「トピック」に載せる内容において、職業や社会生活との関連性を意識したものが取り入れられている。 ○単元の終わりに「サイエンス・ランド」をのせ、生徒の興味をたかめている。 ○原子の種類を表す記号の語源であるラテン語 (2年 P24) で生徒の興味をひく工夫がされている。 ○巻末では、科学的な探求の道筋を述べ、発展的な学習としてテーマ別の自由研究を紹介している。 ○単元末に「まとめ」とキーワードをチェックする項目があり、学習の整理がしやすくなっている。 ○巻末の「Let's go」では地域施設との連携を示唆している。 ○わかりやすいイラストやグラフが理解を助ける。(2年 P100、246) ○単元の初めにこの単元で学ぶ事柄の一覧が掲載されていて興味を持って学習に入りやすい。		
内容の程度	○「やってみよう」など、能力に応じて発展的に取り組むことができるよう配慮されている。 ○小学校の既習事項との単元系統がより具体的に示されていて、導入時の発問に活用されやすくなっている。 ○随所にある「発展」は、学習指導要領には扱っていない内容であるが、生徒の興味関心を高める内容で、習熟の程度に応じて取り組めるよう配慮されている。		
内容の構成及 び配列	○各学年の単元配列は、1・2 分野に分けず、指導時期、学習内容の関連性を配慮した配列になっている。 ○表題のすぐ後に「色つき？」で本時のめあてが示されていて授業の課題がわかりやすく、本文の項目もオレンジ色で表示され見やすい。 ○必須の実験・観察を豊富に取り入れ、生徒が興味を持って積極的に活動し科学的な思考力や判断力を身につけるよう配列している。 ○文章、挿絵、図表、用語などの表記は適切であり、それらが各ページに効果的かつ豊富に配置されていて全体的なレイアウトが見やすい。 ○各単元末に「終章」を特別に設け、その単元までに学んだ学習内容を駆使し課題を克服させようとしている。		

	○章末問題、単元末に基礎問題と読解力問題があり、基礎・基本の学習の定着を図る他に随所に「問い」の項目もあり繰り返し学習の振り返りができる。 ○観察結果や実験結果の例の写真が豊富で見やすい。
創意工夫	○単元扉では、実験観察する生徒の写真を取り入れ、学習を身近に感じて主体的に活動する動機づけが感じられる。 ○「実験結果の例」が随所にあり、実験を終えた後、自分の結果と比較できるように工夫されている。 ○「わたしのレポート」等でレポートの書き方や発表の仕方を例示し、表現の能力を育てることを意図している。 ○3Dメガネを作成し、立体的に理解を進めようと工夫されている。(1年P209、241) ○実験・観察以外にも実習が多く用意されており、図の読み取りなど、思考力を養いやすいように工夫されている。(1年P14、51、227、2年P259、3年P99、217)
使用上の便宜	○目次のページに基本操作と発展内容の一覧が示されていて、欲しい情報をすぐに見出し活用できるように配慮されている。 ○囲みの中の文字やフリガナにUDフォントを使用し、読みやすくしている。 ○観察・実験において、非常に目立つ色の「注意」マークと説明文により、事故を防ぎ、薬品を正しく扱って、安全に実習を行えるよう配慮されている。 ○写真や図、イラストなど紙面の配置に変化があり、学習にメリハリがつけられており全体的に親しみやすくなっている。
その他	

平成28年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 理科	種目名 理科	教科書名 中学校科学	発行所 学校図書
取扱内容	○基礎的・基本的な学習内容の定着を図れるよう配慮されている。 ○イラストや写真資料のどれを見ても、日常生活に見られるものが多く取り入れられており、科学と日常生活との関連を強く意識した教科書の編集方針であることが伺える。		
内容の選択 及び扱い	○「科学の窓」が随所に見られ、そこでの学習内容に合った日常的な物や事象、耳にする言葉などが紹介されており、実社会や実生活との関連づけができています。 ○各単元末に「科学を仕事に活かす」というコラムが設けられており、学習内容と職業や日常生活との関連がわかり、理科の有用性を実感でき、将来の職業への意識付けにも発展させる可能性が含まれる。 ○「話し合ってみよう」「問い（活用・表現）」などが本文中に数多くあり、説明することで科学的な活用力や思考力・表現力を育てようとしている。（1年P10、80、2年P17、44、3年P95） ○数学など他教科との関連を示している。 ○季節ごとのアブラナの変化では1年を通した変化がわかりやすい。（1年P157） ○「他教科とのつながり」というコラムが設けられており、社会科などの他教科との関連がわかりやすく、多方面から理解することができるようになっている。（2年P91、153、3年P18、39、149） ○「チャレンジ」の昆虫の裏側から見たイラストは興味を引く。（2年P196） ○P波とS波の「波の伝わり」を縦にイメージすることで、突き上げるような縦揺れと揺さぶられるような横揺れをイメージしやすくしてある。（1年P208）		
内容の程度	○1年の単元前の「これまでに学んだことをチェックしよう」や文中に「思い出してみよう」などの小囲みがあり、小学校の既習事項を確認できる。（1年P34、173、2年P117、3年P34等） ○実験や観察には「課題」「準備」「手順」「結果」「考察」が見やすくレイアウトされている。また、結果例が裏ページにいくよう工夫されている。 ○気体の集め方の図で、見えない気体を粒子で表してその動きが理解しやすい。（1年P47） ○「考えてみよう」「説明してみよう」を取り入れ、自ら基礎基本の定着と学力の向上を図れるように工夫されている。		
内容の構成 及び配列	○単元前に「これまでに学んだこと」を入れ、小・中学校で既習した内容のチェックがあり、単元の系統が具体的に示され、各章への導入がスムーズにできる。 ○前半に1分野、後半に2分野を記載し、独特なA・Bで表現している。また、学習順序の選択制が本冊に表れ、地域の実情に合わせた学習過程を考えることができる。 ○各ページ編集にゆとりがあり、読みやすい。 ○粒子概念を柱とした考えから、「化学変化と原子・分子」の単元では、原子、分子から入って化学変化を理解するように構成されている。（2年P9～）		

	○「科学の窓」「チャレンジ」を多く取り入れ、演示実験の内容まで生徒にチャレンジさせたり、最新の話題を提供したりして、興味関心を引こうと努力している。(2年、P175、187、198) ○各単元や章の導入ページにダイナミックな写真が利用されていて学習意欲を高める工夫がある。
創意工夫	○文中や観察・実験の課題が、「???」マークとピンク色で強調して示され、目的意識を持って取り組めるように工夫されている。 ○実験観察に関する写真やイラストの掲載が大きく、多いため充実した学習につながる。 ○計算問題では、例題が設置されて解説があり、計算習得のための工夫がある。(1年P60、2年P91) ○身近な植物観察資料では、16種類の植物の花弁、全体写真とスケッチと解説が載っていて、生徒の調べ学習に最適である。(1年P146～) ○実験に「ポイント」が示されており、実験をうまく行えるための操作技術として役立つ。(3年P9、28、35) ○「チャレンジ」や、各巻末の「自由研究の進め方」によって、実験や観察を通して、探求しようとする態度の育成ができるよう、工夫されている。 ○目次の所に、「基本操作」や「継続観察」がまとめられていて、必要な項目が見つけやすくなっている。 ○変化の動きの瞬間をとらえた写真や電子顕微鏡写真が興味を引く。(2年P152、174、3年P24)
使用上の便宜	○指示薬の色の変化の写真には色名を入れるなど色覚特性のある生徒に配慮している。(3年P90、92) ○実験・観察や資料のページに、赤と黄色で目立つようにした「注意」のマークとともに太字で注意事項が書かれ、また巻末にも「実験を安全に進めるために」という資料があり、安全に実験を行うことへの配慮がされている。
その他	

平成28年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 理科	種目名 理科	教科書名 自然の探究 中学校理科	発行所 教育出版
取扱内容	○科学に関する基本的な概念の定着が図れるよう配慮されている。 ○発展的な課題の提示などで、科学的な思考力や表現力をのばすことをねらいとした構成や問題掲載がされている。		
内容の選択 及び扱い	○実験・観察の前後において、「話し合おう」、「考えよう」が設定されており、予想を確認していくことを繰り返すことで、科学的に探求する力が身に付くように構成されている。(1年P38、58、2年P101、3年P4) ○「ハローサイエンス」のコーナーにおいて、科学の内容がいかに関生活と結びついているかが随時教科書の中に出てきていて、学習したものをさらに発展させた内容が盛り込まれている。 ○地震の学習の後に自然災害や防災について多くの内容を取り上げている。(1年P218～) ○本文中には「活用しよう」が随所にあり、人に説明することによって科学的な思考力を養うよう配慮されている。(1年P46、115、2年P97) ○「考えよう」「話し合おう」のコーナーがあり課題解決や学習内容の理解を深めるためのグループ活動が行いやすくなっている。(1年P111、172、3年P69) ○「私のレポート」を示すことで科学的な表現活動の向上と充実が図れる。 ○単元末の問題が「基礎・基本問題」「活用・応用問題」に分かれており、充実している。 ○写真の有効な提示方法をしている。(1年P204、205、2年P170、171) ○放射線の記述で有効利用の方法が多く書かれている。(3年P112)		
内容の程度	○単元末には「要点と重要用語の整理」に続いて「基礎・基本問題」と「活用・応用問題」が量的に多く載っており、個人の力量(習熟度)にあわせた学習内容のチェックに役立つ。 ○各巻末資料に理科で使う数学・算数を取り上げられており他教科との関連を示している。 ○実験・観察では「課題」「準備」「方法」「結果」「考察」の項目がはっきりとしており、生徒が主体的に取り組めるフローチャートになっている。		
内容の構成 及び配列	○各学年で1分野(前半)と2分野(後半)に分けて構成され、1分野は(粒子・エネルギー)、2分野は(生命・地球)と表示して基本的な概念を意識している。 ○単元扉は見開きとなっているダイナミックな写真が使われていて、生徒の学習意欲を喚起するものとなっている。 ○2年動物の単元では、細胞の後、植物との違いが行動することに着目させ、生命を維持するしくみの前に扱っている。 ○2年化学変化の単元では、化合と分解の両方を扱ってから粒子の概念を学習させている。 ○単元の最初に各章の内容が記載されており、どのように学習が展開していくのかをつかみやすい。		

	○「思い出そう」では、小学校やそれまでの学年で学習した関連する内容が記載されており、繋がりがよくわかる。 ○科学的な探求を支える構成がある。「実験から」「観察から」は、観察や実験を踏まえ、分析する際に、実験の目的や意義を再認識できる構成となっている。
創意工夫	○観察・実験の前には「課題」や「話し合おう」、「考えよう」を設け、実験結果が出た後には結果を考察する上での着眼点が示されている。これら一連の観察・実験の流れを繰り返すことによって、予測や仮説を確かめるという目的意識を持って臨み、結果から科学的に分析・考察し、自分の考えを文章や発言でまとめて発表できる力を伸ばすことをめざしている。 ○工夫した実験が紹介されている。(3年P130) ○巻末には「自由研究」が載せられており、生徒の興味関心の度合いによって、選択的にさらに探求する態度を育むことができるよう工夫されている。
使用上の便宜	○重要語句は、オレンジ色にし、書体と変えて強調し、すべてにフリガナをつけ、わかりやすい記述になっている。 ○巻末に1年「カメラ作成シート」、2年「原子モデルカード」、3年「星座早見表」が添付され、実習や野外観察に役立つようにされている。 ○観察・実験において、安全にかかわる5つのマークで示したり、事故防止のための留意事項を赤い文字で強調したりするなど、安全面での配慮がなされている。
その他	

平成28年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 理科	種目名 理科	教科書名 未来へひろがるサイエンス マイノート	発行所 新興出版社啓林館
取扱内容	○基礎・基本をしっかりと丁寧に記述しており、発展的な学習内容も掲載されている。 ○実験では、目的をはっきり明示して目的意識を持たせることや「考えてみよう」「話し合ってみよう」「活用してみよう」など協働して思考力や提案力をつけさせようとしている。 ○情報や資料の量の多さが特徴で、基礎から応用まで、教師が選択し軽重をつけて扱うことで、幅広い対応が可能である。 ○小学校の理科（同じ出版社）との系統性が強い。		
内容の選択 及び扱い	○随所に掲載されている写真や資料等に工夫が見られ、生徒の興味を引くものが多い。 ○「先人の知恵袋」として、伝統文化などと科学と人々の生活との結びつきについて書かれている。 ○「理科でよく使う算数・数学」を設け、苦手意識の解消に工夫している。（マイノート） ○各巻末に「サイエンストラベラー」では日本各地のさまざまな動植物等を紹介し、地域の自然の多様性や豊かさに興味関心を示せるよう紙面を多く取っている。（1年P236～249、2年、P250～263、3年P268～281） ○地元三重県に関連する写真が掲載されている。（2年P53、3年P153、197、242） ○「部活ラボ」は生徒が身近に感じるもので斬新的である。（1年P205、2年P39、91、3年P166） ○学習したことを実際に見たり体験できるような校外施設の紹介があることで、夏休みや冬休みを利用して訪問するきっかけとなり、興味・関心の大きな高まりに繋がる。（1年P93） ○「はたらく人に聞いてみよう」の記載が、生徒の進路選択にも繋がる。 ○「なるほど」のコーナーでは、理解を深めるような情報があり、国語科や社会科と関連をもたせ多面から理解できるようになっている。（3年P68、190） ○巻末資料の「理科における話し合いと発表」では、話し合いの基本から発表例まで解説されていて、国語科との関連性も意識されている。（1年P256、257、2年P266、267）		
内容の程度	○すべての学年において「生命」「地球」「物質」「エネルギー」という分野の表記がなされており、学年間の繋がりがわかりやすい。 ○基礎から発展までバランス良く構成されている。 ○「この単元に入る前に」や単元内の随所に見られる「振り返り」で、既習事項を振り返ったり、「単元のねらい」が明確にされているため、学習の見通しを持って取り組んだりすることができる。 ○発展的な内容が、よりわかりやすく紹介され、主たる内容に資するものとなっている		
内容の構成 及び配列	○最新の大きな写真や資料を豊富に取り入れており、それらが効果的に配置され、生徒が学習を進めていく上で有効活用できる構成となっている。 ○「生命」「地球」「物質」「エネルギー」というように、分野の表記を生徒にもわかりやす		

	定を行い、系統性を持たせている。 ○各章の最初や随所に「ふり返り」で小学校・前学年での既習内容を掲載し、丁寧に展開している。 ○見やすいレイアウトになっており、学習効果を高めている。
創意工夫	○学習前や各実験や観察の前には、「？」を設け、生徒にわかりやすい課題を疑問形で投げかけることで、生徒が目的意識をもって授業や実験や観察に臨めるように工夫されている。 ○別冊マイノートでは、「基本のチェック」により基礎基本的な学習内容の確実な定着が図られている。さらに書き込む作業を通し、実験や観察の結果から、生徒が考えたり表現したりする力の育成を図っている。また、教科書の随所に関連ページを掲載し、一体化して使えるよう配慮されている。 ○実験、観察では、「実験のスキル」や「サイエンス資料」、「わたしのレポート」などの複数の資料を活用して、生徒が主体的に学習を進めていけるように配慮されている。 ○「ためしてみよう」には短時間でできる興味深い実験が紹介されており、教師の実験教材の選択幅が広がる。 ○学習の発展として、「ためしてみよう」や「科学の広場」、「きみも科学者」が配置され、選択的に取り扱うことで生徒の科学的興味関心を広げ、探求心や科学的な実践力等を伸ばせるよう工夫されている。
使用上の便宜	○単元末の「学習のまとめ」とマイノートの「用語の確認」を効果的に学習するために使用する青色シートは、色覚の個人差によらず、誰でも使えるツールになっている。 ○1年生の文字サイズを小学校6年と中学校2・3年生との中間サイズにして中1ギャップに対応している。 ○マイノートとして分冊することにより、他社に比べ教科書の内容ページが多くなり、資料や写真等が多く掲載されている。
その他	

音樂 (一般)

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 音楽	種目名 音楽（一般）	教科書名 中学音楽 音楽のおくりもの	発行所 教育出版
取扱内容	○学習指導要領に定められた音楽科の目標や各学年の目標を達成するために、精選された教材が取り上げられ、無理なく取り扱えるように構成されている。それらの教材は、音楽を愛好する心情を育て、音楽への感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化への理解を深め、豊かな情操を養うという観点から適切である。 ○各領域（表現・鑑賞）において、多様な学習活動を系統的に指導できるようにしている。		
内容の選択 及び扱い	○表現及び鑑賞の幅広い音楽活動を展開することをねらいとし、基礎となる学習、学習の広がり、知識・技能の活用の「3つの柱」で構成されている。 ○歌唱教材では、「日本の歌 みんなの歌」（共通教材）として、各学年に複数曲配置されており、また、合唱では、「歌のアルバム」として多くの曲が取り上げられ、発達段階において選択できるように配慮されている。 ○鑑賞教材では、多くの写真を取り入れ、図や楽譜も用いながら生徒が親しみやすいように工夫されている。 ○創作活動では、分かりやすく手順が示され、他の教材とも関連させてつくる楽しさを体験できるように工夫されている。 ○目次からも、日本の音楽文化にも重点をおいて構成されているのが分かり、諸外国の音楽文化も学びながら、日本の伝統音楽に親しめるように工夫されている。 ○音についての科学的な内容を発展的な学習として示している。		
内容の程度	○生徒の発達段階に応じて、曲が選択できるようにたくさんの楽曲が掲載されている。		
内容の構成 及び配列	○「音楽の要素を捉えながら」「さまざまな音楽文化」「歌い合わせ聴き深める喜び」の3つの柱で構成されており、また、後半部分に「歌のアルバム」として、学校の実情に合わせて選択できるように配慮されている。 ○口絵には、作曲家のエピソードとともに自筆譜が掲載されており、興味が持てるように工夫されている。 ○鑑賞では、写真やイラスト付きで説明するなど、分かりやすく掲載されている。		
創意工夫	○鑑賞教材では、他の楽曲と「聴き比べてみよう！」というコーナーが設置されている。 ○歌唱共通教材では、「A Message for You」で楽曲に対する作曲家や作詞者の思いや意図が示されている。 ○鑑賞では、折り込みページを使い、写真や図を表示することで分かりやすく楽曲について説		

	明がされている。 ○楽典では、各学年折り込み3ページを使い、豊富な内容を読せている。 ○各学年にリコーダーの運指表を読せている。
使用上の便宜	○鑑賞の右ページに年表があり、音楽史上の作曲家の位置づけが明確になっている。 ○主要教材の左側小口に活動のポイントを、右側小口には用語や記号を、右ページ下には、関連する教材や資料が掲載されているページを示している。
その他	○カラーユニバーサルデザインに配慮して、色覚の個人差に問わず、見やすくなっている。 ○印刷には、再生紙・植物油インキ・グリーン電力を使用するなど、環境へ配慮している。

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 音楽	種目名 音楽（一般）	教科書名 中学生の音楽	発行所 教育芸術社
取扱内容	○学習指導要領に示された音楽科の目標及び各学年の目標に照らし、必要な内容が取り上げられており、音楽性をのばすとともに、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育て、基礎的な能力を伸ばし、豊かな情操を養うという観点から適切である。 ○各領域（表現・鑑賞）において、各学年の重点事項を中心に多様な学習活動を系統的に指導できるようにしている。		
内容の選択 及び扱い	○歌唱教材では、長く親しまれている曲を「心の歌」（共通教材）として、各学年に複数曲配置し、生徒の心情を豊かに育成する配慮がされている。また、「歌い継ごう 日本の歌」として、全校合唱曲と題した「ふるさと」や、親しまれている日本の歌を掲載している。さらに、発達段階に応じた合唱曲が取り上げられ、旋律の重なり的美しさや、心情に響く歌詞により、歌うことの喜びが感じ取れるよう配慮されている。 ○鑑賞教材では、日本の伝統音楽や世界の民族音楽、古今の名曲や映画音楽、ポピュラー音楽など、多彩なジャンルを幅広く取り上げ、生徒の興味・関心を高め、総合的な理解を図るよう配慮されている。 ○創作活動では、発達段階に応じてリズムや旋律、ハーモニーの重なりを配慮しており、曲の構成を図式化することにより、視覚的にも分かりやすく、学習できるよう工夫されている。 ○他の人々に対する思いやりの心を持ち、友情の尊さを理解するなど、道徳教育に資する歌詞をもつ歌唱教材を取り入れている。また、我が国の伝統的な音楽や長く歌い継がれてきた日本の歌の学習を通して、日本人としての自覚を持つことができるような内容になっている。		
内容の程度	○質問や助言の吹き出しが示され、思考・判断の場面が設定されているとともに、「ここが分かればGrade up!」のコーナーでは教材や楽曲について知覚・感受したことを直接書き込めるように工夫されており、基礎的な内容から発達段階に応じて系統的な学習ができるように工夫されている。 ○音域やリズムに配慮し、学年による発達段階に応じて教材の配置がなされている。		
内容の構成 及び配列	○表現・鑑賞を前半にまとめ、後半を「心通う合唱」として、学校の実情に応じて選択できるように配慮されている。 ○基礎的な学習として、「確認しよう」のコーナーを各学年に設け、ビンゴゲームやリズムゲームを通して、音符・休符・記号について繰り返し確認できるように工夫されている。 ○鑑賞では、2・3上に、オペラ、歌舞伎を扱い、総合芸術として統一性を持たせている。		
創意工夫	○歌唱では、発声について「My Voice!」がどの学年にも掲載され、曲との関連で扱われているため、学習活動の中で自然と意識できるように工夫されている。変声についても同様に掲載されている。		

	○鑑賞では、「ここに注目してみよう！」のコーナーを設置し、知覚・感受したいポイントを具体的に示し、生徒が感じとったことを基に共感しながら、新しい価値に気付くように配慮されている。 ○曲中で使われている記号の読み方や意味がどこを見れば分かるかなどの工夫がされている。 ○口絵を多用し、わかりやすい説明文は親しみやすく、興味・関心を持たせる工夫をしている。 ○鑑賞では、写真やイラスト、色づけされた楽譜を豊富に使い、見やすく示している。説明については、作曲者や楽曲についての的確に分かりやすく表示され、エピソード等も交えながら、興味を持たせる工夫がされている。 ○「指揮をしてみよう！」では、生徒が指揮をすることを想定し、イラストで説明したり、発達段階に応じてコメントも工夫されている。また、曲との関連で扱われているため、学習活動の中で自然に学べるように配慮されている。 ○「学習の窓口」として、それぞれの教材で何を学習することができるのかを、共通のアイコンでわかりやすく提示されている。
使用上の便宜	○目次の他に音楽学習MAPがあり、学習指導要領に示された指導事項が分かるように配慮されている。また、[共通事項]との関連もわかりやすく掲載されている。 ○活字の大きさや色分けなど、工夫されていて見やすく分かりやすい。また、重要な学習事項が目に入るように配慮されている。
その他	○ユニバーサルデザインに配慮し、全ての生徒の色覚特性に適應することを目指しているため、見やすくシンプルなデザインとなっている。

音 樂

(器樂合奏)

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 音楽	種目名 音楽 (器楽合奏)	教科書名 中学器楽 音楽のおくりもの	発行所 教育出版
取扱内容	○学習指導要領に定められた音楽科の目標や各学年の目標を達成するために、精選された教材が取り上げられ、無理なく取り扱えるように構成されている。それらの教材は、音楽を愛好する心情を育て、音楽への感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化への理解を深め、豊かな情操を養うという観点から適切である。 ○リコーダー、ギター、和楽器を中心とした構成で、合奏曲や名曲の旋律も多く取り上げている。		
内容の選択及び扱い	○リコーダー、ギター、和楽器 (箏・三味線・太鼓・篠笛・尺八) が写真やイラストで分かりやすく構成され、楽曲も多く掲載されている。 ○楽器については、基本的な技能が身につくように、写真や図で奏法を示しながら、丁寧な説明で分かりやすく示されている。また、箏や篠笛の伝統楽器を使った創作活動も展開されており、幅広い学習ができるよう工夫されている。 ○楽曲は、時代や曲種に偏りなく、幅広いジャンルの中から親しみやすい曲や、音楽科一般の教科書と関連する曲も多く掲載されており、関連を持ちながら学習を進めることができるよう工夫されている。		
内容の程度	○どの楽器においても、基本的なことから丁寧に説明されており、少し難易度が高い曲も掲載しながら、発達段階に応じて曲が選択できるように、幅広い楽譜が掲載されている。		
内容の構成及び配列	○リコーダーにおいては、小学校からの学習の積み重ねと系統性を考慮し、ソプラノリコーダーを用いて、学習を更に広げていくことが可能となっており、アルトリコーダーとソプラノリコーダーとの合奏曲も多く掲載されている。 ○前半部分は、楽器の基礎的な知識や奏法をまとめた「演奏の仕方を見につけよう」、後半部分は、アンサンブルを中心とした「合わせて演奏しよう」、「名曲旋律集」などの多数の楽曲を掲載し、学校の実情に合わせて曲の選択ができるように配慮されている。 ○各楽器の構造や各部の名称を理解しながら学習するために、写真や図が掲載されており、奏法に関しても複数の角度からの写真を利用して説明されている。		
創意工夫	○「合わせて演奏しよう」のコーナーでは、「Let's Play!」と「Let's Try!」にわけ、「Let's Try!」においては、リコーダーと和楽器との合奏曲など、「Let's Play!」よりも難易度の高い楽曲を集め、生徒が達成感を味わえ、学習を広げることができるように工夫されている。 ○「音のスケッチ」のコーナーでは、創作活動を取り入れ、幅広い学習ができるように工夫されている。 ○「日本の楽器と音楽」について、折り込み3ページで年表と我が国の伝統楽器について写真		

	付きで説明されており、分かりやすく学習できるように配慮されている。 ○発展学習として、「手作りの横笛」というコーナーを設け、水道管で横笛を作りながら、横笛に親しめるように工夫されている。 ○口絵には、「制作現場を訪ねて」と題されたコーナーがあり、音楽制作について写真を用いながら説明がされていて、生徒の興味・関心をひくように工夫されている。 ○「With My Heart」では、演奏家のメッセージもあり、生徒が意欲的に取り組めるように工夫されている。 ○各楽曲には、「演奏ポイント」等、表現を工夫して演奏するための具体的なアドバイスが示されている。 ○ギターコード表が写真付きで見やすく掲載されている。
使用上の便宜	○リコーダーのページでは、左右の端に運指が載っており、巻末の運指表を見なくても、スムーズに運指を確認し、演奏することができる。
その他	○カラーユニバーサルデザインに配慮して、色覚の個人差に問わず、見やすくなっている。 ○印刷には、再生紙・植物油インキ・グリーン電力を使用するなど、環境へ配慮している。

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 音楽	種目名 音楽（器楽合奏）	教科書名 中学生の器楽	発行所 教育芸術社
取扱内容	○取り上げられている内容は、学習指導要領に示された教科の目標及び内容に照らして適切であるとともに、多様な学習活動を総合的に指導しやすいように配慮されている。 ○アルトリコーダー、ギター、和楽器、打楽器を中心とした構成で合奏曲や名曲の旋律も多く取り上げている。		
内容の選択 及び扱い	○リコーダー、ギター、和楽器（箏・三味線・太鼓・篠笛・尺八）、打楽器が写真やイラストで分かりやすく構成され、どの楽器においても、その歴史、種類、名称、構造、扱い方、演奏法と進み、興味・関心を持たせて意欲的に学べるように工夫されている。 ○どの楽器においても、練習曲があり、練習曲と「共通事項」を関連させて学習する「アンサンブルセミナー」が掲載されている。また、創作活動も取り入れながら、幅広い学習内容で構成されている。 ○楽曲は、平易な基礎から高度なアンサンブルまで段階をおって進めるように配慮されている。ジャンルは、クラシックからポピュラー、我が国の伝統音楽、諸外国の民族音楽などが扱われており、音楽科一般の教科書と関連する曲も多く掲載されており、関連を持ちながら学習を進めることができるよう工夫されている。		
内容の程度	○どの楽器においても、基本的な演奏方法を説明し、易しい曲から難しい曲へと系統的に自然に移行できるように配慮されている。特にリコーダーでは、多くのページが割り当てられ、レッスン1～レッスン3のそれぞれに難易度に応じた目標を設け、発達段階に応じて指導できる配慮がされている。 ○アンサンブル曲は、難易度を考慮し、多数掲載されており、生徒の発達段階に応じて曲が選択できるように工夫されている。		
内容の構成 及び配列	○前半部分は、各楽器について、後半部分は、「アンサンブルセミナー」、「アンサンブル」、「名曲スケッチ」などの多数の楽曲を掲載し、学校の実情に合わせて曲の選択ができるように配慮されている。どの楽器も練習曲から既存の楽曲へ移行し、順序よく学習することができるよう工夫されている。 ○各楽器の構造や各部の名称を理解しながら学習するために、写真や図が掲載されており、奏法に関しても複数の角度からの写真を利用して説明されている。		
創意工夫	○「Let's play instruments!」では、「Q&A」や「キーワード」により生徒一人ひとりが主体的に学習に取り組む構成になっている。 ○「アンサンブルセミナー」では、難易度別に3つのテーマを設け、生徒自らが演奏を楽しめるよう工夫されている。また、各楽曲とも、「ここが分かればGrade up!」のコーナーを設け、演奏の工夫や、パートの役割、曲の構成など、創作活動も含めながら、生徒が興味・関心を持って意欲的に取り組めるよう工夫されている。		

	○「Let's play instruments!」の「箏」では、楽器の特性を生かした「創作」の学習も取り入れて、より幅広い学習ができるように配慮されている。 ○和楽器について、奏法の特徴等を実践を通して理解したり、興味・関心を高めるよう「和楽器こぼれ話」、「音を聴いて確かめよう」と題したコーナーもあり、音楽科一般の教科書と関連する曲も掲載されている。 ○「名曲スケッチ」では、名曲を紹介するだけでなく、「名曲のテーマをアルトリコーダーで吹いてみよう」という学習テーマが目に入り、意欲的に学習できるように工夫されている。 ○口絵には、演奏家の写真と各楽器との出会いについてメッセージが掲載されており、生徒が親しみやすく学習できるように工夫されている。 ○12の打楽器についての演奏法などの説明もあり、打楽器だけで演奏する楽曲も掲載されている。
使用上の便宜	○目次の他に音楽学習MAPがあり、学習指導要領に示された指導事項が分かるように配慮されている。また、[共通事項]との関連も分かりやすく掲載されている。 ○活字の大きさや色分けなど、工夫されていて見やすく分かりやすい。また、重要な学習事項が目に入るように配慮されている。
その他	○ユニバーサルデザインに配慮し、全ての生徒の色覚特性に適應することを目指しているため、見やすくシンプルなデザインとなっている。

美術

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 美術	種目名 美術	教科書名 美術	発行所 開隆堂出版
取扱内容	○「美術」の学習を通して、生徒の発達段階に配慮した内容となっており、人格形成の段階として、生徒が歩んでいくであろう自己実現の道程（①自己との出会い、②他者との出会い、③社会の中での自己定位）に沿うことのできる内容を取り扱っていて適切である。		
内容の選択 及び扱い	○自然や日常生活の中での発見から、それを元にした表現・制作、そして展示・鑑賞までを一連の学びとして扱い、絵画・彫刻とデザイン・工芸分野ともに、その学びに効果的な題材が選択されていて適切である。 ○鑑賞については、参考作品に制作者のコメントをつけて制作意図や制作過程に目を向けさせている。鑑賞のポイントが問いかけの形で提示されていたり、二枚の絵を比べられるように提示してあったりと、「観る」ことを導く手立てが工夫されている。 ○表現のための基礎的技術や知識については、最小限の内容を巻末にまとめて提示し、技術や技巧に傾倒しやすい生徒の関心を表現活動そのものに関心がいくよう工夫されている。 ○比較的日本の作者・作品を多く扱っている。特に「美術2.3」においては、絵巻物6ページ、水墨画2ページ、琳派を中心にした江戸文化6ページと、その他のページでも多くの日本人作家の作品を掲載し、日本文化に関わる内容が充実している。		
内容の程度	○「美術1」では、美術作品と生活とのつながりに着目し、生徒の興味関心を高めるような題材設定になっており、「美術2.3」では、より専門的な深みのある内容を扱うなど、生徒の発達段階と特性に応じた内容となっている。		
内容の構成及 び配列	○学習指導を系統的に進めることの出来る構成と配列になっている。 ○生徒の主体的、意欲的な学びを喚起する内容の構成がされていて、発達課題に応じた人格形成を意識した構成および配列になっている。		
創意工夫	○題材ごとに評価の観点（①関心意欲態度 ②発想や構想の能力 ③創造的な技能 ④鑑賞の能力）と対応する形で「ふりかえり」が問いかけられており、生徒自身の自己評価を促す工夫がされている。 ○作品ごとに鑑賞のポイントが示されていて、生徒の興味関心意欲を喚起する工夫がされている。 ○生徒が制作している様子や、制作後の展示、鑑賞交流会の様子が写真で紹介されており、具体的に美術を身近に感じられる工夫がされている。 ○美術史年表の参考作品が思い切って人物像だけに絞って提示されており、美術史の大きな流れを感じ取ることができる工夫がされている。		
使用上の便宜	○判型はA4判で見やすく、印刷、製本、体裁なども適切で、使いやすい教科書になっている。		

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 美術	種目名 美術	教科書名 美術	発行所 光村図書出版
取扱内容	○「絵画・彫刻」分野、「デザイン・工芸」分野ともに、一つのテーマの中で多様な素材・表現技法が網羅するように扱われている。 ○「美術2・3」では、日本の文化、社会福祉、環境に関わる内容が充実している。		
内容の選択及び扱い	○「美術1」の表現分野では、参考資料に生徒作品を多く選択し、作者の言葉とともに提示することで、生徒が同世代の作者の表現活動に触れられるように扱っている。 ○特に「美術2・3」では、日常生活の中にある美術に焦点をあてた内容が多く扱われ、生涯にわたって美術を愛好する心情や美術を通して社会と繋がろうとする意欲の育成が図られている。 ○鑑賞について、見開きページを効果的に用いて作品のもつ迫力を表現したり、原寸大で提示することにより細部の筆使いに気づかせるなど様々な工夫がされている。また、一つの題材について深く掘り下げた解説がされており、鑑賞教材として十分な内容が納められている。 ○デザインを生活のなかにあるものとして強く意識した扱いになっている。		
内容の程度	○表現の基礎的技法や知識については、巻末に「学習を支える資料」としてまとめられているが、大変充実した内容で、より専門的な内容の指導にも有効に活用することができる。		
内容の構成及び配列	○「美術1」では、作品制作を通した自己との対話を軸に構成され、それが「美術2・3」で、作品を通した他者との対話や社会への発信へと広がるよう構成されている。		
創意工夫	○美術史年表と対応させながら、「トピックス美術史」として6ページに渡って美術史上のポイントが示されており、美術史の流れや日本美術の価値を掴みやすく工夫されている。 ○鑑賞資料に谷川俊太郎氏の詩を添えて提示してあり、生徒の鑑賞活動に幅を持たせながら柔軟に導くことができるよう工夫されている。		
使用上の便宜	○「美術1」と「美術2・3」の2冊が一つのブックケースに収められているので、生徒の実態に応じて柔軟に対応することができる。 ○装丁が面白く、本として魅力的な教科書である。 ○判型はA4判で見やすく、印刷、製本、体裁なども適切で、使いやすい教科書になっている。		
その他			

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 美術	種目名 美術	教科書名 美術	発行所 日本文教出版
取扱内容	○「絵画・彫刻による表現」、「デザイン・工芸による表現」、「鑑賞」の各分野をバランスよく取り扱っている。 ○題材ごとに学びのねらいを明確に示しながら、表現の方法や素材については生徒一人ひとりの特性や個性に対応できるよう幅広く紹介して適切である。		
内容の選択 及び扱い	○題材には生徒にとって身近なものが数多く選択されており、生徒一人ひとりの生活と密接に繋がったものとして扱おうとする工夫が見られる。 ○日本美術の作品については、現代の生活に活かしている伝統文化とともに提示され、骨董的な美術品ではなく、代々受け継がれてきた日本の美意識として扱う配慮がされている。 ○表現技法や色彩に関わる基礎的な技法や知識については、中学生の発達段階に適切な内容が精選されており、それを巻末にまとめて使いやすい工夫がされている。 ○特に「美術2・3下」では、環境・人権・平和といった今日的な社会問題との関わりが深い内容を多く扱い、中学校での学習を卒業後の生活課題へ繋げようとするねらいが明確である。 ○「オノマトペをデザインする」や音色を想像させる鑑賞方法の提案など、美術作品を視覚的な範囲に限定せず、聴覚をはじめとする他の感覚や、生活体験との繋がりの中で扱っている。		
内容の程度	○「美術1」では自己実現に沿った課題内容の配列になっており、生徒一人ひとりが自分なりの学びを十分に実現できるものである。 ○「美術2・3」では、学習内容がより複雑な社会問題や、より専門的な美術史的内容にも広がっており、生徒の特性に応じた様々なニーズに十分応えうる程度の内容である。		
内容の構成 及び配列	○「美術1」では生徒の自己実現の道程に沿って「出会いと広がり」を軸に構成され、そこから「美術2・3」でより深い美の探求へと深まるように学習内容が配列されている。その観点から、鑑賞については「美術2・3」に集中して配置される工夫がされている。		
創意工夫	○鑑賞については、見開きページを効果的に使い、紙面を2cm大きくすることで図版をより大きく多く提示できるように工夫されている。 ○彫刻作品を作品群として迫力のある提示の工夫がされ、浮世絵のページには和紙を使って原作に近い質感をだしたり、効果的な工夫がされている。 ○美術史年表に日本と中国及び西洋との繋がりを示し、世界の中での日本美術の価値を感じ取ることができるよう工夫されている。		
使用上の便宜	○図版が大きく印刷も鮮明であり、鑑賞素材として大変有効である。 ○題材に合わせて適切な参考作品が示され、生徒の発想を助ける材料としても有効である。		
その他			

保健体育

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 保健体育	種目名 保健体育	教科書名 新編 新しい保健体育	発行所 東京書籍
取扱内容	○学習指導要領の趣旨に沿っており、適正である。 ○小学校、中学校、高校で学習する内容がまとめられており、学習の連続、系統性が示してあり、分かりやすい。		
内容の選択及び扱い	○学習指導要領に示されている「知識を活用する学習を取り入れるなどの指導方法の工夫を行う」について、事例などを用いたディスカッション、課題学習、ブレインストーミング、ロールプレイング、実習や実験、実地調査、アンケート調査、インタビューが紹介されている。 ○図やグラフを有効的に使っており、見やすく、本文を良く補っている。 ○スポーツで活躍し、誰もが知っている選手などを取り上げたり、読み物やメッセージ等を掲載し、興味や関心が持てるように配置されている。 ○東日本大震災後の中学生の活動や作文等を取り上げ、学習内容を身近なものに感じるよう工夫されている。 ○資料、実習資料、章末資料等、学習内容を分かりやすく視覚的に補っている。 ○p 86 章末資料「自転車安全利用五則」が良い。 ○喫煙の対処については、未成年が吸わなくなるような工夫が欲しい。 ○4章6～9 喫煙・飲酒・薬物乱用について「害」という文言が標題にも記載されており、詳しく扱われていてよい。生徒の未来の健康に配慮している。		
内容の程度	○基礎的・基本的な知識の習得ができるよう、系統的・段階的な内容となっており、所々に発展的な内容も取り入れられている。 ○体育編1章2では運動会や北海道マラソンなどを例に挙げ、運動やスポーツへの多様な関わり方が紹介されている。 ○体育編1章3では体育理論に基づいた運動やスポーツについての学び方が学習できるようになっている。 ○体育編2章1～3で、心身に及ぼす効果、社会性の発達に及ぼす効果、安全な行い方について触れ、ルールやマナーの大切さが学べる内容になっている。		
内容の構成及び配列	○構成は授業毎の流れや内容のまとまりが見開きに配置されており、学習内容が掴みやすい。 ○保健編と体育編が交互に構成されており、学年毎の学習すべき内容がよく整理されている。 ○「今日の学習」→「やってみよう」→「本文」→「考えてみよう」→「生かそう」という流れになっており、「めあて」「振り返り」が位置づけやすい。また、「生かそう」を活用することで、学習したことを生活に活かせるよう、発展課題を位置づけ、「生きる力」を育めるよう、構成されている。 ○様々なマークが記され、他教科との関連や教科内の他領域との関連が明示されている。 ○「5. 知的機能と情意機能の発達」「6. 社会性の発達と自己形成」という構成になっているが、「5. 心の発達と社会性」「自己形成」という構成の方が扱いやすい。 ○熱中症についての予防と応急手当はp 82、83の資料に詳しく記載されているが、「環境への適応能力」p 46～47の続きにある方が使いやすい。		
創意工夫	○教科書へ直接の書き込む箇所等があり、グループで話し合い共に学び合うことができるように工夫されている。		

	○導入発問「やってみよう」で関心が持てるよう工夫されている。 ○「確認問題」や「学習のまとめ」が章末にあり、生徒への学習内容の定着が図られている。 ○口絵はトップアスリートの写真を掲載したり、キャリア教育も視野に入れ、健康や生命を支える仕事に就いている人たちを紹介し、興味や関心を高めようとする工夫がされている。
使用上の便宜	○教科書の使い方で、学習の流れが分かりやすく説明されており、良い。 ○紙、印刷等色覚や特別支援に配慮があり、頁毎の文字、資料等の量や配置も良く、見やすい。 ○本文のふりがなが丁寧であり、本文以外の文字はUDフォントが使用されていて見やすい。 ○学年毎にクラスを書き込め、3年間使用しやすいように配慮されている。
その他	○東京オリンピック開催を意識した口絵が掲載されている。 ○教科書が税金によって無償で支給されていることについて、記載されている。

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 保健体育	種目名 保健体育	教科書名 新版 中学校保健体育	発行所 大日本図書
取扱内容	○学習指導要領の趣旨に沿っており、適正である。		
内容の選択 及び扱い	○学習を進める上で適切に内容の選択及び扱いがされている。 ○トピックス等で生徒の日常生活や経験、興味・関心に配慮した学習内容を選択および扱っている。 ○トピックスの内容は中学生の生活に密接な関係がある内容が多く取り上げられている。 ○保健編第1章2 資料11、中学生の生活のしかたと新体力テストの合計点との関係グラフの使用はよい。		
内容の程度	○生徒の発達段階と特性に適応しており、基礎的・基本的な知識の習得ができるよう、系統的・段階的な内容となっている。発展的な課題の取扱はやや少なめである。		
内容の構成 及び配列	○「今日の学習課題」が明示されており、「考えよう」で導入がしやすいよう工夫されている。 ○見開き2頁で各項目が構成されており、「今日の課題」→「考えよう」→「本文・資料」→「学習を活かして」→「学習のまとめ」という構成になっており、知識・理解、思考・判断力、活用力を効果的に育む構成及び配列となっている。 ○図やグラフが分かりやすく配置されている。 ○写真は必要に応じて大きくクローズアップするなど、効果的に配置し工夫されている。 ○キーワードの配置が末尾にあり、振り返りに使いやすい。		
創意工夫	○口絵は、トップアスリート、中学生、生涯スポーツが取り上げられており、バランスが良い。また、口絵や各章はじめに中学校での学習が将来への様につながるのか、デザイン化されており、イメージしやすい。 ○章毎に見出しの色使いが分けてあり、使いやすい。 ○各項目が見開き2頁にまとめられており、使いやすい。 ○各章に学習のまとめがあり、重要語句、要点がまとめてあるが、確認問題があると更に良い。		
使用上の便宜	○特別支援教育に関する配慮がされている。 ○色使いが目優しく、見やすい。 ○環境に配慮した紙、インクを使用し、ユニバーサルデザインに配慮されている。 ○本文とふりがな以外の文字はUDフォントが使用されていて見やすい。 ○表紙が丈夫で、汚れにくい加工が施されている。		
その他	○東京オリンピック開催を意識した口絵が掲載されている。		

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 保健体育	種目名 保健体育	教科書名 保健体育	発行所 大修館書店
取扱内容	○学習指導要領の趣旨に沿っており、適正である。		
内容の選択 及び扱い	○適切であり、現代社会で課題とされている内容が取り上げられている。 ○各項目の学習のまとめに発展的な課題を取り上げている。 ○学習内容の理解を助けるコラムやトピックスがほぼ項目毎にあり、内容も中学生の生活と密接な内容になっている。 ○事例で実際にあったことを取り上げ、「自転車の加害」「ゾーン30」など中学生が参考にすべき内容が扱われている。 ○知識の習得に止まらないよう、必要に応じて実習が組み入れてある。 ○保健編2章「健康と環境」において、学習指導要領解説では「地域の実態に即して公害と健康を取り扱うことも配慮」となっているが、四日市ぜんそく、PM2.5、放射線について扱われている。 ○体育編p8に三重県出身の選手の写真が使用されており、生徒が興味・関心を持ちやすい。 ○第2章5「し尿とごみの処理」において生活排水についての取り扱いがされていない。		
内容の程度	○基礎的・基本的な知識の習得ができるよう、系統的・段階的な内容となっており、所々に発展的な内容も取り入れられている。 ○第2章1環境適応能力と熱中症の関係、解説が丁寧で分かりやすい。		
内容の構成 及び配列	○各項目末にTry, Challengeがあり、学習のまとめや発展的学習ができるようになっている。思考・判断力の深まりと、また実際に書かせることで、表現力や言語活動も視野に入れた構成になっている。 ○Topicの内容が良い。		
創意工夫	○重要ポイント語句が全て太字になっている。 ○写真が効果的に使用されている。 ○グラフや図が見やすく工夫されている。特に図については、吹き出しがあり、ポイントが記載されている。 ○学習内容に関連したURLが紹介されている。		
使用上の便宜	○B5版で使いやすい（生徒が慣れている） ○各項目が見開きになっており、使いやすい。 ○環境に配慮した紙、インクを使用し、ユニバーサルデザインに配慮されている。 ○本文の背景に薄い黄色が使っており、文字がやや読みにくい。		
その他	○東京オリンピック開催を意識した口絵が掲載されている。 ○教科書が税金によって無償で支給されていることについて、記載されている。		

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名	種目名	教科書名	発行所
保健体育	保健体育	新・中学保健体育	学研教育みらい
取扱内容	○学習指導要領の趣旨に沿って、小学校、高校の学習内容との関連性が明記されており、学習の流れが掴めるようになっている。 ○学習指導要領に示されている内容が、適切に取り上げられている。		
内容の選択及び扱い	○適切であり、学習指導要領に示されている「知識を活用する学習を取り入れるなどの指導方法の工夫を行う」について、事例などを用いたディスカッション、課題学習、ロールプレイング、実習等を取り上げ学習内容の定着を図り、発展的な内容への流れがスムーズに繋がるよう扱われている。 ○保健編2章「健康と環境」において、学習指導要領解説では「地域の実態に即して公害と健康を取り扱うことも配慮」となっているが、四日市ぜんそく、PM2.5、放射線について扱われている。 ○1章6の心の発達(2)において、p49「友達との付き合い」の中で、いじめやコミュニケーショントレーニングについて言及されている。 ○2章5「生活排水の処理」と6「ごみの処理」が分けて丁寧に扱われている。 ○「交通事故の防止」p63の資料2,3やp80で自転車運転者の賠償責任について取り上げている内容が具体的で良い。 ○p75の「AEDについて」は、もう少し詳細に取り扱って欲しい。 ○4章3「食生活と健康」p91生活リズムと朝食を関連づけ、資料5で体温との相関グラフで示されているのが良い。		
内容の程度	○基礎的・基本的な知識の習得ができるよう、系統的・段階的な内容となっており、所々に発展的な内容も取り入れられている。		
内容の構成及び配列	○1時間の流れが、学習の目標→ウォームアップ→本文・資料→エクササイズ→活用しようで構成されており、「めあてとまとめ」がしやすい。 ○各章末に「章のまとめ」あり、学習した用語の確認、基礎の完成、活用問題で構成されており、思考力・判断力をつける工夫がなされている。 ○コラムが各単元に配置されている。生活に密着した内容が多く取り上げられ、文章量も適当で読みやすく、言語能力や読解力の向上に役立つ。		
創意工夫	○各項目の学習内容について概ね見開き2頁を割り、興味が持てるよう工夫されている。 ○各章の学習内容に関連し、最近話題になった出来事や関心事について、図や写真の掲載をし、取り上げている。 ○各分野で活躍した人について取り上げ紹介している。 ○キャリア教育の視点から、関連の職業を写真入りで紹介している。 ○口絵は中学生の興味に合わせて構成されており、本の紹介がされている。 ○用語解説や資料が同頁にされており、理解しやすいように考えられている。 ○実習を入れ、知識としての理解に止まらないように、生きる力を育むよう工夫されている。		

使用上の便宜	○B5版で使いやすく（生徒が慣れている）、色使いも適切である。 ○教科書の使い方が説明されており、良い。 ○環境に配慮した紙、インクを使用し、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。 ○マークが多すぎてやや煩雑である。
その他	○三重県の写真や協力がある。

技術・家庭 (技術分野)

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 技術・家庭	種目名 技術・家庭（技術分野）	教科書名 新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	発行所 東京書籍
取扱内容	○教育基本法に定める教育の目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習指導要領に定める技術・家庭科（技術分野）の目標を達成するために、効果的に学習できる内容を適切に取り扱っている。		
内容の選択 及び扱い	○基礎的・基本的な知識及び技術が確実に習得できるように、各単元が「技術に関する知識を学ぶ」「ものづくりを通して技術を学ぶ」「技術を適切に評価し、活用する」で構成されており、学習の流れがわかりやすく学びやすい。技術の学び方と学習内容についても、PDCA サイクルにしたがった学びが明示されており、わかりやすい(P14～15)。 ○「生物育成」では、育てる作物の栽培暦の一覧表がわかりやすく表示されており、作物別の特徴がよくわかる (P160～162)。 ○各編において、ものづくりに関する「基礎技能」がまとめられており、実習や生活の中で実践するときに、基礎的・基本的事項の確認がしやすく、活用しやすい(P54～73、P123～127 等)。 ○「材料と加工」の「作業手順を考えて製作しよう。」で、構想した製作品を実際に製作するためにどのような準備をしたらいいか考えさせる際、製作の手順が写真と具体的な作業の様子がわかりやすく説明されており、作業の流れと手順をイメージしやすい(P50～P51)。 ○他教科とのかかわり、他のページとの関連が、マークで随所に示されている。 ○各節で「やってみよう」「考えてみよう」などで導入課題を設けており、「まとめよう」「生活に生かそう」でまとめと生活への活用が図られている。		
内容の程度	○生徒の心身の発達段階及び生活・経験を考慮し、意欲を持って基礎的・基本的な知識及び技術を習得できるように配慮されている。また、基本的な理解を深め、活用する能力と態度を育成するために、実践的・体験的な学習活動、また、知識や技術などを活用して、学習や実際の生活において課題を発見し解決できる能力を育成するものとなっている。		
内容の構成 及び配列	○文章、図表、写真、イラストなどが豊富にかつ整然と掲載されており、分量や大きさも適切であり、学校や生徒の実態に応じて活用できるようになっている。 ○ガイダンスでは、中学校3年間の学習の概要を「夢の実現」「創意・工夫」「持続可能な未来」というカテゴリーから、技術のすばらしさを最新の内容から取り上げ、学習への意欲をふやす工夫がされている(P6～17)。 ○各編の最後に「学習を振り返ろう」「学習したことを確かめよう」「生活に生かそう」という項目で学習のまとめを行うことができ、学習状況の確認と生活への活用について確		

	認できる (P90～91、P146～147 等)。
創意工夫	○随所に「技術の匠」というトピックを設け、社会で活躍している技術に携わる人からの経験とアドバイスが掲載されている。技術が生活の中でどのように生かされているか理解できる。 ○「ひとくち Q&A」では、クイズ形式で学べ、生徒の興味・関心を高める工夫がされている。 ○各分野の最後には学習のまとめとして振り返りがされている。自己評価と基礎的な知識の確認ができ、学習した用語の一覧と掲載ページが確認でき、学習の振り返りが容易にできる構成となっている (P90～P91)。 ○「実習の安全」について実習前・実習中・実習後の注意事項が掲載されていたり、「安全マーク」「衛生マーク」をつけて安全な作業方法や事故防止のポイントを示し注意を喚起している (P23)。
使用上の便宜	○AB 版で、図版・文字ともに少し大きめで見やすい。表紙は厚く耐久性もよい。各单元、各章、基本技能、実習例ごとに色帯をつけ、区別されている。 ○20 数種類のマークをうまく活用し、色分けや枠組みをして大変わかりやすく記述されている。 ○章末の索引掲載数が多く、調べやすい。(P272～275)
その他	○ 巻末には、技術・家庭科の学習を生かせる防災手帳 (資料) が掲載されている。学習内容を、防災学習に生かすための資料が掲載されており、発展的な学習へとつなげることができる。

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 技術・家庭	種目名 技術・家庭（技術分野）	教科書名 新技術・家庭 技術分野	発行所 教育図書
取扱内容	○教育基本法に定める教育の目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習指導要領に定める技術・家庭科（技術分野）の目標を達成するために、効果的に学習できる内容を適切に取り扱っている。		
内容の選択 及び扱い	○基礎的・基本的な知識及び技術が身に付くよう内容が精選されている。 ○「材料と加工」の「正確に作るボックス棚」では構想した製作品を実際に製作するために、製作の手順が多くの写真で説明されており、作業の流れと手順をイメージしやすくわかりやすい記述がされている（P34～51）。 ○各節に、「まとめ」や「章末問題」が設けられ、基礎的・基本的事項がわかりやすく確認できる（P90～91）。 ○「資料」を掲載し、生徒の興味・関心を高め、発展的な学習につなげることができる（P98）。 ○それぞれの分野において、ものづくりに関する「基礎技能」がまとめられており、基礎的・基本的事項の確認がしやすい。		
内容の程度	○生徒の心身の発達段階及び生活経験を考慮し、基礎的・基本的知識及び技術を習得できるように配慮されている。また、基本的な理解を深め、活用する能力と態度を育成するために、実践的・体験的な学習活動となっている。		
内容の構成及 び配列	○ガイダンスでは、これまでの知識を振り返りながら中学校3年間での学習を概観できるようになっている（P2～P8）。 ○文章、図表、写真、イラストなどが整然と掲載されており、学校や生徒の実態に応じて活用できるようになっている。		
創意工夫	○「発展」というトピックを設け、学習内容に対するより発展的な内容を掲載し、より詳しい説明がなされている（P103）。 ○「実験」という形で簡単な実験方法を示し、学習した知識を体験的に確認することができる（P88）。		
使用上の便宜	○OA4版で、図版・文字ともに見やすい。表紙は厚く耐久性もよい。 ○数種類のマークを活用し、記述されている。		
その他			

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 技術・家庭	種目名 技術・家庭（技術分野）	教科書名 技術・家庭（技術分野）	発行所 開隆堂出版
取扱内容	○教育基本法に定める教育の目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習指導要領に定める技術・家庭科（技術分野）の目標を達成するために、効果的に学習できる内容を適切に取り扱っている。		
内容の選択 及び扱い	○基礎的・基本的な知識及び技術が確実に習得できるように、各領域が「知る」「できる」「考える」で構成されており、学びやすい。また、小学校での学びとの関連が明示されている。 ○それぞれの分野において、ものづくりに関する基礎技能がまとめられており、実習や生活の中で実践するときに、基礎基本の確認がしやすく、活用しやすい(P54～69等)。 ○他教科とのかかわり、他のページとの関連が、マークで随所に示されている。 ○情報モラル、情報セキュリティについては、12 ページを割いて基礎的なことがまとめられており、本文中では「リンク」マークで参照できるよう配慮されており、適切である(P190～P201)。 ○「参考」「発展」などコラムや参考・応用事例が示され、発展的学習につなげることができる(P23、P105)。		
内容の程度	○生徒の心身の発達段階及び生活経験を考慮し、意欲を持って基礎的・基本的な知識及び技術が習得できるように配慮されている。また、基本的な理解を深め、活用する能力と態度を育成するために、実践的・体験的な学習活動となっている。		
内容の構成 及び配列	○ガイダンスでは、中学校3年間の学習の概要を示すとともに、先人の知恵や技術の歴史、環境とのかかわりを示し、生徒にとって興味・関心を引く構成となっている。(P6～19) ○文章、図表、写真、イラストなどが豊富にかつ整然と掲載されており、分量や大きさも適切であり、学校や生徒の実態に応じて活用できるようになっている。		
創意工夫	○各節に「学習の目標」が示され、学習の節目に「ふり返し」(P33、46 など)が設定されていて、反省・評価することで、学習内容の定着が図れるよう工夫されている。 ○「参考」というトピックを設け、学習内容に対する資料など補足事項を掲載し、より詳しい説明がなされている。 ○各ページに豆知識を掲載し、生徒の興味・関心を高める工夫がされている。 ○すべての領域において、「社会・環境とのかかわり」という小単元を設け、循環型社会や持続可能な社会の実現のために、その重要性や対応していく態度が身につくように配慮されている。「環境」マークをつけ環境についての意識を高める工夫がされている(P84～85、130～131等)。 ○各章ごとに学習の「学習をふり返ろう」「生活に生かそう」という項目で学習のまとめ		

	を行うことができ、学習状況と生活への活用について確認できる(P90)。
使用上の便宜	○A4 版で、図版・文字ともに見やすく、各領域ごとに色帯をつけ区別されている。表紙は厚く耐久性もよい。 ○10 数種類のマークをうまく活用し、色分けや枠組みをしてわかりやすく記述されている。
その他	

技術・家庭 (家庭分野)

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 技術・家庭	種目名 技術・家庭（家庭分野）	教科書名 新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	発行所 東京書籍
取扱内容	○教育基本法に定める教育の目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習指導要領に定める技術・家庭科（家庭分野）の目標を達成するために、効果的に学習できる内容を適切に取り扱っている。		
内容の選択 及び扱い	○基礎的・基本的な知識及び技術が確実に習得できるように、系統的にわかりやすく配置されている。 ○各節に、「目標」が示され、「考えてみよう」「やってみよう」「調べてみよう」の学習活動が設けられ、意欲的に学習に取り組みやすい。また、最後には「まとめよう」「生活に生かそう」の学習内容をまとめる設問があり、基礎知識が定着したか確認ができ、さらに実生活に生かすことができるよう工夫されている。 ○他教科との関連のある項目は「他教科」マークでわかりやすく示し、関連内容が記載されている。 ○「食育」「環境教育」「持続可能な社会の構築」「人権の尊重」「生命・福祉」「伝統・文化」「国際化社会」等の今日的な学習課題を取り上げ、生徒の実態に配慮しながらわかりやすくまとめられている。 ○「話し合ってみよう」（P28 など）などの活動や「ロールプレイング」（P216）などの実習例で、思考力、判断力、表現力が高まるよう工夫されている。		
内容の程度	○生徒の心身の発達段階及び生活・経験を考慮し、難易度に幅を持たせた題材を数多くそろえるなど、個に応じた基礎的・基本的な知識及び技術を習得できるよう配慮されている。		
内容の構成 及び配列	○ガイダンスでは、小学校家庭科の振り返りと中学3年間の学習の目標と見通しがわかりやすくまとめられ、学習への意欲を高める内容になっている（P8～19）。 ○文章、図表、写真、イラスト、実践例などが豊富かつ整然と掲載されており、分量や大きさも適切であり、学校や生徒の実態に応じて活用できるよう工夫されている。		
創意工夫	○各編末に「学習のまとめ」を設け、自己評価と復習ができるよう工夫されている。 ○基礎的な技能については、「基礎技能」としてまとめてあり（P52～57、P120～125、P156～161）、写真、イラストを用いてわかりやすく記載されている。基礎技能を用いてできる実習例（P57、P161）が記載されており、学校でも家庭でも練習できるよう工夫されている。 ○作業中の事故防止や衛生面での注意事項について、ガイダンス（P6～7）で取り上げられている上に、随所で取り上げられている。 ○内容D「消費者生活と環境」では、生徒には理解しにくい契約等の内容をわかりやすく、		

	イラストを使って説明されている。「意志決定のプロセス」(P230～231)の流れが見開きで示してありわかりやすく、食生活(P44)、衣生活(P114)の学習でも同じ形式を使っていることから、繰り返し学習できるよう工夫されている。 ○「プロに聞く」では、家庭分野の学習に関係の深い仕事に就いている人たちからのメッセージが紹介されている。 ○写真や図版がわかりやすく、特に一日に必要な野菜の量が実物大の食品の写真で示されており(P36～37)、実物がなくても理解しやすいよう工夫されている。
使用上の便宜	○表紙は厚く、耐久性もよい。各編・各章ごとに色帯をつけ区別されている。サイズが大きく見やすい。 ○各種マークをうまく活用し、色分けや枠組みをしてわかりやすく記述されている。 ○文字の大きさ、字間・行間及び書体が、適切である。
その他	

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 技術・家庭	種目名 技術・家庭（家庭分野）	教科書名 新技術・家庭 家庭分野	発行所 教育図書
取扱内容	○教育基本法に定める教育の目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習指導要領に定める技術・家庭科（家庭分野）の目標を達成するために、効果的に学習できる内容を適切に取り扱っている。		
内容の選択 及び扱い	○基礎的・基本的な知識及び技術が確実に習得できるよう、適切に配置されている。 ○各節に、「学習の目標」や「キーワードチェック」、大項目A・B・C・Dの最後に「学習のふり返し」（P60 など）が設けられ、基礎的・基本的な事項がわかりやすく、自ら学習できる内容になっている。 ○「食育」「環境教育」「持続可能な社会の構築」「人権の尊重」「生命・福祉」「伝統・文化」「国際化社会」等の今日的な学習課題が取り上げられている。 ○中学生の興味・関心に合わせて発展的に学習できるよう、「発展」でコラムが掲載されている（P28～29, P51 など）。		
内容の程度	○生徒の心身の発達段階及び生活・経験を考慮し、基礎的・基本的な知識及び技術を習得できるよう配慮されている。		
内容の構成 及び配列	○ガイダンスでは、小学校家庭科の振り返りと中学3年間の学習の目標がたてられる内容になっている。（P4～5） ○内容Cについては1章に「住生活」、2章に「衣生活」、3章に「生活を豊かにする工夫」となっており、製作実習へのつながりが自然でわかりやすく配列されている。 ○文章、図表、写真、イラスト、実践例などは、学校や生徒の実態に応じて活用できるよう工夫されている。		
創意工夫	○各章のはじめに「自立度チェック」（P6、P30 など）やクイズ（P68～69 など）を設け、学習の動機づけになるよう工夫されている。 ○各節のはじめに「Q」を設け、学習活動がわかりやすく示されている。 ○中学生が親しみやすいように、二人のキャラクターを登場させ、つぶやきで興味、関心を引けるよう工夫されている。イラストなども中学生の好みにあっている。 ○作業中の事故防止や衛生面での注意事項について、まとまった紙面で取り上げられている上に、随所で取り上げられている（P103, P105）。 ○口絵「年中行事と私たちの暮らし」「人生のお祝い事」では、写真やイラストで、自分の成長や、自分と周囲の人々とのかかわりについて考えることができるよう工夫されている。 ○新生児・幼児の手形・足形、野菜の切り方については、実物大の写真が示されており、大変わかりやすく工夫されている（P30～31、P106～107）。 ○各種マークをうまく活用し、色分けや枠組みをしてわかりやすく記述されている。		

使用上の便宜	○表紙は厚く、耐久性もよい。各章ごとに色帯をつけ区別されている。暖かみのあるデザインである。
その他	

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 技術・家庭	種目名 技術・家庭（家庭分野）	教科書名 技術・家庭（家庭分野）	発行所 開隆堂出版
取扱内容	○教育基本法に定める教育の目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習指導要領に定める技術・家庭科（家庭分野）の目標を達成するために、効果的に学習できる内容を適切に取り扱っている。		
内容の選択 及び扱い	○基礎的・基本的な知識及び技術が確実に習得できるよう、系統的に配置されている。 ○選択「生活の課題と実践」は全ての学習内容のあとにまとめて記載されており、学校や生徒の実態に合わせて履修できるよう、豊富な実習例を一覧で示すなどわかりやすく工夫されている（P250～256）。 ○各節に「学習の目標」が示され、単元ごとに「ふり返り」（P19、P41、P49 など）が設定されている。さらに、大項目A・B・C・Dの最後に「学習のまとめ」（P59、P141 など）を設け、「学習をふり返ろう」では自己評価、「生活に生かそう」では生活への活用ができるよう工夫されている。 ○他の学習項目、技術分野、他教科との関連のある項目は「リンク」マークで示し、関連内容が記載されている。 ○「食育」「環境教育」「持続可能な社会の構築」「人権の尊重」「生命・福祉」「伝統・文化」「国際化社会」等の今日的な学習課題がわかりやすくまとめられている。 ○「参考」「探究」「発展」などコラムや参考・応用事例が示され、発展的な学習ができるよう配慮されている。 ○学習内容の最後に「言語活動の充実のために」（P260～263）が設定され、言語活動の重要性が強調されている。		
内容の程度	○生徒の心身の発達段階及び生活・経験を考慮し、意欲を持って基礎的・基本的な知識及び技術が習得できるよう配慮されている。		
内容の構成 及び配列	○ガイダンスでは、中学3年間の学習の目標と見通しがわかりやすくまとめられている（P2～13）。 ○内容Cについては1「住生活」、2「衣生活」の順であり、「布を用いた物の製作」が2「衣生活」に含まれ、製作実習へのつながりが自然でわかりやすく配列されている。 ○文章、図表、写真、イラスト、実践例などが豊富に掲載されており、学校や生徒の実態に応じて活用できるよう工夫されている。		
創意工夫	○作業中の事故防止や衛生面での注意事項について、まとまった紙面で取り上げられている上に、随所で取り上げられている（P100～101 など）。さらに、巻末に、作業中、作業後に分けてわかりやすく記載されている。 ○各種の職業で活躍している人たちからのメッセージが、写真入りで随所に掲載されている。		

	○紙面下部の「豆知識」は、教科書本文より発展的な内容が記載されており、生徒の興味・関心や知識を高めることができる。 ○写真や図版がわかりやすく、実物大の食品の写真（P75～77）は実物がなくても理解しやすい。 ○内容Bの衣服の補修について、スナップの写真が大きく、大変わかりやすい（P187）。また、穴あきの補修について記載があり、生徒の実態に合っている（P188）。
使用上の便宜	○表紙は厚く、耐久性もよい。各領域ごとに色帯をつけ区別されており、表紙の写真等から学習内容が一目でわかる。 ○各種マークをうまく活用し、色分けや枠組みをしてわかりやすく記述されている。
その他	

英語

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 英語	種目名 英語	教科書名 NEW HORIZON English Course	発行所 東京書籍
取扱内容	3学年を通して、「聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎」を確実に養えるように、内容が選択・配列されている。		
内容の選択 及び扱い	○1年生の最初に「あいさつ」「身の回りの英語」「数字」「曜日・月」について紹介されている。これらは小学校での英語活動とつながっているので、生徒たちに親しみやすい。 ○1年生では、本格的な Unit に入る前に、単語の書き方について学ぶことができる。予習をする上で、英語を書くことに対する指導は必須である。 ○I am～. Are you ～? This (That) is～. で be 動詞から入り、一般動詞、命令文へと進んでいく。 ○Unit5 だけ What を使う文が入り、そのあと Unit6 で3単現についてを挟み、再び Unit7～8 で疑問詞が出てくる。 ○未来時制として、be going to～で入っている[Unit2]。will は助動詞として Unit4 で出てくるので、まとめて学習することができない。 ○不定詞 [Unit3]、接続詞(If, that, when, because) [Unit5]、比較級 [Unit7] が同じ Unit でまとめられている。それ以外の文法が入らないのでまとめやすい。 ○現在完了は「継続」「経験」「完了」の順になっている。(been についても取り出されている) ○後置修飾について、現在分詞、過去分詞の形容詞的用法～関係代名詞の順になっているが、その間に間接疑問文 (I know what you mean.) が入っているので混同する可能性がある。		
内容の程度	○1年時は「英語を通じて新しい世界に出会おう」という観点から、自分や周りの人についてのことや日常生活の場面を使った Dialog が多く、そのほかは日記やスピーチを読む程度である。まとまった英文での読み物のページは最後に出てくる程度である。段階をおって、自己紹介や一日の生活について伝えることができるようになる。 ○2年時は各 Unit で70～80字程度の英文を読むように設定されており、「視野を広げよう」という観点から内容は海外での異文化体験や国際理解、職場体験やユニバーサルデザインについてなど様々な場面設定となっている。それらを通して将来の夢や自分の町紹介などができるようになる。 ○3年時は各 Unit で80～90字程度の英文を読むように設定されており、「新たな視点で見直そう」という観点から内容は日本文化、環境問題、テクノロジー、世界の偉人など、国際人としての知識を高められるように設定されている。		
内容の構成 及び配列	○1年時では、Unit の各 Part で文法、語彙、題材、コミュニケーション活動の4つが総合的に扱われている。 ○2・3年においては、Unit の Starting Out と Dialog では文法と「聞く」「話す」中心のコミュニケーション活動に、Read and Think ①② では「読む」「書く」中心の		

	活動ができる。
創意工夫	○1年生の早い時期から辞書を引く指導ができるようになっている。 ○デジタルコンテンツを利用するなど、IT機器を使った授業がしやすい。
使用上の便宜	○各パートが見開き2ページになっていて、左側は新出語句と本文、右側は基本練習ができるようになっている。基本練習では、基本文の定着と、聞く、話す、書く活動ができる。 ○それぞれの「Presentation」のページでは、モデル文をもとに段階を踏んでスピーチや作文ができるようになっている。 ○1年生の前半部分を除き、各Unitの後にDaily Sceneというページがあり、習ったことを使ってコミュニケーション活動ができるようになっている。ALTとの授業や、Speaking Testにつなげることができる。
その他	

平成 28 年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 英語	種目名 英語	教科書名 SUNSHINE ENGLISH COURSE	発行所 開隆堂出版
取扱内容	○学習指導要領に定める教科の目標を達成する上において、4 技能を踏まえたコミュニケーション能力の基礎が養われるように配慮されている。		
内容の選択 及び扱い	○各セクションは見開きで左側に基本文、運用練習などのページがあり、本文が右側になっている。左側のページにも右側のページにも新出単語があり、それらは独自のもので関連していない。読み物ページも本課に組み込まれている。1 年生は読み物ページにも基本ダイアログがある。 ○学期に 1 度ずつマイプロジェクトという CAN-DO リストを意識した単元がある。その単元で必要とされる力を養うための項目がそれまでのレッスンのページでマイプロジェクトと記されていて分かりやすい。各左ページのトライは簡単なインタビューになっているが、やや単調である。		
内容の程度	○1 年生の教科書では小学校で学んだことが確認できるような内容がレッスン 1 にあり、自然である。Be 動詞からの導入である。3 年生の教科書では受け身が 1 セクションで同じ課に完了形が出てくる。過去分詞を使用するという共通点はあるが、受け身が 1 セクションで終わるというのは配分として少ないように思われる。		
内容の構成 及び配列	○様々な話題で構成されており、生徒の興味・関心を引くことができると思われる。写真も効果的に使用されている。		
創意工夫	○基本文がダイアログになっていて、実際の運用を意識したものになっている。巻末に CAN-DO リストがあり、生徒が自らチェックするようになっている。		
使用上の便宜	○A4 判の幅の広い判形を使用している。各セクションは見開き 2 ページで構成されており、本文や図表等が見やすく示されている。		
その他			

平成 28 年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 英語	種目名 英語	教科書名 TOTAL ENGLISH	発行所 学校図書
取扱内容	○教育基本法に定める教育の目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標及び学習指導要領に定める教科の目標を達成する上において、「読む」「話す」「書く」「聞く」などのコミュニケーション能力の基礎が養われるように配慮されている。また、国際理解・異文化理解だけにとどまらず、日本の文化や言語に対する理解が深まるように配慮されている。		
内容の選択 及び扱い	○Chapter の扉にどんなことを学び、何ができるようになるのかが書かれているので、見通しが立てやすい。(参照：各 Chapter 扉) ○生徒の日常生活や経験につながる場面を取り上げ、それらの表現を実際のコミュニケーションの場で活用できるように設定されている。 ○環境問題や人権問題など、自分の生き方と関わる題材を選び、考えを深める工夫がなされている。 ○自然科学や国際理解に関する題材により、他の教科で学んだ知識が活かされるよう配慮されている。 ○各 Chapter の最後に、それまで学習した目標文や文法事項を活用して、自分の気持ちや考えを伝える取り組みができるようになっている。		
内容の程度	○1 学年では、初めの段階は小学校の外国語活動を基にした授業展開ができるように配慮がなされており、教科としての英語の授業が親しみやすくなるように配慮されている。 ○題材については 3 年間を通して、日常の身近な話題に始まり、徐々に取り上げる内容から世界的な視野に立った内容へと移行している。		
内容の構成 及び配列	○各セクションが見開き 2 ページになっており、左のページで読む活動、右のページで聞く、書く、話す活動が設けられているので、効果的に使うことができる。 ○挿絵が本文の内容に合っているので、導入に使いやすい。		
創意工夫	○1 年生の点字のページで、点字の凹凸を触れるように工夫されている。また、Les. 2 まで吹き出しに写真が付いていて、話している内容をイメージしやすい。 ○新しい文法を学習するとき、肯定文→疑問文→否定文の順で紹介されているので、生徒にとって理解・運用しやすい。 ○どの学年もセクションごとのページの下に綴りと発音の関係がわかるように発音記号といくつかの単語が載せられているので、生徒が自分で単語を読んだり書いたりする力をつけることができる。		
使用上の便宜	○1 年の Lesson 3 §A までは会話内容としての本文が吹き出しに書かれており、読みやすい。 ○判型は B5 で、生徒の机に大きすぎず、使いやすい大きさである。		
その他			

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 英語	種目名 英語	教科書名 NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition	発行所 三省堂
取扱内容	○小学校の外国語活動をうけて、1年生では聞く、話す活動から始まり、アルファベットの導入で書く活動へスムーズに進めるようになっている。また、各学年とも、いくつかのレッスンごとに、学んだことを生かして、4技能の総合的な活動が組まれている。		
内容の選択 及び扱い	○1年生は聞いたり話したりする活動からアルファベットの音、つづりへと書く活動につながっている。自己紹介や友達を紹介する活動を通して、be動詞が導入され、次にplayやlikeの一般動詞(1, 2人称)でさらに自分のことを伝えたり相手のことを理解したりする活動ができるようになっている。 ○3年生後半の言語材料では、関係代名詞の導入が主格 that→ who, which→目的格 that→ which→現在分詞・過去分詞、関係代名詞省略(接触節)の順に扱われている。 ○日本の年中行事(1年)、日本の食文化(2年)、環境問題(2年)、自分の町紹介(2年)、外国と日本文化の交流(3年)、日本の伝統文化(3年)を扱った題材では調べ学習、発表等へ発展できる。オーストラリア(2年)、インド(2年)、ブラジル(3年)は、外国の生活や文化の学習に、車いすバスケット(1年)、地雷撤去活動をする人(2年)、平和(3年)、キング牧師(3年)、錦織圭選手(3年)、村の生活を変えた少年(3年)、ハゲワシと少女(3年)等、生徒の心に訴え深く考えさせることができる題材が多く取り入れられている。		
内容の程度	○1年生では自分や友達、家族のことなど身の回りのことについての内容が多く、学年を追うにつれて、環境問題や人権・平和問題等、社会の問題についても考える内容になっている。		
内容の構成 及び配列	○各レッスン、基礎基本の習得(新出文法を扱う。短く音読しやすい本文)、読む(習った文法を含む長文を3段階のステップで読む。文を読むときのコツ説明付)、話す/書く(習った表現を使って話したり書いたりする活動)、文法のまとめ(各レッスンで習った文法の復習)で構成されている。 ○いくつかのレッスンごとに、4技能を生かした総合的な活動が組まれている。		
創意工夫	○CAN-DO リスト掲載により、1年間でつきたい力が明らかにされており、各自でチェックできるようになっている。		
使用上の便宜	○各セクション見開き2項構成となっており、見やすく、新出単語、ターゲットセンテンスのほか、簡単な、聞く、話す、書く活動ができるようになっている。 ○本文には全学年ともブロック体が使用され、見やすくなっている。		
その他			

平成28年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 英語	種目名 英語	教科書名 ONE WORLD English Course Essentials	発行所 教育出版
取扱内容	○小学校の外国語活動を受けて、1年生では聞く、話す活動から始まり、アルファベットの導入で各活動へスムーズに進めるようになっている。また、各学年とも、いくつかのレッスンごとに、学んだことを生かして、4技能の総合的な活動が組まれている。		
内容の選択 及び扱い	○1年生では、be 動詞からの導入はよいが、 1, 2人称 be 動詞 → 一般動詞 3人称 be 動詞 → 一般動詞（三単元）の順に配列されている。 ○2年生では、受け身導入 → 3年生でも復習されている。 ○3年生では、現在分詞・過去分詞、関係代名詞省略 → 関係代名詞 主格 who、that、目的格 which、that の順に配列されている。関係代名詞が1レッスンで扱われているが、主格と目的格に分けて2レッスンでいいいに学習できるとよいのではないかと。		
内容の程度	○1年生では自分や友達、家族のことなど身の回りのことが多く、学年が上がるにつれて社会問題も取り上げている。日本文化についても扱っている。		
内容の構成 及び配列	○各レッスン、ホップ・ステップ・ジャンプの3段階で構成されている。 ホップは基本文を聞く、話す、書く活動を通して学ぶ（左ページが英文、右に活動）。 ステップは基本文を読む活動を通して学ぶ。 ジャンプはレッスンの振り返り問題（使いにくい）や発展活動（他社の方が丁寧）。 ○レッスンとレッスンの間にライティング・リーディングのコツなどいろいろなものがたくさん取り上げられているが、細かくて、系統性もわかりにくい。		
創意工夫	○別冊つき。教科書で学習した語句・文法事項などを様々な活動を通して活用できる。語句確認にはよいが、活動は例文が紹介されているだけで、使いにくいのではないかと。 ○CAN-DO リスト掲載により、1年間でつけた力が明らかにされており、各自でチェックできるようになっている。		
使用上の便宜	○見開き2ページの構成が多く使用され、本文等が見やすく示されている。また、判型、印刷、製本は、学習指導上、適切なものとなっている。		
その他	○表紙ののりづけがよくない。		

平成 28 年度使用中学校教科用図書調査報告書

教科名 英語	種目名 英語	教科書名 COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE	発行所 光村図書出版
取扱内容	○各学年とも 4 技能をバランスよく習得できるように構成されている。		
容の選択 及び扱い	○文法配列はオーソドックスなものになっている。 ○挿絵は大きく見やすいものが多いが、色に若干インパクトがないように思われる。 ○1 年生の教科書ではユニットに入る前に数字が出てきて、ユニット 1 で月の名前、序数が出てきている。他社より日付を早い段階で紹介されている。 ○受け身は 2 年生の最後で出てくる。3 年生の最初に復習として、受け身が出てくるが、その例文が S V O C の call の例文で、call me ～ は 1 年のユニット 1 で出ているので、call の練習はない。次のページには make があり、説明がされている。 ○各セクションは見開きで左側に本文と内容読解の問い（リーディング）、右側に基本文、リスニング、スピーキング、ライティングのページがある。これもオーソドックスなものになっている。 ○各ユニットには扉のページがついていて、CAN-DO リストを意識した目標が明記してある。その扉のページで「本文を通して、聞いて大まかな内容をつかみましょう」とあるが、英語が苦手な生徒にとってはめあてを把握することが難しい。 ○Word Square という単語のページが巻末ではなく、ユニットの途中に配置されている。 ○各ユニットの最後に扉のページで記された、目標が達成できたかどうかを確かめるためのページがあるので、そのユニットを振り返ることができると思われる。		
内容の程度	1 年生の教科書では小学校で学んだことが確認できるような内容がユニットに入るまでにあるが、ユニット 1 での本文の分量は結構多いように思われる。		
内容の構成 及び配列	様々な話題で構成されており、生徒の興味・関心を引くことができると思われる。写真も効果的に使用されている。		
創意工夫	実際の運用を意識したものになっている。		
使用上の便 宜	○学習の案内役のピョンキチとニャンタはやや幼稚な感じがする。 ○巻末についている付録がユニットとユニットの間に入ってきている。そしてそれが多いので、新出文型を学習しない期間が長い。		
その他			

